 **大阪体育大学**
OSAKA UNIVERSITY OF HEALTH AND SPORT SCIENCES スポーツ科学部・教育学部
UNIVERSITY GUIDE 2025

本物を学び、極める

大阪体育大学
 OSAKA UNIVERSITY OF HEALTH AND SPORT SCIENCES

広報室
 〒590-0496 大阪府泉南郡熊取町朝代台 1-1
 TEL : 072-453-7021 FAX : 072-453-8818



大学基準協会認定
 大阪体育大学は
 公益財団法人大学基準協会の
 正会員校です。



ホームページ
<https://www.ouhs.jp/>



入試情報サイト
<https://www.ouhs.jp/nyushi/>

 @ouhs.kouho  @OUHSPR  @daitaidaikoho  @daitaidaikoho  @daitaidai

 **大阪体育大学**

REAL
 Ouhs

OSAKA UNIVERSITY OF HEALTH AND SPORT SCIENCES スポーツ科学部・教育学部
UNIVERSITY GUIDE 2025



誰にだって予想はできる、想像もつく。
 イメージも鮮明にできるだろう。
 それで本番はうまくいくか。
 そうとは限らない。
 本番はいつだって想像を超えてやってくる。
 だからここで本物を学ぶ。
 REALに出会い、ときに、とまどい、
 心が動く体験をたくさん。

本物にふれることだけが
 君を強くする。

本物を学び、極める



Research

競技力の向上、教育の発展、スポーツ文化の振興、
 健康の増進に寄与する本物の研究

Education

豊かな教養と体育学・スポーツ科学・教育学に関する
 確かな専門知識を備えた本物の人材を育成

Ability

一人ひとりに合った探究心を育み、広い視野を持ち、
 学び続けていく自分をつくる能力

Linkage

体育・スポーツ・教育とその人材育成の力を活かし、
 一人ひとりと社会をつなぐ、多様な社会貢献

◀ 左へ開けてください **REAL FIELDS** が広がります

豊かな緑に包まれた丘陵地に広がる
キャンパスは甲子園球場7つ分の広さ



この世界で本物にふれる体験

Fields where you can experience the real thing

REAL FIELDS

EXPERIENCES 学外での学び

大阪体育大学ではアドベンチャーキャンプ、マリンスポーツキャンプなどの野外活動実習や企業などで学んで学ぶインターン実習、教育実習など学外での活動を通して得る学びを重視しています。



ゼミ登山



マリンスポーツキャンプ実習



教育実習



アドベンチャーキャンプ実習

COMMUNITY 社会活動

地域社会と連携協力しながら、地域のスポーツや福祉の振興、青少年の健全育成、健康・体力づくりに貢献する活動を推進。社会貢献活動に力を入れています。



体力若返り講座



能登半島地震支援活動



福島復興支援「サンライズキャンプ」



子どもの体力向上推進プロジェクト

STRONG POINT 01 > P.04

日本を代表するスポーツの総合大学

西日本で初めて開設された体育大学。大学院も備え、各界に多数の人材を輩出

STRONG POINT 02 > P.06

2024年4月、体育学部はスポーツ科学部へ

副専攻も備え、より幅広く深く、科学的な視点からスポーツを学べる体制へ

STRONG POINT 03 > P.26

教育のスペシャリストとしての教員を養成

幼児・児童・生徒とともに学び動ける、体育学の素養を備えた教員を養成

STRONG POINT 04 > P.54

学外に出て仲間とともに学ぶ多彩な実習・インターンシップ

野外活動実習やインターンシップ、教育実習など、学外での豊富な学びの場が用意されています

STRONG POINT 05 > P.42

就職率99.2%。教員、公務員、大手企業に強い

徹底した個別のキャリアサポートで、教員、公務員、大手企業への道を拓く

STRONG POINT 06 > P.58

競技専用施設の充実度は全国トップクラス

1つのキャンパスに6専用体育館、各種競技場が教室、研究施設に隣接して設置

STRONG POINT 07 > P.66 > P.74

プロ・実業団に45選手。日本代表級の監督が多数指導

幅広い競技で多数の選手がプロ・実業団へ。指導もハイレベル

STRONG POINT 08

卒業生の92%が「入学して良かった」

卒業生の92%が「本学に入学して良かったか」の問いに「はい」とアンケートで回答

※学年、データなどは2024年3月時点

Become a person who shapes the future of sports

スポーツと未来をつなぐ人になる

SCHOOL of SPORT SCIENCES

> P.06

スポーツ科学部

スポーツ科学の
高度な知見を備えた人材を育成



SCHOOL of EDUCATION

> P.26

教育学部

学校現場に特化した
教育のスペシャリストを育成



CONTENTS

- 04 大体大/4つのADVANTAGE
- 06 スポーツ科学部/スポーツ科学科
- 10 スポーツ教育コース
- 12 体育科教育コース
- 14 スポーツ心理・カウンセリングコース
- 16 スポーツマネジメントコース
- 18 アスレティックトレーニングコース
- 20 健康科学コース
- 22 スポーツ科学部/カリキュラム
- 24 スポーツ科学部/教員紹介
- 26 教育学部/教育学科
- 30 小学校教育コース
- 32 保健体育教育コース
- 34 幼児教育コース
- 36 特別支援教育コース
- 38 教育学部/カリキュラム
- 40 教育学部/教員紹介
- 42 就職・キャリアサポート
- 46 内定者の声
- 48 卒業生の声
- 52 スポーツ活動のサポート体制
- 54 学内・学外での学び
- 56 大学院/スポーツ科学研究科
- 58 キャンパス・施設紹介
- 62 大体大生の1日に密着
- 64 年間イベントカレンダー
- 66 クラブ紹介
- 74 世界で活躍する指導者たち
- 76 アクセス
- 77 学長メッセージ
- 78 大体大のサポート/学費・奨学金



REAL VOICES 卒業生の声

> P.48

プロサッカー選手
村上 昌謙
アビスパ福岡(J1)・GK31



©avispa fukuoka

TAIDAI PICK UP! 学内・学外での学び

> P.54

キャンプ、スノースポーツなどの実習をはじめ、
デジタルスポーツ、社会課題の解決、
国際交流など、多様な経験の場がある!



FACILITIES

施設

> P.58

各競技専用施設の
充実度は
全国トップクラス。
スポーツと
教育・研究施設が集結



REAL UNIVERSITY LIFE 大体大生の1日

> P.62



REAL CAMPUS EVENTS 年間イベント

> P.64



FASHION SNAP 大体大生の ファッション事情!?

> P.65

スポーツだけじゃない!
学生たちのキャンパススタイル



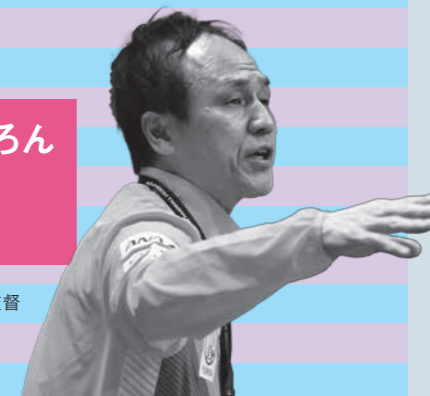
CLUB ACTIVITIES

クラブ活動

> P.66

全国・世界大会をめざすクラブはもちろん
未経験でもチャレンジできる
大体大ならではの部活が充実!

ハンドボール女子日本代表監督
楠本 繁生 教授



スポーツ を学ぶ スポーツ で学ぶ

大阪体育大学は日本を代表する「スポーツの総合大学」。競技スポーツ、コーチング、保健体育、スポーツ心理、スポーツマネジメント、トレーニング、コンディショニング、健康など幅広い分野のスポーツ科学を学び、さらに社会に貢献できる知識やスキルを習得します。卒業後は、プロ・実業団選手やスポーツ指導者、保健体育科教員、トレーナーなどとして日本のスポーツを支えています。一方、多くの学生がスポーツ科学を通して社会に貢献するために不可欠な知識やスキルを学び、警察官、消防官など公務員、ビジネスパーソンなどとして社会を広く支えています。



1965年の開学以来、歴史を重ねてきた体育学部は「スポーツ科学部」へと進化を遂げました。日本代表クラスの指導者を含め多数の専任教員が指導するクラブ、日本でトップクラスの充実度を誇る各競技の専用施設、さらに、スポーツ科学の幅広い分野を網羅したカリキュラム、最先端の知見を備え親身に指導する教員、先進の実験施設など、一人ひとりの夢をかなえるための環境がここに。

2024年、スポーツ科学部始動



大阪体育大学 4つの ADVANTAGE

01

Learning

学び

「スポーツ科学」「教える力」を深く学ぶ
教員との距離の近さが際立つ

スポーツ科学に関する授業の質は講義も実技もハイレベル。スポーツ科学部は6コースあり、この6分野すべてをカバーしている大学は全国でもまれです。教育学部は約9割、スポーツ科学部は約6割が教員免許を取得するなど「教える力」を磨く環境が整い、高い教員採用試験合格率につながっています。学習支援室によるマンツーマン指導など基礎学力の向上と各種採用試験の合格に向けた支援も充実。文武両道をめざしたクラブ生への学修支援は、大学スポーツ協会 (UNIVAS) から最優秀賞を受賞しました。学生と教員の距離感が近く、親身な指導と「面倒見の良さ」が伝統です。

02

Careers

就職

公務員
現役97人
合格

キーエンス、ミズノ、リクルートHDなど、
大手企業、公務員に続々と内定

公立学校の教員採用試験は元校長など多彩な教員、スタッフが面接指導などを徹底し、延べ61人が現役合格 (2024年度採用)。既卒者も80人以上が合格しました (2024年3月末現在)。企業では、キーエンス、ミズノ、リクルートホールディングスなど大手に多数就職。人事担当者から「粘り強さ、リーダーシップ」などの非認知能力が評価され、ゼミ、インターシップ、クラブなどを通じた人間形成が活きています。公務員試験 (警察官、消防官、自衛官、行政職など) は過去10年で最多の延べ97人が合格 (2024年2月末現在)。特に消防官に強く、2020年度採用では就職率が全国1位 (4.7%※) となりました。

※は東洋経済新報社刊「本当に強い大学2020」

03

Facilities

施設

大体大が全国に誇る“4つの強み”は、きっとあなたの夢をかなえる力になるはずです。

6専用体育館と多数の競技場
医師常駐など心身のサポートも万全

競技別の専用体育館6棟と陸上競技場、サッカー場、ラグビー場、野球場、屋内野球練習場、テニスコートなどがそろい、競技専用施設の充実度は全国でトップクラスです。スポーツと教育・研究のすべての施設が1キャンパスに集中、クラブ生にとって午後4時過ぎまで授業、その後すぐにクラブ活動と時間を有効に使えます。心身のサポート施設もトップ級。診療所は医師が常駐し、学生は負担なく利用が可能。最新鋭マシン約40台が並ぶS&Cルームは元プロ野球コーチが指導し、アスレティックトレーニング (AT) ルームの設備も充実。学生相談室・スポーツカウンセリングルームではプロチーム、日本代表選手のメンタル指導にあたる教員らが親身に対応します。

04

Club Activities

クラブ

プロ・実業団に45選手、
日本代表級の指導者ら専任教員が連日指導

全学生の7割以上がクラブに所属。プロ・実業団に45選手が進みました (2022年度卒業生)。同じ志を持った友人との切磋琢磨で磨かれた人間力は、卒業後もあなたを支える重要な資質になります。本学はクラブを通じた教育、人間形成をめざしています。日本代表など世界を舞台に活躍してきた多数の指導者を始め、強化クラブを中心に指導者の大半は専任教員であり、競技力だけでなく勉学、生活態度にも目を配り、ほぼ連日指導。指導教員と学生との間に強い絆が育まれます。また、全クラブの統括組織として、全国に先駆けてスポーツ局を創設。育成・強化に加え、修学、キャリア形成、生活も支援しています。



スポーツ科学部



スポーツ科学科

指導者、教育者、スポーツをする、見る、支える人材、さらに、広く社会に貢献できる資質を養う。

スポーツを科学的な理論に基づいて分析でき、実践的なスキルを修得した指導者や、スポーツを通して人間性・社会性の形成に貢献できる教育者のほか、運動・スポーツ活動による健康の維持・増進、スポーツ選手のコンディショニングや競技力の維持・向上、スポーツ・レクリエーション活動やスポーツ組織のマネジメントに関する知識と技術を持った人材、さらにはスポーツ科学の学びの成果を活かして広く社会に貢献できる人材を育成します。



取得可能な資格

■ … 所定単位修得で取得できるもの
□ … 所定単位修得のうえ、受験資格が与えられ試験合格で取得できるもの

CERTIFICATION

- 中学校教諭一種免許状(保健体育)
- 高等学校教諭一種免許状(保健体育)
- レクリエーション・インストラクター (公財)日本レクリエーション協会認定資格
- スポーツ・レクリエーション指導者 (公財)日本レクリエーション協会認定資格
- レクリエーション・コーディネーター (公財)日本レクリエーション協会認定資格
- 講道館柔道初段
- 初級・中級バラスポーツ指導員 (公財)日本バラスポーツ協会公認
いづれも、障がいの者のスポーツ振興と競技力向上にあたる指導者のための資格。中級資格取得は10日以上、80時間以上の活動実績が必要。
- JATIトレーニング指導者(基礎資格) 特定非営利活動法人日本トレーニング指導者協会(JATI)認定資格
一般人からトップアスリートまでを対象にトレーニング指導ができる資格。
- JPSUスポーツトレーナー (一社)全国体育スポーツ系大学協議会認定資格 **P51**
スポーツ外傷・障害の予防や救急処置、コンディション調整、トレーニング指導などの身体づくりの専門的知識・技術を修得することにより与えられる資格。
- 水泳コーチ3 (公財)日本スポーツ協会認定資格 学友会水上競技部所属が必要
- 第一種衛生管理者免許 国家資格 健康科学コースで取得可能
- 健康運動指導士 (公財)健康・体力づくり事業財団認定資格 健康科学コースで取得可能
- 公認アシスタントマネジャー (公財)日本スポーツ協会認定資格 スポーツマネジメントコースで取得可能
- 公認スポーツプログラマー (公財)日本スポーツ協会認定資格 アスレティックトレーニングコース/健康科学コースで取得可能
- 公認アスレティックトレーナー (公財)日本スポーツ協会認定資格 アスレティックトレーニングコースで取得可能(履修者数制限あり) **P51**
卒業所要単位及び必要な単位を修得し、有資格者の管理のもと、180時間以上の現場実習を行うことで日本スポーツ協会の講習会が免除され検定試験の受験資格が得られます。
- JFA公認C級コーチ (公財)日本サッカー協会認定資格 スポーツ教育コースで取得可能(履修者数制限あり)
公認C級コーチを取得すれば、公認サッカー指導員[(公財)日本スポーツ協会認定資格]も取得。学友会サッカー部所属及び保健体育教員免許状の単位修得など、その他要件があります。
- キャンプインストラクター (公社)日本キャンプ協会認定資格
- キャンプディレクター2級 (公社)日本キャンプ協会認定資格
- テニスコーチ1 (公財)日本スポーツ協会認定資格
- 水泳コーチ1 (公財)日本スポーツ協会認定資格
- テニスコーチ2 (公財)日本スポーツ協会認定資格

P51
体育学部
スポーツ教育学科 卒業
鈴川 勝也 さんの
REAL VOICES

めざせる将来像

FUTURE VISION

- [学校・教育分野] ● 中学校・高等学校教員(保健体育科)
- [トレーナー分野] ● アスレティックトレーナー ● 企業チーム所属トレーナー
- [アスリート分野] ● プロスポーツ選手 ● 実業団選手
- [生涯スポーツ分野] ● 地方公共団体のスポーツ施設 ● 幼児体育施設 ● スポーツ財団法人
- [指導者・コーチ分野] ● コンディショニングコーチ ● 各種スポーツ団体指導者 ● 地域スポーツ指導者
- [公務員分野] ● 警察官 ● 消防官 ● 行政職 ● 刑務官 ● 自衛官
- [スポーツビジネス分野] ● スポーツイベントプロデュース ● プロスポーツマネジメント ● スポーツ用品製造・販売
- [マスメディア分野] ● 新聞社 ● テレビ局 ● 出版社 ● スポーツライター
- [一般企業分野] ● 営業・販売部門 ● 商品企画開発部門 ● 宣伝・広報部門 **P46**
- [カウンセリング分野] ● スポーツカウンセラー
- [医療・福祉分野] ● 医療機関 ● 福祉施設 ● 健康増進施設
- [研究者分野] ● 大学教員 ● 企業等研究所

P46
スポーツマネジメントコース
川崎 寛太 さんの
REAL VOICES

神戸親和大学との大学間協定に基づく小学校教諭一種免許状取得プログラム [スポーツ科学部]

本学は神戸親和大学との間で小学校教諭一種免許状取得の協定を締結しています。本学で勉強しながら神戸親和大学の通信教育とスクーリング(短期集中授業)を3年間もしくは2年間受け、所定の単位を修得することにより、小学校教諭一種免許状が取得できます。

※学内選考のうえ、推薦された者のみ受講でき、別途費用(60万円程度)が必要になります。
※中学校・高等学校教諭一種免許状(保健体育)取得を前提としたものであり、小学校教諭一種免許状のみの取得はできません。

FEATURES OF THE DEPARTMENT

スポーツ科学科の特徴



1 全国でもまれな副専攻による知の融合

全国の体育、スポーツ系の大学では極めて珍しい副専攻を導入。専攻するコースとは別のコースの専門科目を履修できる。6コースはスポーツ科学をほぼ網羅し、「スポーツ心理に詳しい保健体育科教員」など幅広い知見を備えた人材を養成する。(副専攻には定員があります。所属コース以外の1コースの専門科目を履修でき、3科目が上限です)

2 専攻コースは入学後、6コースから選択

専攻コースへの所属は2年次後期から。大学で幅広く学びながら6コースから専攻を選ぶことができる(コースには定員があります)。また、すべてのコースで、中学校・高等学校教諭一種免許状(保健体育)を取得できる。

3 インターンシップなど実践を通してスポーツ科学を学ぶ

体育学部時代にインターンシップ等の現場実習で培われたスポーツ現場との幅広いネットワークがあり、インターンシップ実習、コーチング実習等の現場実習で、これらのネットワークを活かした実践的な学びを提供する。

4 クラブ活動と連動したスポーツ教育

本学では約7割の学生がクラブに所属し、クラブの大半は優れた競技・指導実績を有する専任教員が指導。各競技専用施設の充実度は全国でトップクラスで、そこで行うクラブでの活動が、授業で学んだ理論を実践する場として機能している。また、実技の授業も充実していて様々なスポーツのスキルアップが可能。さらに、これまで多くのプロスポーツ選手を輩出している。

5 大学院でスポーツを科学する学びを深化

体育・スポーツ系として関西で初めて創設された大学院スポーツ科学研究科には、博士前期課程・博士後期課程が設置され、ハイレベルの研究に間近に触れることができる。教員はスポーツ科学のスペシャリストで、卒業後はスポーツを科学する学びを大学院でさらに深めることができる。

6 体育学部で育んだ歴史と伝統の継承

本学は、1965年の開学以来西日本初の体育大学として多くの学生を輩出してきた。積み重ねて来た教育・研究のDNAは、新たなスポーツ科学部に受け継がれる。

1 年次

スポーツや身体に関する専門的な知識の習得や
実験・実習から、スポーツ科学の基礎を養う。

日本語技法や、統計、情報処理実習などの教養科目に加え、社会学、経済学、法学、心理学などの一般教育科目や、スポーツ科学総論で教養を身につけ、さらに、スポーツ科学の基礎となる専門的な知識の習得をめざす。



教養科目	教養科目	日本語技法/情報処理実習I/統計/統計基礎/日本語技法基礎/日本語技法応用/情報処理実習II/総合英語A/総合英語B/実践英語
	一般教育科目	文学/宗教学/倫理学/文化論/哲学/歴史学/社会学/経済学/法学/政治学/日本国憲法/数学/生物学/心理学/物理/化学
	初年次科目	スポーツ科学総論
専門基礎科目	講義	スポーツ生理学(運動生理学を含む)/体育原論/スポーツ経営学/スポーツ栄養学/機能解剖学/救急処置I/体カトレーニング論/スポーツ測定評価
	実験・実習	陸上競技IA/陸上競技IB/器械運動IA/器械運動IB/水泳IA/水泳IB/レクリエーションI/体カトレーニング実習

2 年次

スポーツ科学の基礎知識をさらに発展させ、
社会、心理、医学といった
幅広い分野の知識を学習。

国際社会で活躍できる人材育成のための、英会話、ドイツ語、中国語の基礎学習や、スポーツ科学の専門基礎を発展させるスポーツ社会学、スポーツ心理学、スポーツ医学、バイオメカニクスなど幅広い知識の習得をめざす。



教養科目	教養科目	応用英語/英会話I/英会話II/海外語学研修/ドイツ語/中国語
専門基礎科目	講義	運動学(運動方法学を含む)/スポーツ社会学/スポーツ心理学/スポーツ史/バイオメカニクス/スポーツ医学/発育発達と老化
	実験・実習	バスケットボールI/サッカーI/バレーボールI/テニスI/ダンスIA/柔道IA/剣道IA/ダンスIB/柔道IB/剣道IB

COURSE GUIDE

2年次の後期から6つのコースに所属。より専門的に学ぶ。

<p>P10</p> <p>スポーツ教育 コース</p>	<p>P12</p> <p>体育科教育 コース</p>	<p>P14</p> <p>スポーツ心理・ カウンセリングコース</p>
<p>P16</p> <p>スポーツ マネジメントコース</p>	<p>P18</p> <p>アスレティック トレーニングコース</p>	<p>P20</p> <p>健康科学 コース</p>



スポーツ教育コース

スポーツ教育の現場に求められる専門的な知識と指導力、幅広い教養を身につける。

競技力の向上に関するコーチングやトレーニングについて学び、各種スポーツ技術・戦術を正しく分析する力を養うなど、専門的な知識と幅広い教養を身につけます。アスリートや指導者としてはもちろん、教育力、コーチング力を兼ね備え、スポーツ教育の現場を通して社会に貢献できる人材を育成します。



学びの特徴

1

実践を通して
コーチの基礎知識を修得

専門とする種目の特性を理解し、優れたパフォーマンスを発揮するための方法を検討。その中から問題点を見つけ、コーチとしての知識を深める。

2

体育関連施設で行う
インターンシップ制度

中学校・高校の課外活動や民間・公共のスポーツ施設において、責任ある指導者のもとで実習を行う。授業や演習で得た知識を現場で実践する能力を身につける。

3

競技スポーツ、武道、ダンスなどの
指導方法を研究

さまざまな競技を実践してみることでその種目を理解し、どのような指導やトレーニングが効果的なのかについて研究を深める。

リアルに学ぶ

テニス選手のゲーム分析、コーチング学が研究領域。
実践現場での調査、撮影から方法論を学んでいきます。

宮地 弘太郎ゼミ

コーチングの実践現場において、ゲーム分析、フィールド調査、インタビュー調査を実施。3年次では、実際の試合での撮影手法、icoda.Sportscode といったソフトを活用した分析方法を習得し、フィードバックの方法論を学びます。また、ゲーム分析、コーチングに関する文献を読み、意見を交換。レジュメ作成、プレゼン、コーチングに関する基礎知識を養い、論文作成へとつなげます。

REAL EXPERIENCES



PICK UP 授業

2年次 テニスI



生涯スポーツの一つである「テニス」の特性を知り、基礎技術の習得に加え、ルールを学習。前半はテニスの基礎技術の習得、後半はゲームや実践的な練習を中心に実施。習得段階に合わせたゲームを行い、テニスの楽しさを体感します。

3年次 スポーツ科学とコーチング



科学的な知見がスポーツ指導にどのように役立てられるのか、実践的な立場から解説。本講義を通して、選手に対し「命令」ではなく「説得」ができるような指導能力を身につけるきっかけをつかめるように学習します。

身につく学び

BE A REAL PROFESSIONAL

自らの競技力向上をめざす ヒントを得る

アスリートとして活躍が期待される学生が、競技力向上をめざすうえでヒントとなる、科学的データに裏付けされた知見を修得する。

技術的・戦術的スキルの 指導力を養成する

競技スポーツにおいて直接的に関係する技術指導や戦術指導の方法を理解し、実際の試合で最高のパフォーマンスを発揮させるための実践的指導方法とはどのようなものを学ぶ。

競技力向上のための トレーニング計画の立案

個々の競技パフォーマンスを向上させるためには、状況把握とともに、しっかりとしたトレーニング計画の立案が必要。年齢・性別・経験年数・競技レベル・種目特性などを考慮した計画立案能力を向上させる。

人格の指導者として コーチの資質を高める

スポーツを通して人格を育てる指導の重要性を理解する。スポーツの世界だけでなく、実社会でも道徳的でスポーツマンシップを持った人材であることをめざし、能力を高める。

選手との コミュニケーション技術の向上

コーチとして現場で指導する際は、選手の状況に応じたコミュニケーションが不可欠。どのような状況にも適応できる言語的、非言語的スキルを修得する。

実践に役立つ指導力を 養成する

チームや個人を指導する際には指導の基本原則・原則を理解するとともに、理想を高く持つことが重要である。その上でチームや個人の能力と特徴を考慮した、より実践的な指導力を養成する。

VOICE —先輩からのメッセージ



3年 | 鶴田 武玄 さん
(大阪府立堺西高等学校出身)

身体能力を上げるためのトレーニングを数字から導き出す!

今は「スポーツ科学とコーチング」の授業が楽しくて、普段のトレーニングや部活の指導などに活かしたいと一生懸命に学んでいます。たとえば、重りを持ってトレーニングをするのが良いのか、何も持たずにするのが良いかを分析して最適な方法を導き出します。そうすると「こうの方が良い」という間違った思い込みをせず、数字やデータからより効果的なトレーニング方法が見つかるんです。必修では部活のコーチングの体験があるのですが、これまで学んだ知識はもちろん、自分が経験してきた技術面のことも一人ひとりと向き合いながら上手く伝えられるように頑張りたいと思っています。



体育科教育コース

実践・分析力、課題発見力を養い、
よりよい体育を探求する教員をめざす。

体育・保健の授業づくりについて、科学的に裏付けられた理論を知り、実践したり分析したりすることを通して学び、自ら課題を発見する力を養い、よりよい体育の在り方を探求し続ける教員を育成します。



学びの特徴

1

高度なスポーツ科学の
知識を修得して優れた教員に

体育大学だから学べるスポーツに関する高度な専門知識と指導法を修得。学校・教育の現場でスポーツの素晴らしさを伝えることができ、信頼される教員をめざす。

2

体育・保健の理論や、模擬授業、
インターンシップなどの実践を重視

体育・保健に関して科学的に裏付けされた理論を学び、模擬授業や教育現場でのインターンシップなどを通して十分な実践を経験し、知識を自分のものにする。

3

社会人として、教育者として
行動力ある教員をめざす

教育者としての十分な教養を身につけ、自身が率先して動くことができる行動力を養う。学校・教育現場で生徒から慕われる保健体育科教員を養成する。

リアルに学ぶ

「よい体育・保健の授業とは?」について考え、
それを実践できる教員をめざす!

滝沢 洋平ゼミ

保健体育科教員には、実践できる力(実践力)が必要です。さらに、学び続ける教員として実践力を伸ばしていくには、自己分析や授業分析をする力(分析力)も大切です。この二つの力を高めながら「よい体育・保健の授業」とは何かを自ら学び、考え、バージョンアップして、実践できる教員をめざします。ゼミ活動では、授業づくりや教材研究などについて、実技や探求学習、授業分析の実施や、学外の授業参観、研修会などに参加し、模擬授業―出前授業―教育実習―卒業後の実践、に活かせるように自身の力を高めます。

REAL EXPERIENCES



PICK UP 授業

3年次 体育科教育学



「よい体育授業とはどのような授業か」をキーワードに授業を展開。「体育授業の構造」や、効果的な体育授業を実現するための「教師行動」、「教材・教具づくり」を講義に加え、ワークショップを通して学びを深めます。

3年次 授業研究 IA



球技(バレーボール・バスケットボール・ソフトボール)、器械運動、陸上競技、柔道を中心に、学生が教員の立場になり模擬授業を展開。体育での教授法、指導案の作成、授業評価・分析法などの専門的知識を理解し、指導能力を身につけます。

身につく学び

BE A REAL PROFESSIONAL

教育現場で教員としての 適性を確認する

インターンシップでは直接学校現場に入り、教員の業務を観察、補助する。それによって学校や生徒を知ることができ、教職への意欲を喚起するとともに、教員としての自己の適性を確認する。

保健体育科の教員になるために、 専門教養を身につける

教員採用試験や教育実習に向けて、保健体育科教員としての専門的な知識を中心に学びを深める。また修得した知識を効果的に活用するための思考力・判断力・表現力を養う。

実践的指導力を身につけるための 課題を理解する

授業の単元計画や学習指導案の作成を通して、球技・武道・器械運動・陸上競技に関する特性について理解を深める。また模擬授業と授業分析により、実践的指導力を身につけるための課題を理解する。

体育・保健の授業の創り方、指導法を 立場を変えて検討する

「教わる立場」から「教える立場」への意識の転換からスタート。そして「よりよい授業とは何か」を深く考え、具体的な教材・教具を理解しながら、実践的指導力を修得する。

「保健を教えること」も好きになる アクティブ・ティーチャーになる

保健の教科書を手掛かりに、題材について徹底的に教材を研究。授業の善し悪しを決める教材研究を極め、少人数形式の模擬授業を行い、参加者全員で気づき、共有、修正を繰り返し、学びを深める。

体育授業で必須のダンスや 柔道・剣道の指導力を身につける

体育授業に必要なダンスや柔道、剣道。本コースでは男女ともにダンスは必修となり、女子も柔道や剣道を履修し、保健体育科教員として幅広い分野の指導力を身につけることができる。

VOICE —先輩からのメッセージ



3年 | 加地 真侑 さん
(京都府立鳥羽高等学校出身)

生徒が熱中できる授業とは何かを学び、実践力を身につけたい。

将来、保健体育科の教員になる夢を実現するために大体大を選びました。体を動かす楽しさを実感できていない生徒が自発的に参加したくなる授業を展開していける教員になりたいと思っています。「授業研究IA」の実技では、全員が体育授業の内容を考え、先生役、生徒役に分かれて模擬授業を実施。座学で得た知識を実践で試せることや、自身が生徒役をやることで、つまずきやすい箇所や伝わりにくい箇所が生徒目線からも多く学べます。生徒が熱中できる授業とは何かを知り、そのために必要なこと(教材、教具など)の知識を養い、実践力を身につけることが今の目標です。周囲との信頼関係を築き「愛し、愛される教員」をめざします。



スポーツ心理・ カウンセリングコース

スポーツ心理学的アプローチを学び、
カウンセリングマインドを備えて社会に貢献できる人材に。

競技力向上に役立つメンタルトレーニングなど、スポーツ心理学分野で求められる専門知識と、心と身体の両面からのアプローチを学び、カウンセリングマインドをもった指導者やリーダーなど、多様な社会に幅広く貢献できる人材を育成します。



学びの特徴

1

スポーツ心理学など
心理学の基本を学ぶ

スポーツ心理学・メンタルトレーニング・
スポーツカウンセリングなど、対象者の状況
にあわせて心理学的にどのようにアプ
ローチするかの基本を学ぶ。

2

さまざまなスポーツ現場で
インターンシップ

体育・スポーツ施設などに出向き、実際に
心理的サポートやカウンセリングを体験
する。インターンシップを通して心理学が
スポーツにどう関係するかを体得する。

3

心のケアや命の大切さを
体得できるプログラム

ダンスや運動を通して心のケアを学び、
教育場面に生かせるカウンセリングを
体得。自分の身体を使いながら、心と身体、
教育についての理解を深める。

リアルに学ぶ

運動パフォーマンスや身体表現について、
心身の状況との関係を研究する。

白井 麻子ゼミ

身体活動を通して感じる様々な心身の状況を察知し、運動パフォーマンスや身体表現について、自らの
“なぜ”という疑問を仲間とともに解明します。例えば、“甘い物を食べるとやる気が出るのはなぜか”、
“身体で表現できること”などについて、アクティブな活動や実験を実施。4年次は、自らの研究テーマ
を見つけ、指導者、競技者の立場から科学的な視点で卒業研究を行います。

REAL EXPERIENCES



PICK UP 授業

3年次 認知・行動分析論



心理学は行動の科学ともいわれ、
人の行動を観察・評価することで
その理解を深めてきました。本講義
では、多様なスポーツ場面に見ら
れる人の認知・行動を分析するた
めの研究法、データの測定および
処理法、研究計画法について学習
します。

3年次 スポーツ心理学実験実習



人の心理的側面を行動から観察
する際には、それらを客観的に評価
することが必要です。本実習は
スポーツ心理学の研究法を体験的
に学習し、心理的側面の客観的
指標について理解を深め、実践
への応用についての考察を深める
ことを目的としています。

身につく学び

BE A REAL PROFESSIONAL

メンタルトレーニングを修得し、 指導や自身の競技に活かす

確かな研究成果に裏付けられた科学的根拠
をもとにメンタルトレーニング技法を基礎
から学ぶ。それを実践的に取り入れていく
方法を考え、自身の競技力向上に活かせる
ようにする。

生徒の人間性を育成できる 保健体育教員になる力を養成する

学校体育や部活動指導を通して、生徒の
豊かな人間性を育成できる指導力を身に
つける。将来、学校現場において、生徒の
精神的成長を促せるカウンセリングマインド
を持った保健体育教員を養成する。

トップアスリートの心を分析し、 競技者へ心理的アプローチを図る

心理検査や行動分析、生理指標を測定する
実験などを通して、トップアスリートの心
の特徴を科学的に分析する。競技者の心理面
の強化に役立つ研究から、アスリートの心理
について理解を深める。

インターンシップを通して、 幅広い現場経験を修得する

幼児から高齢者、スポーツ愛好家やプロ
スポーツチーム、障がい者スポーツ施設など、
さまざまなスポーツ指導現場でインターン
シップ実習を行い、スポーツ現場の実情を
把握し、幅広い現場を経験する。

スポーツ選手の心理的問題を理解し、 解決法を考える

スポーツ選手に対する数多くの心理サポート
の実践事例を聴きながら、プレッシャーや
人間関係などに悩むアスリートの心理的
問題について理解を深め、検討する。

心理学的アプローチから 命の教育について考える

スポーツ指導における体罰・暴力の根絶を
めざし、心理学的アプローチから命の教育に
ついて理解を深める。

VOICE —先輩からのメッセージ



3年 | 河野 葵 さん
(広島なぎさ高等学校出身)

スポーツをしていく上で大切な、メンタル面について深く学んでみたい。

高校3年生のときに新型コロナの影響で選抜大会とインターハイが中止になり、まだ「なぎなた」
を続けたいという思いと、以前から興味があったスポーツ心理学を学びたかったので大体大を
志望しました。試合で最高のパフォーマンスを発揮するにはスポーツメンタルトレーニングが
大きな役割を果たします。もともと興味があった分野だったのでスポーツ心理・カウンセリング
コースを選び、関連するゼミを専攻しました。「教育カウンセリング」の授業では、様々な事例を
もとに当事者の気持ちをみんなで考えていきます。カウンセリングは共感や傾聴といった話を
聞くことがすごく大切。授業で知識を得たことで後輩からの話を聞く姿勢も変わりました。



スポーツマネジメントコース

営業力・マーケティング力などの専門知識を学び
スポーツを含む多様なビジネスフィールドで活躍できる人材に。

スポーツマネジメント分野で求められる専門知識とビジネススキル(営業力、企画力、マーケティング力、分析力、事業管理・運営力、予算計画・管理力、デジタル活用力)の学びを通して、スポーツを含む多様なビジネスフィールドで活躍できる人材を育成します。

学びの特徴

1

スポーツ環境に関わることを
トータルに学ぶ

スポーツに関わるマーケティングやデータ収集、分析方法をはじめ、プログラム開発、施設・設備、人材、財務など、トータルな経営管理について理解を深める。

2

ゼミに分かれて
より専門的な知識を修得

マーケティング、プロスポーツ、レクリエーション、アウトドア、スポーツ施策など、さまざまな切り口で、より専門的な知識を深める。

3

インターンシップや
地域交流スポーツで現場体験

インターンシップなどで現場に出向き、スポーツに関わるさまざまな環境を体験。これを通して知識を自分のものにし、実践力に磨きをかける。

リアルに学ぶ

社会的課題を解決するためのツールとして、
スポーツのマネジメントを考える。

富山 浩三ゼミ

スポーツは、参加者個人に効果をもたらすのみならず、経済的側面、社会的側面などに対する波及効果が注目され、社会的課題を解決するためのツールとしての期待が高まっています。当ゼミナールでは、スポーツが社会的課題を解決するためのマネジメントのあり方について理解を深めます。

REAL EXPERIENCES



PICK UP 授業

3年次 スポーツビジネス論



スポーツビジネスを幅広いビジネスカテゴリーの一領域として捉え、他領域との比較及び応用の観点からスポーツビジネス市場やスポーツ消費者のメカニズムについて学習。人々のスポーツ消費(モノ財・サービス財)を促進させるためにどんな戦略立案が必要かを、スポーツビジネスにおける理論や応用可能な他領域の基礎理論から検討するなど、スポーツビジネスの実践に関する応用力を身につけていきます。

3年次 スポーツマネジメント海外研修



スポーツはグローバル化が進んでいる産業の一つであり、スポーツ人材にとってグローバルマインドの保有は重要です。海外(スポーツ先進国の欧米や成長著しいアジアの国)におけるスポーツマネジメントの実践を現地でのフィールドワークを通して学びます。プロスポーツ・大学スポーツ・地域スポーツ・スポーツ用品など様々なビジネス領域における実務について学び、グローバルな素養を身につけていきます。

身につく学び

BE A REAL PROFESSIONAL

スポーツマネジメントの 理論を学ぶ

スポーツ・レジャー・レクリエーション活動を通して人々の生活の質を向上へと導く学問であることを理解するとともに、スポーツ界におけるスポーツマネジメント学の意義を理解する。

汎用性のあるマネジメントスキルを 身につける

学内外のスポーツなどのイベント運営やゼミ活動、インターンシップを通して、スポーツマネジメントを実践する「力」を修得するとともに、スポーツ以外の分野においても適用できる汎用性のあるマネジメントスキルを身につける。

スポーツ・レジャー・ レクリエーションの意義を考える

スポーツ・レジャー・レクリエーションとは何か?人々がそれを実施する意味、また人々や社会にもたらす効果は何か、歴史的・社会的背景などを理解し、考える「力」を身につける。

スポーツマネジメント界の 人脈を広げる

人脈は「力」である。卒業生のネットワークを活かし、特別講義やインターンシップを通してスポーツ・レジャー・レクリエーション界で活躍する人材と交流し、人脈を広げ「力」にする。

スポーツ界の現状と課題を 理解する

社会とスポーツ界の現状を分析して課題を客観的に理解する。組織運営や人材育成、資金管理、マーケティング、プランニング、事業評価などを総合的に理解し、解決策を考える「力」を身につける。

スポーツマネジメントの 研究力を身につける

研究は学問と実践を発展へと導く「力」。スポーツ・レジャー・レクリエーションの実施者や観戦者、組織経営、スポーツ振興の効果などを研究し、未来のスポーツマネジメントを担う「力」にする。

VOICE —先輩からのメッセージ



3年 | 田鶴 達 さん
(光泉カトリック高等学校出身)

スポーツビジネスの授業から、社会で通用する知識を身につけたい!

大体大を選んだのは、保健体育科の教員免許が取得できることと、アスレティックトレーナー、スポーツビジネスについて学ぶことができるからです。1、2年次でスポーツビジネスについて学ぶ機会があり、アメリカのスポーツ産業や事業展開に興味を持つようになり、さらに学びを深められるスポーツマネジメントコースを選択しました。スポーツマーケティングの授業では、スポーツプロダクトやマーケットを理解し、ニーズや特性にマッチした市場を特定。プロモーションやブランディング、スポンサーシップを検討するなど具体的なスポーツマーケティングの方法論を学ぶため、やりがいを感じています。



アスレティック トレーニングコース

競技者のコンディショニング、スポーツ傷害予防の理論、実践力を備えた幅広く活躍できる人材に。

スポーツ医・科学に基づいたトレーニングやコンディショニング、スポーツ傷害の予防法などを学習。学びを通して理論と実践力を兼ね備えた、幅広い分野で活躍できる人材を育成します。
※日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーと中学・高校教諭一種免許状(保健体育)のW資格取得も可能



学びの特徴

1

競技力向上や健康づくりに必要な
トレーニングの知識を修得する

スポーツパフォーマンスを向上させるための科学的知見に基づいたトレーニングの知識を学び、実践することで修得する。また、健康づくりのための運動処方などの理論を学ぶ。

2

スポーツ現場の安全管理や
競技復帰までの
リコンディショニングについて学ぶ

スポーツ現場の安全安心な環境づくりについて学ぶ。また、スポーツ傷害が起きた際の救急対応や競技復帰のためのトレーニング(リコンディショニング)の方法を修得する。

3

スポーツ傷害予防のための
実践的技術と応用力を身につける

実習ではテーピング法、ラボテストなどを行い、より実践的な技術を修得する。現場において、実践・応用力が発揮できることを重視する。

リアルに学ぶ

REAL EXPERIENCES

臨床スポーツ医学(整形外科)に関するテーマを中心に、
スポーツ整形外科分野の知識を用いた授業を実施。

橋本 祐介ゼミ

大阪体育大学で活躍するアスリートたちのケガと向き合い、復帰に至るまでを診療所の機器を使用して調査・研究。さらに、日本テニス協会や関西テニス協会、セレッソ大阪、大阪公立大学医学部/整形外科教室の関連病院施設などへのインターン実習を行い実践力を強化。ゼミでの学びを通してスポーツ傷害に関連する職業や将来像を明確にイメージできるよう技術と知識を養います。



PICK UP 授業

3年次 スポーツ救急法実習



スポーツ現場におけるケガを想定し、スポーツ指導者が実施すべき救急対応について学習します。円滑に救急対応を実施するための緊急時対応計画の作成や搬送法、テーピング、バンテージ固定など、選手を安全に医療機関に引き継ぐ方法を実習形式にて学びます。

3年次 リコンディショニング実習



ケガや病気などの様々な要因によって低下した身体機能やパフォーマンスを回復させ、安全かつより高い体力レベルで競技復帰をめざすためのスキルを学びます。対象者に必要なトレーニングやコンディショニングをプログラムし、指導する方法を実習を通して学び、スポーツ現場での実践的な経験につなげます。

身につく学び

BE A REAL PROFESSIONAL

スポーツ現場での 救急対応について学ぶ

教育現場やスポーツ現場で外傷・障害が発生した際に必要となる緊急対応計画の立案方法について学び、固定法や担架による搬送法などの救急処置法を修得する。

スポーツ外傷・障害の 予防について学ぶ

スポーツ現場で発生する外傷・障害を予防するために、それらの発生因子を抽出するためのメディカルチェックやフィジカルチェックの知識とスキルを修得し、リスク管理の方法について学ぶ。

競技力向上のための トレーニングについて学ぶ

競技特性を理解した上で、その競技のパフォーマンス向上に必要な筋力、筋パワー、全身持久力を向上させるためのトレーニング理論を学ぶ。

スポーツにおける 測定・評価について学ぶ

トレーニングやリコンディショニングを処方する際に基本となる測定・評価に必要な知識を学び、測定機器の操作方法を修得する。

スポーツ選手の コンディショニングについて学ぶ

疲労を軽減するためのストレッチング、マッサージ、アイシングなどのコンディショニングについて、スポーツ現場で経験を重ねたアスレティックトレーナー有資格教員から実践的技術を学ぶ。

パフォーマンス向上のための スポーツ科学について学ぶ

スポーツ・身体運動の仕組みやその可能性について学び、パフォーマンス向上に必要なスポーツ科学の知識を修得する。

VOICE —先輩からのメッセージ



3年 | 三木 菜摘 さん
(大阪成蹊女子高等学校出身)

中学、高校時代、自分を支えてくれた先生やトレーナーのように。

陸上選手として競技に励んでいたとき、スランプになると接骨院の先生やトレーナーの方が支えてくれました。そんな経験から、選手としてよりも、選手に一番近い立場で支える人になりたいと思うようになり、トレーナーの知識だけでなく、幅広くスポーツについて学べる大阪体育大学を選びました。今はクラブ活動で、アスレティックトレーナーチームに所属し、ラグビー部の学生トレーナーとして活動しています。救急手当ての方法や、テーピングなど、実習授業で学んだ技術は、実際の現場で使えることが多く、自分が少しずつトレーナーに近づいていることが実感できます。



健康科学コース

健康管理の知識や人体の機能を学び
医療・福祉など幅広い分野で健康づくりのリーダーに。

疾病予防や健康増進のためのスポーツ・運動の効用を科学的に解明するための学びを実践。
健康管理の知識や運動のしくみ、人体の構造と機能の学びを通して、社会に貢献できる人材を育成します。



学びの特徴

1

身体運動と人体の関係についての知識を修得

人体の構造や機能を学び、身体運動が人体におよぼす作用などを学習する。健康のために何が必要か、運動の役割について理解を深める。

2

疾病予防に有効な運動処方などを学ぶ

運動が人体にどのように影響するのかを学び、さまざまな疫学予防に対して有効な運動は何なのかを理解する。また効果的な運動プログラムの作成も行う。

3

インターンシップでより実践力を高める

講義などで知識を修得し、医療・福祉施設やスポーツ関連施設などでインターンシップを行い、社会人としての素養を身につける。

リアルに学ぶ

ゼミ生同士や他大学の学生との交流を大切にし、
運動生理学や発育発達学の実践力を身につける。

三島 隆章ゼミ

本研究演習は、運動生理学(筋生理学)や発育発達学について学び、実践することができる能力を養うことを目的としています。学外での活動も積極的に行っており、夏と冬の年2回、ゼミ合宿を行っています。ゼミ合宿では自分自身のゼミ論文の発表をするだけでなく、他のゼミ生、さらには他大学の院生や学生の研究発表を聞くことで、研究に対する造詣を深めています。また、ゼミ生同士や他大学の学生との親睦も深めています。

REAL EXPERIENCES



PICK UP 授業

3年次 健康増進実習



健康寿命の延伸や、個人の行動と健康状態の改善を視野に学習。介護予防と運動の実践方法を理論と実習で身につけます。さらに、健康づくりの現場で、安全かつ効果的な運動指導を行うための能力把握や運動負荷試験も実施します。

2年次 3年次 健康スポーツ実技A・B



健康づくりおよび介護予防を中心としたプログラムを学習。積極的な健康づくりを目的とした運動を、安全かつ効果的に実践指導する能力(プログラム作成・指導)を身につけます。授業の一部として、体力若返り講座に参加して「健康づくりのエキスパート」をめざしています。

身につく学び

BE A REAL PROFESSIONAL

運動と身体の関係の基礎となる人体の構造を理解する

人体の形態と徹底的に向き合い、人体構造に関する理解を深める。人体の構造や機能について修得し、スポーツ・運動がどのように健康に関わってくるかを学ぶ。

運動が身体機能を高める効果としくみを理解する

トレーニングをすると、なぜ筋肉がつくのか。身体運動が人体の筋力・神経・呼吸・循環に対して及ぼす効果と、そのしくみについて理解を深める。

科学的根拠にもとづいた栄養学を理解する

健康のためには栄養は大切な要素。栄養学の基礎を科学的な根拠にもとづいて学ぶ。健康維持やアスリートの身体づくり、パフォーマンス向上に有効な食事を考える。

自分自身や家族の健康管理できる力を身につける

自分の身体づくりや運動、食事、栄養、休息などを修得した知識を照らし合わせながら、どのように管理していくか考える。学んだ知識を自身の健康管理に活かすことで、理解を深める。

地域高齢社会に対応し、社会に貢献できる力を身につける

高齢者や地域住民一人ひとりが自立した生活を送れるように、運動を通して支援する力を身につけ、健康な社会の実現に向けて貢献する。住民の健康と自らの実践力を向上させる。

地域住民とのスポーツプログラムを通して実践的に学ぶ

地域住民の健康増進プログラムの展開に必要な「健康運動実技」を学び、地域住民の健康づくりや体力測定を通して実践力を養う。学生全員が主体的に実習に参加する。

VOICE —先輩からのメッセージ



3年 | 辻岡 愛莉 さん
(大阪府立堺東高等学校出身)

座学で学んだことが、すぐに現場で活かせる環境があります。

ゼミの活動で、小学生だけでなく高齢者の方と交流する機会が増え、座学で学んだ糖尿病や生活習慣病の知識が現場ですごく役に立ちました。以前、体力測定に関わらせてもらったことで現場のリアルな経験ができ、知識と技術が身につけていくのを実感しています。レクリエーションの授業が楽しくて、毎回いろんな発見がありますが、特に好きなのは道具を使わずに体を使って行うゲーム。自分の体と相手の体さえあれば無限に楽しいことができるんだって気付かされました。将来、保健体育科の教員になったときのためにたくさんのことを吸収しておきたいと思っています。

■…必修科目 □…選択必修科目 ●…選択科目
※科目名、カリキュラムは2024年度入学生用として予定しているものであり、変更される場合があります。

	1年次	2年次	3年次	4年次
教養科目	教養科目 一般教育科目 初年次科目 講義 実験・実習	2年次 ● 応用英語 ● 英会話I ● 英会話II ● 海外語学研修 ● ドイツ語 ● 中国語 ● 運動学(運動方法学を含む) ● スポーツ社会学 ● スポーツ心理学 ● スポーツ史 ● バイオメカニクス ● スポーツ医学 ● 発育発達と老化 ● バスケットボールI ● サッカーI ● バレーボールI ● テニスI ● ダンスIA □ 柔道IA □ 剣道IA □ ダンスIB □ 柔道IB □ 剣道IB ● キャリアデザインI ● スポーツ教育概論 ● スポーツ教育学 ● 体育科教育概論 ● スポーツ教育学 ● スポーツ心理・カウンセリング概論 ● スポーツメンタルトレーニング指導論 ● スポーツマネジメント概論 ● スポーツマネジメントトピック ● アスレティックトレーニング概論 ● ストレngth&コンディショニング理論 ● 健康科学概論 ● 健康スポーツ実技B ● 体育科教育概論 ● スポーツ教育学 ● スポーツメンタルトレーニング指導論 ● デジタルスポーツ論I ● デジタルスポーツ論II ● 障害者スポーツ概論 ● スポーツと人類学 ● スポーツカウンセリング ● レジャーレクリエーション概論 ● 体表解剖学 ● 国際スポーツ論 ● 保健体育科教育法A ● 保健体育科教育法B ● アドベンチャーキャンプ実習 ● マリンスポーツキャンプ実習 ● 特別支援教育概論 ● 教育課程編成論 ● 道德教育の理論と実践 ● スポーツ外傷・障害評価法 ● アスレティックトレーニング実習A ● スポーツ科学特別演習III	3年次 ● キャリアデザインII □ 武道論 □ 舞踏論 □ エリートアスリート概論 □ スポーツ技術・戦術論 □ コーチング論 □ コーチングの心理学 □ 動作分析法 □ スポーツ科学とコーチング □ 競技スポーツ論 □ トレーニング計画 □ スポーツ文化論 □ スポーツと学校教育 □ アスリート実習 □ コーチング実習 ● ハンドボールI □ ラグビーI(男子のみ) □ ソフトボール(女子のみ) □ レクリエーションII □ 体育実技指導法(器械運動) □ 体育実技指導法(陸上競技) □ 体育実技指導法(水泳) □ 体育実技指導法(柔道) □ 体育実技指導法(剣道) □ 体育実技指導法(ダンス) □ 体育実技指導法(ゴール型バスケットボール) □ 体育実技指導法(ゴール型サッカー) □ 体育実技指導法(ゴール型ハンドボール) □ 体育実技指導法(ネット型バレーボール) □ 体育実技指導法(ネット型テニス) ● スポーツ教育演習I ● スポーツ教育演習II ● 体育科教育学 ● 授業研究IA(体育) ● 授業研究IIA(体育) ● 授業研究IB(保健) ● 授業研究IIB(保健) ● 教育カウンセリングII ● インターンシップB(体育科教育) ● 体育科教育演習I ● 体育科教育演習II ● 認知・行動分析論 ● 運動学習論 ● コミュニティダンス論 ● コーチングの心理学 ● 教育カウンセリングII ● スポーツ心理学実験実習 ● スポーツ心理・カウンセリング実習 □ インターンシップA(スポーツ心理・カウンセリング) □ ゴルフ実習 ● スポーツ心理・カウンセリング演習I ● スポーツ心理・カウンセリング演習II ● スポーツマーケティング ● スポーツ地域創生論 ● スポーツプログラムマネジメント ● スポーツビジネス論 ● マーケティング・リサーチ法 □ インターンシップB(スポーツマネジメント) □ スポーツマネジメント海外研修 ● スポーツマネジメント演習I ● スポーツマネジメント演習II ● スポーツ外傷・障害の予防と安全管理 ● 臨床スポーツ医学(整形外科) ● 実践トレーニング科学理論 ● コーチングの心理学 ● 体力科学実験実習 ● スポーツ救急法実習 □ スポーツ外傷・障害予防実習 □ トレーニング実技 □ スポーツコンディショニング実習 □ リコンディショニング実習 □ スポーツ実践実習 ● アスレティックトレーニング演習I ● アスレティックトレーニング演習II ● 臨床スポーツ医学(内科) ● 臨床スポーツ医学(整形外科) ● 健康指導管理論 ● 栄養管理 ● 健康と運動の生理学 ● 健康スポーツ実技A □ インターンシップA(健康科学) □ 健康増進実習 □ インターンシップB(健康科学) ● 健康運動実践演習 ● 健康科学演習I ● 健康科学演習II ● 武道論 ● 舞踏論 ● エリートアスリート概論 ● スポーツ技術・戦術論 ● コーチング論 ● スポーツ科学とコーチング ● 競技スポーツ論 ● トレーニング計画 ● スポーツ文化論 ● 体育科教育学 ● 運動学習論 ● コーチングの心理学 ● スポーツマーケティング ● スポーツ地域創生論 ● スポーツビジネス論 ● ストレngth&コンディショニング理論 ● 実践トレーニング科学理論 ● スポーツ外傷・障害の予防と安全管理 ● 健康指導管理論 ● 栄養管理 ● 健康と運動の生理学 ● 野外教育論 ● 衛生学(公衆衛生学を含む) ● スポーツ事故法理論 ● 学校保健(小児保健、精神保健、学校安全を含む) ● 教育史 ● スポーツジャーナリズム論 ● 健康スポーツ心理学 ● 身体表現とコミュニケーション ● 保健体育教職特講 ● 臨床スポーツ医学(内科) ● レクリエーション指導法I ● 保健体育科学習指導論 ● スポーツ演習 ● 手話実習I ● 手話実習II ● 初級ピアノ実習A ● 初級ピアノ実習B ● トレーナー実習 ● 体づくり運動 ● 武道の形 ● なぎなたA ● なぎなたB ● リズムダンス ● エアロビクスダンス ● ハンドボール ● ラグビー ● 卓球 ● ソフトテニス ● バドミントン ● ソフトボール ● 野球 ● ゴルフ ● 障害者スポーツ ● レジスタンストレーニング ● 実践英語実技 ● レクリエーションII ● 生徒・進路指導論 ● 教育行政 ● 特別活動および総合的な学習の時間の指導法 ● 教育方法論(情報通信技術の活用を含む) ● 教育カウンセリングI ● 体育実技指導法(器械運動) ● 体育実技指導法(陸上競技) ● 体育実技指導法(水泳) ● 体育実技指導法(柔道) ● 体育実技指導法(剣道) ● 体育実技指導法(ダンス) ● 体育実技指導法(ゴール型バスケットボール) ● 体育実技指導法(ゴール型サッカー) ● 体育実技指導法(ゴール型ハンドボール) ● 体育実技指導法(ネット型バレーボール) ● 体育実技指導法(ネット型テニス) ● 介護技術講義 ● 障がい者スポーツ指導法 ● 労働概論 ● 労働法規 ● 運動プログラム作成法 ● リコンディショニング理論 ● アスレティックトレーニング実習B ● アスレティックトレーニング実習C ● リコンディショニング実習 ● 特別演習(サッカー) ● アスレティックトレーニング演習	4年次 □ 器械運動II □ 陸上競技II □ 水泳II □ 柔道II □ 剣道II □ ダンスII □ バスケットボールII □ サッカーII □ ラグビーII □ ハンドボールII □ バレーボールII □ テニスII ● スポーツ教育演習III ● スポーツ教育演習IV(卒業研究を含む) ● 体育科教育演習III ● 体育科教育演習IV(卒業研究を含む) ● スポーツ心理・カウンセリング演習III ● スポーツ心理・カウンセリング演習IV(卒業研究を含む) □ スポーツツーリズム論 □アウトドアスポーツ論 ● スポーツマネジメント演習III ● スポーツマネジメント演習IV(卒業研究を含む) ● アスレティックトレーニング演習III ● アスレティックトレーニング演習IV(卒業研究を含む) ● 健康科学演習III ● 健康科学演習IV(卒業研究を含む) ● 人権教育 ● レクリエーション指導法II ● 器械運動II ● 陸上競技II ● 水泳II ● 柔道II ● 剣道II ● ダンスII ● バスケットボールII ● サッカーII ● ラグビーII ● ハンドボールII ● バレーボールII ● テニスII ● 教育実習事前事後指導 ● 教育実習I ● 教職実践演習(中・高) ● 労働衛生 ● 救急処置II ● 特別演習(テニス) ● 特別演習(水泳)
専門基礎科目	講義 実験・実習	講義 実験・実習	講義 実験・実習	講義 実験・実習
キャリア形成科目	講義	講義	講義	講義
発展科目	講義 実験・実習 演習	講義 実験・実習 演習	講義 実験・実習 演習	講義 実験・実習 演習
発展科目	講義 実験・実習 演習	講義 実験・実習 演習	講義 実験・実習 演習	講義 実験・実習 演習
発展科目	講義 実験・実習 演習	講義 実験・実習 演習	講義 実験・実習 演習	講義 実験・実習 演習
発展科目	講義 実験・実習 演習	講義 実験・実習 演習	講義 実験・実習 演習	講義 実験・実習 演習
副専攻科目	講義	講義	講義	講義
関連科目	講義 実験・実習	講義 実験・実習	講義 実験・実習	講義 実験・実習
教職に関する専門科目	講義 実験・実習	講義 実験・実習	講義 実験・実習	講義 実験・実習
資格関連科目	講義 実験・実習 演習	講義 実験・実習 演習	講義 実験・実習 演習	講義 実験・実習 演習
自由科目	演習	演習	演習	演習

スポーツ科学部

教育学部

めざせる教員像は
P27を参照

教員一覧	【教授】	
	足立 哲司	トレーニング科学
	池島 明子	レクリエーション 健康づくり 介護予防
	石川 昌紀	身体運動中の神経 筋機能メカニクス
	伊原 久美子	レクリエーション 野外教育
	ウエイン ジュリアン	日本学
	壁谷 一広	英語教授法 高等教育における学習支援
	川島 康弘	体力トレーニング コーチング(競泳)
	神崎 浩	武道教育学 運動学
	楠本 繁生	体育科教育学(ハンドボール)
工藤 俊郎	知覚心理学	
下河内 洋平	スポーツ医学 臨床バイオメカニクス	

白井 麻子	舞踏学 身体表現学
菅生 貴之	メンタルトレーニング スポーツカウンセリング ゴルフ
曾根 純也	運動学 サッカー
高本 恵美	体育科教育
土屋 裕睦	スポーツ心理学 スポーツカウンセリングメンタルトレーニング
堤 裕之	数学
手塚 洋介	感情心理学 精神生理学 健康心理学
富山 浩三	スポーツマネジメント
中尾 豊喜	学校教育学 教育法社会学 教育スポーツ学
長尾 佳代子	宗教学 文学 論文指導
中房 敏朗	スポーツ史
中山 健	スポーツ社会学

成瀬 雅巳	学校教育学 教育行政学 学校心理学
橋本 祐介	スポーツ医学 スポーツ整形外科
浜田 拓	運動生理学
平川 武仁	スポーツ心理学 運動心理学
藤原 敏行	スポーツバイオメカニクス コーチング(体操競技)
藤本 淳也	スポーツマーケティング
前島 悦子	スポーツ医学
松田 基子	スポーツコンディショニング 柔道
三島 隆章	運動生理学 発育発達学
宮地 弘太郎	ゲーム分析 パフォーマンス尺度の検討 テニス(実技)
森田 啓	体育・スポーツ哲学 スポーツ教育学

【准教授】	
有吉 晃平	コンディショニング スポーツ外傷 学 アスレティックトレーニング バドミントン
尾関 一将	コーチング(競泳) スポーツバイオメカニクス
貴嶋 孝太	スポーツバイオメカニクス コーチング
熊崎 敏真	肉眼解剖学 運動器系の解剖学 スポーツ医学
小菅 萌	スポーツ心理学 スポーツにおけるリーダーシップ コーチング
小林 博隆	体育科教育学
生田 秀和	柔道 コーチング学
徳山 友	スポーツビジネス スポーツマーケティング
友金 明香	健康づくり 体力学
中井 俊行	コーチング ラグビーのコーチング法
中村 健	哲学

比嘉 靖	スポーツコーチング ゲーム分析
吉川 望	日本近現代文学
吉沢 一也	西洋古代哲学史
【講師】	
石居 宜子	コーチング サッカー選手の競技力向上に関する研究
近藤 衣美	スポーツ栄養学 栄養教育学
坂田 実加	数学(整数論)
崎濱 星耶	アスレティックトレーニング学
下川 真良	コーチング(ハンドボール)
滝沢 洋平	体育科教育学
田中 良	学校保健学 発育発達学

田原 宏晃	体育・スポーツ系 実技:体操競技(専門種目)
徳田 真彦	野外教育 レクリエーション
長江 晃生	ゲーム分析 コーチング
中西 啄真	陸上競技 スポーツバイオメカニクス
沼田 薫樹	ゲームパフォーマンス分析 バレーボール
松尾 元太	サッカー
村上 なおみ	体育科教育学 コーチング学
村上 雷多	武道論 剣道
森田 玲子	舞台芸術(舞踊創作) 舞踏学 身体表現
【助教】	
岡村 修平	テニス コーチング学 体力科学

MEET THE TEACHERS

〈スポーツ科学部 / スポーツ科学科〉教員紹介

INTERVIEW

教員紹介.01

すべての指導者が
選手のパフォーマンスを向上させる
ことができる未来の実現へ。

スポーツ教育
コース 講師 長江 晃生

【専門分野】ゲーム分析 / コーチング

選手のより良いパフォーマンスのために、
情報を言語化し、正確に伝えるコーチングを。

バレーボール日本代表チームのコーチなどトップチームの指導者を歴任しながらコーチングについて研究を重ね、プロアマを問わず、すべての指導者に対して選手のパフォーマンス向上につながる有益な情報の提供をめざしています。バレーボールでは、情報が選手のプレーの質を高めます。戦術戦略の構築にはゲーム分析、体の動かし方はスポーツバイオメカニクス、メンタル面ではスポーツ心理学など多くのスポーツ科学分野からの情報が必要です。指導者は、集めた情報をもとに仮説を立て観察し、解決方法を考察し、それを選手に伝えます。この一連の流れがバレーボールにおけるコーチングです。技術習得におけるコーチングでは、いかにコツや感覚を情報として言語化した状態で選手に伝え理解させられるかがポイントとなります。すべての指導者がより高い質でのコーチングを選手に提供できるよう、新しい戦術やコーチング法の研究と追究を進めています。

試合のデータを分析し、対策を立て、
練習メニューに落とし込む。

どういうところにサーブを打ったら、相手のどんな攻撃が多いとか、状況によってどんな攻撃を仕掛けてきたかといったことを映像を見ながら数字を参考に対策を立てます。自分のチームについてもスパイク、サーブ、ブロックの決定率を計測し、どの数字が高いと相手チームに勝ちやすいかなどをデータとして練習メニューへ。新しい戦術をはじめ際も分析は欠かせません。

部活動の指導でも、学生アナリストを起用したり、学生同士のコーチングを重要視したりと、トップチームでも活躍する技術や知識を持った選手を育成するとともに、対象に適したコーチングを考案できる指導者の輩出をめざしています。

PICK UP

「バレーボール部(女子)」の部長・監督を務め、ブロック技術の向上をめざす練習用具も開発。
※特許出願中



Profile

2012年に日本代表女子バレーボールチーム アシスタントコーチを務める。2014年、西日本インカレ ベスト8、2016年、全日本バレーボール選手権大会 天皇杯・皇后杯へと導き、2018年には、西日本5学連対抗戦の関西選抜監督に就任。2018年からユニバーシアード大会の日本代表チームのコーチに就任。
バレーボールのスパイクパフォーマンスに関する事例的研究(大阪体育大学紀要、2020)、バレーボールのディフェンスパフォーマンスに関する事例的研究(大阪体育大学紀要、2017)などの論文も発表。

教員のあくなき探究心があるからこそ、
科学や技術の進化に沿ったリアルな講義が受けられる。

INTERVIEW

教員紹介.02

人の命はもちろん、
選手生命を守ることの
尊さを伝えていきたい。

アスレティック
トレーニングコース 講師 崎濱 星耶

【専門分野】アスレティックトレーニング学
→スポーツ現場における傷害調査 / 安全管理に関する研究

スポーツをする人たちのために、
自分が輝ける人になる。

アスレティックトレーニング学は、スポーツ現場でケガが起こったときの応急手当や救急対応を学んだり、ケガをしないための予防についての取り組み、選手がパフォーマンスを高めるためのコンディショニングの知識を身につける分野になります。選手の状態や様子を把握することが大切なので選手を中心に考えることが多く、自分中心ではなく、選手のために何ができるのかといった利他的な思いを持つことが必要です。アスレティックトレーニングコースの学生のみんなが将来すべてアスレティックトレーナーとして働くわけではなく、学校の体育の先生や警察官、消防官をめざしている人など様々。そういう中で、将来の職業に関わらず、スポーツをする人の役に立てるような知識・技術を身につけてもらうことや、人の命、選手生命を守ることの尊さを伝えていきたいという思いで教壇に立っています。

選手にとって一番良い方法をめざして。

スポーツ現場では様々な症例にぶつかります。ケガの回復が早まり、諦めかけていた試合に出場ができたり、反対にケガの再発を繰り返し選手生命が脅かされたり……。だからこそ、アスレティックトレーナーとして、いち研究者として、現場で得られる一つひとつの経験に価値を見出しています。経験や実践の研究成果を多くの専門家と共有することで、自分が考えたことや技術が、まだ会ったこともない選手の役に立てるかもしれない。目の前の選手にとって一番良い方法を選択するために、選手やチームスタッフと話をしたり、エビデンスや自身の経験知などの資源を活用することが重要であると考えています。

PICK UP

監督を務める「アスレティックトレーナーチーム」は、学生トレーナーとして様々なクラブに貢献しています。



Profile

これまでサッカーやラグビーなどのスポーツ現場でアスレティックトレーナーとして活動しながらスポーツ現場の安全やハムストリング肉離れに関する研究に従事。2022年～ラグビー高校日本代表(U19日本代表)アシスタントトレーナー。(資格)日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー、全米ストレングス&コンディショニング協会認定ストレングス&コンディショニングスペシャリスト、日本トレーニング協会認定トレーニング指導者





教育学部



教育学科

子どもと一緒に学び、動き、ともに成長できる
体育学の素養を備えた教員をめざす。

小学校教育コースでは、子どもと一緒に学び動くことができ、子どもの健やかな成長に貢献できる教員をめざします。保健体育教育コースは、体育と保健に関する専門知識と技能を備え、児童・生徒一人ひとりの課題解決に向き合う教員を育成。2023年4月から新設された幼児教育コースでは、多様な子どもの特性に応じて健康な心と体を育む人材を養成します。これら3コースに加え、特別支援教育コースの選択もでき、特別支援教育を学ぶことで、児童・生徒一人ひとりと向き合える教員の育成にも力を入れています。



取得可能な資格

■ 小学校教諭一種免許状 **P47**

全コースで取得可能。

■ 中学校教諭一種免許状(保健体育)

全コースで取得可能。

■ 高等学校教諭一種免許状(保健体育)

全コースで取得可能。

■ 特別支援学校教諭一種免許状

【知的障がい者の教育に関する領域・肢体不自由者の教育に関する領域・病弱者(身体虚弱者を含む)の教育に関する領域】

幼稚園教諭一種免許状、小学校教諭一種免許状、中学校教諭一種免許状(保健体育)、高等学校教諭一種免許状(保健体育)のいずれかの取得要件を満たしたうえで、さらに必要単位を修得すれば取得可能。

■ 幼稚園教諭一種免許状

全コースで取得可能。

■ 保育士資格 **国家資格** ※(定員50名)

定員を超過した場合は幼児教育コース選択者を優先し、さらに超過した場合はGPAの順位により選定

■ レクリエーション・インストラクター **(公財)日本レクリエーション協会認定資格**

■ スポーツ・レクリエーション指導者 **(公財)日本レクリエーション協会認定資格**

■ 初級・中級バラスポーツ指導員 **(公財)日本バラスポーツ協会公認**

いずれも、障がい者のスポーツ振興と競技力向上にあたる指導者のための資格。中級資格取得は10日以上、80時間以上の活動実績が必要。

■ **[新設]**公認野球指導者 **(一財)全日本野球協会公認**

初のアマチュア野球界共通の指導者資格(硬式/軟式の区別なし)。「公認野球指導者基礎I U-12」と、「公認野球指導者基礎I U-15」が開設されています。

CERTIFICATION

P47

小学校教育コース
小林 千夏 さんの

REAL VOICES

めざせる将来像

FUTURE VISION

- [学校・教育分野] ● 小学校教員 ● 中学校教員(保健体育科) ● 高等学校教員(保健体育科)
- 幼稚園教諭 ● 特別支援学校教員 ● 保育士
- [生涯スポーツ分野] ● 幼児体育施設 ● フィットネスクラブ ● スポーツ財団法人
- [公務員分野] ● 行政職 ● 警察官 ● 消防官
- [一般企業分野] ● 営業・販売部門 ● 商品企画開発部門 **P50**
- 宣伝・広報部門 ● 一般事務部門
- [研究者分野] ● 大学教員

P50

教育学部
教育学科 卒業

内藤 愛 さんの

REAL VOICES

スポーツ科学部と教育学部。それぞれがめざす教員像とは?

中学や高校の保健体育科の教員免許は、両学部で取得できますが、それぞれ次のような特徴があります。



スポーツ科学部はスポーツを深く理解し、コーチングやトレーニングをはじめスポーツ科学のスペシャリストとしての教員を養成します。副専攻制度を利用して、スポーツ心理学やアスレティックトレーニングなど幅広い分野を学ぶことができます。

教育学部は学校現場に特化した教育のスペシャリストとしての教員を養成します。保健体育教育の他、幼児教育や初等教育、特別支援教育等の学びを通して、それぞれの校種において多様な子どもたちに対応できる、体育指導に強い先生をめざします。また、最大3つの教員免許・資格を取得することができます。

FEATURES OF THE DEPARTMENT

教育学科の特徴



1 最大3つの教員免許・資格を取得できる
 取得できる免許・資格は小学校、中学・高校(保健体育)、幼稚園、特別支援学校の各一種免許状、保育士資格と幅広く、いずれのコースでも最大3つの教員免許・資格を取得できます。

2 教員採用試験に強い
 元校長など教員採用試験に詳しい教員が、少人数クラスで初年次から徹底サポートします。学部独自の手厚い面接、小論文、実技試験対策、過去問対策等で、高い教員採用試験合格者を誇ります。

3 学校インターンシップで実践的な学びを深める
 教育実習だけでなく、2年次から学校現場へ出向き、学びます。大学の授業での学びと教育現場での体験で、理論と実践の融合をはかります。

4 特別支援教育について学び教育の幅が広がる
 3コースに加えて特別支援教育コースを選択することができ、障がいのある子どもへの理解や指導力を身につけ、一人ひとりに向き合える教員を育てます。

5 体育に強い先生を育てます
 質の高い指導法や模擬授業、指導案の作成などを通して、幼稚園から小学校、中学・高校、特別支援まで、体育の指導でリーダーシップを発揮できる教員を育てます。

6 将来を見すえたゼミ選び
 幼稚園・保育士から小学校、中学・高校、特別支援まで、自分が取得をめざす教員免許や資格に応じたゼミを選ぶことができます。ゼミでの学びが将来、教壇に立った自分の成長に直結します。

1 年次

教育、教職の基礎科目に加え、
 実技を中心とした体育の基礎を習得。
 自分がめざす教員像をイメージしながら
 専門科目を学びます。



2年次からのコース選択(小学校教育コース、保健体育教育コース、幼児教育コース、特別支援教育コース)へ向けて、総合教育、コミュニケーション、教職、体育、保健などの基礎をしっかりと習得。自分がめざす教員像をイメージしながら学ぶことで専門知識をより深く吸収します。

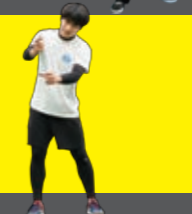
COURSE GUIDE

2年次からいずれかのコースを選択 ※各コース定員なし

P30 小学校教育コース
 小学校教員としての専門性を身につけ、
 子どもを育てる力を育成。
 一人ひとりに適切な心配りができる教員へ。



P32 保健体育教育コース
 体育の一つひとつの運動について
 的確な指導ができ、運動が苦手な子どもが
 スポーツを楽しめる授業を。



P34 幼児教育コース
 遊びの中で体づくりを行える
 幼稚園教諭や保育士などの人材を育成。
 子どもへの運動の指導力を高めます。



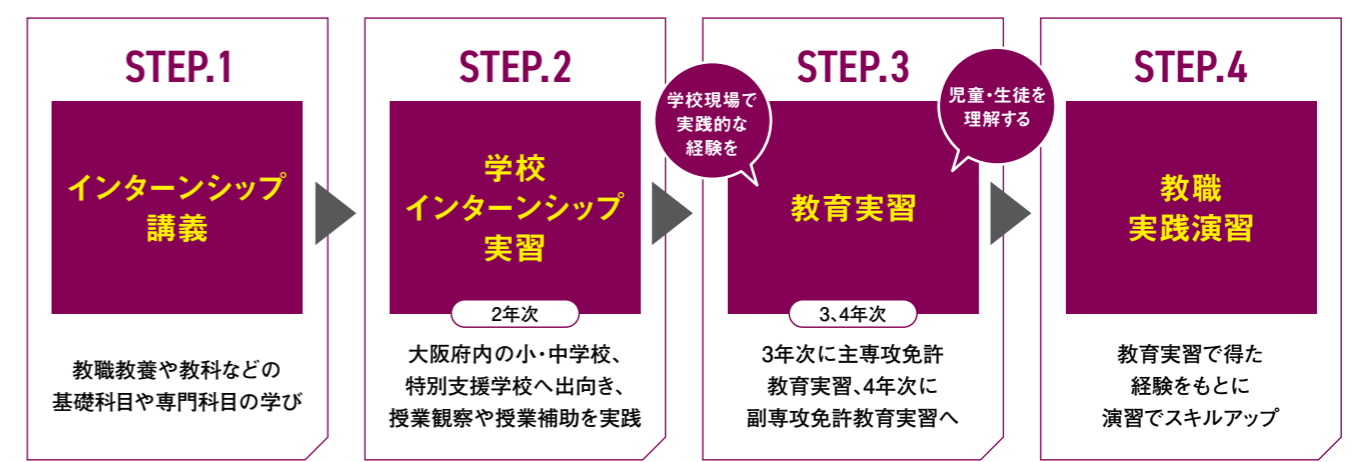
P36 特別支援教育コース
 選択制
 幼児期から高等学校段階までを
 ベースに障がいや、さまざまな
 教育的ニーズのある子ども
 一人ひとりに応じた
 適切な教育を行う力を養います。



最大3種類! どの履修コースを
 選択しても免許・資格の取得が可能

早い段階から学校現場を経験。 専門性と実践力を身につけた先生をめざします。

1年次で学んだ基礎を、2、3、4年次の実践で活用。現場のイメージをベースに、演習で確かな技術を身につけていきます。





小学校教育コース



実践的な指導力を身につけ
子どもの健やかな成長に貢献できる教員をめざす。

小学校教員としての専門性を身につけ、健やかな子どもを育てる力を養います。
子ども一人ひとりに対して適切な心配りができる教員をめざします。

学びの特徴

1

小学校全教科の
基礎理論と指導法を学ぶ

小学校教員として全教科の基礎的理論や実践的指導能力を身につける。児童に信頼される高い指導力と豊かな人間性を養成する。

2

運動・スポーツの楽しさを伝え、
児童の発育に貢献できる教員へ

体育、スポーツ、身体に関する専門知識を有し、児童の体力低下の課題を解決して、学校行事や生徒指導にも積極的に取り組める活動力にあふれた小学校教員をめざす。

3

特別支援教育の
専門知識を身につける

特別支援教育を通して、障がいについての理解を進め、対応力を身につける。特別な支援が必要な児童を深く理解し、通常学級においても適切に指導できる力を修得する。

REAL EXPERIENCES

最新の学校の状況に学び、
人間の多様性の理解と児童への愛情を深めます。

—— 蛭谷 みさせみ

蛭谷ゼミでは、通常の授業に加え、教育実習や学外の研究会で最新の学校の授業の在り方や行事の進め方について具体的に学び、理論に裏打ちされた実践力を身につけます。現職の先生の実践報告を聞くことで自分がめざす教師像を明確にし、知識を深め、経験知を高めます。言葉を大切に、多様な子どもに深い愛情をもって接する対応力を培います。



PICK UP 授業

2年次 教科教育法(体育)



小学校での体育科の授業づくりに焦点を当て、体育科の目標・内容、各運動領域での指導内容・方法などについて基本的な考え方を理解できるように学習。さらに、小学校の各学年に応じた具体的な体育の授業づくりを考えます。

2年次 教科教育法(社会)



社会科の授業構成、児童の発達段階を踏まえた問いかけや指示、教材開発の方法、ICT活用など幅広く学習。自分が授業を受けた経験と比較しながら、模擬授業で授業イメージを形成し、社会科の指導方法について身につけます。

身につく学び

BE A REAL PROFESSIONAL

全ての子どもたちの 可能性を引き出す教員を養成する

子どもの成長やつまずきの理解に努め、一人ひとりの興味・関心・意欲を高め、きめ細かく指導・支援し、子どもたちの知・徳・体を一体的に育むことのできる指導力を身につける。子どもたちの生きる力を培うため、自ら学び続ける教員を育成する。

「個別最適な学び」と「協働的な学び」を 指導できる教員を育成する

基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、子どもたちが学びあい他者と協働した探究的な学習を展開するため、各教科における専門的な知識や指導方法を身につけ、実践的指導力を習得する。

豊かな人間性と人権意識を養う

生徒指導や学級経営について理解を深め、子どもたちの思いに共感し、一人ひとりに応じた指導ができるよう、豊かな人間性を養う。また、人権意識を持ち、社会性と高いコミュニケーション能力をあわせもった教員を養成する。

体育・スポーツの楽しさを伝え、 健康な生活を指導できる力を修得

学校体育だけでなく、さまざまな教育活動の中で身体を動かす楽しさを知り、運動習慣を身につけさせる教育について学ぶ。児童の基礎的運動能力を高めるため、体育の楽しさを伝えられる力を修得する。

保健体育教育に精通した 小学校教員を養成する

体育に関する専門知識を持ち、子どもの体力向上、体力格差の解消に向けた指導ができる力を養う。小中高にわたって系統性を持った体育指導カリキュラムを作成・指導できる実践力を身につける。

特別支援教育を理解している 教員の養成

さまざまな障がいのある児童について理解し、通常の学級でともに学ぶ教育が実践できる知識・技能を身につける。障がいの有無に関わらず、すべての児童のニーズに応じた指導ができる教員を養成する。

VOICE —先輩からのメッセージ



2年 | 奥野 葵也 さん
(和歌山県立星林高等学校出身)

教え方を学ぶことで、苦手だった教科が「楽しい!」に変化!

得意だった保健体育を活かして、部活の指導ができる教員になると教育学部を受験しました。大体大に入学してから、授業の方法をいろいろ知ると「こういう授業がしたいな」とか「こうすると子どもにもわかりやすいかな」などの考えが巡り、模擬授業で先生役として「教える立場」も経験できたことで、今まで苦手だった国語が楽しいと思えるようになりました。教員をめざすという同じ思いを持つ人ばかりなので、温かい目で見守ってくれたり、お互いに改善点を指摘し合ったりと、支え合いながら切磋琢磨できる環境です。少人数制だから、先生方が一人ひとりしっかりと向き合ってくれる学びやすさも魅力です。



保健体育教育コース



保健体育の専門知識と優れた指導力を養い、生徒一人ひとりの課題解決に向きあう。

体育の一つひとつの運動についての確かな指導ができるのはもちろん、運動が苦手な子どもでも、スポーツを楽しめるよう広い視野でアプローチができる教員をめざします。

学びの特徴

1

保健体育の高い専門性を身につける

体育大学としての強みを活かし、保健体育とともに、さまざまなスポーツや身体に関する専門知識を学ぶ。生徒に信頼される高い指導力と豊かな人間性を養成する。

2

アダプテッド・スポーツを理解する

障がいのある人や幼児から高齢者、体力の低い人も参加できる「アダプテッド・スポーツ」を理解し、実践的アプローチの方法も身につける。

3

特別支援教育の専門知識を身につける

特別支援教育を通して、障がいのある生徒への理解や対応を身につける。特別な支援が必要な生徒を深く理解し、通常学級においても適切に対応できる力を修得する。

REAL EXPERIENCES

研究とは何かを理解し、具体的な方法と論文の書き方を学習。地域社会や学校現場の様々な課題をテーマに研究を行います。

植木 章三ゼミ

3年次に、①研究の基本的な理解、②身体機能測定ならびに調査(アンケートやインタビュー)方法の習得、③公表された学術論文を参考に研究論文の構成や書き方の理解、以上3つの学習を実施。4年次から研究テーマを決め、研究に必要な実験やアンケート調査、インタビュー調査から得られたデータを分析し卒業論文を作成します。



PICK UP 授業

2年次 保健体育科教育法I、II



中学・高等学校の保健科教育に関する基本事項や、保健授業づくりの理論について理解を深めるとともに、実践的な教科指導力を身につけます。特に、学習成果の見込めるよい体育授業の立案・設計に必要な教材解釈力を養います。

3年次 アダプテッド・スポーツ実習



アダプテッド・スポーツの実践に参加し、それぞれの現場での参加者のニーズやスポーツを実施するにあたっての配慮点などを体験的に学習します。また、これまでに学んだ知識を応用して指導する力を身につけます。

身につく学び

BE A REAL PROFESSIONAL

子どもの「生きる力」を育成する指導力を身につける

生徒に対し、教科に関する専門的な知識の他に知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育成できる指導力を身につける。また、自らの指導力を高め、学び続ける意欲のある教員を養成する。

生徒の能力を引き出すための確かな学力と指導力を養う

保健体育の教科指導に関する確かな学力を身につけ、生徒の能力を最大限に引き出す学習活動を展開するための実践的な指導力を習得する。また、生徒指導、学級経営などについても理解を深める。

豊かな人間性と人権意識を養う

生徒の思いを理解・共感し、適切に指導できるよう、豊かな人間性を養う。また、人権意識を持ち、常識や教養などの社会性や高いコミュニケーション能力を合わせ持った教員を養成する。

幅広い体育種目に精通した教員を養成する

自ら行ってきた競技の専門性を高めることはもちろんのこと、体育授業のすべての領域・種目で求められる知識と技能を向上させる。また、それらを実際の指導に活かすための教科指導力を育む。

体育と保健の高い専門知識を有した教員を養成する

体育授業に関する知識・指導力に加え、保健授業を行う教員として求められる専門的な知識と実践的な指導力も同時に向上させる。また、インクルーシブな体育授業の実現に向け、アダプテッド・スポーツについても理解を深める。

特別支援教育を理解している教員を養成する

さまざまな障がいのある生徒について理解し、ともに学ぶ教育を行うための知識・技能を身につける。また、障がいの有無に関わらず、すべての生徒のニーズに応じた指導ができる教員を養成する。

VOICE —先輩からのメッセージ



3年 | 宮本 大輔 さん
(山口県立萩高等学校出身)

思いついたら即行動! 今できることはすべて吸収しておきたい。

もともと自分は行動力があるタイプではないので、そんな自分を奮い立たせるためにも、何かを思いついたら即行動するように心がけています。将来、指導者になったときに後悔したくないので、チャンスがあれば自分からつかみにいこうと常に考えて行動。現在、硬式野球部で学生コーチをしているのですが、教育の授業で外部コーチという選択肢があることを知り、大学で得たつながりを大切に行動にうつしました。今楽しい授業は「体力づくり論」で、野球に活かそうなトレーニングなどを学び、外部の指導でも活用しようという視点で知識を吸収しています。学んだことがすぐに実践で役立てられるところも大体大ならでの魅力だと思います。



幼児教育コース

子どもたち一人ひとりの多様な特性に応じて
健やかな発達を促す専門的な知識と技術を持った人材を養成。

子どもの発達を促す専門的な技術、なかでも体育遊びに関する専門性をもつ幼稚園教諭や保育士を養成。運動が得意ではない人でも、充実したカリキュラムで学習・実践することで、体育遊びの指導力が向上します。



学びの特徴

1

子どもの発達を促すための
学習内容

子どもの観察や、保護者との関わりを大切に、家庭での親子関係や生活リズム等を含めた、個別理解を深めることが、子どもの発達を促すためには重要。そのための幼児教育と保育の専門的な知識・技術を身につける。

2

子どもの運動機能や体力低下の
課題を解決する学習

子どもに運動・スポーツの楽しさを伝え、体験してもらい、運動機能や体力低下の課題を解決できるように、活動力あふれる幼児体育の指導能力を身につける。

3

特別支援教育の学びを通して、
配慮が必要な子どもへの
理解・対応方法を身につける

特別な配慮が必要な子どもを深く理解するために、一人ひとりのニーズを見きわめる力を身につける。そして、それぞれの子どもの応じた対応方法を考え、教育的支援が実践できる指導能力を習得。

PICK UP 授業

1年次 子ども家庭福祉



子どもと家族を、その背景にある社会問題と関連付けて理解し「子育て支援」の意味を考察。家族のニーズに応じた援助活動について、具体的な事例を通して学びます。現代社会における子どもと家族の問題に、どのように働きかけていくかを考え、地域社会に存在する社会資源や他の専門職との連携が重要であることを学習。

1年次 保育内容総論



「保育の目標」、「育みたい資質・能力」、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」、「保育の内容」について理解を深めます。子どもの具体例を参考に、健康・人間関係・環境・言葉・表現といった領域の学びと、それらを総合的にとらえる視点を養います。

身につく学び

BE A REAL PROFESSIONAL

体育・運動遊びの楽しさを伝えられる 教育者・保育者を養成する

体育・運動遊びを通して、からだを動かす楽しさを知ることが、正しい生活習慣を身につけることにつながることを理解する。子どもの運動機能や体力低下の課題を解決することの重要性を学び、活力あふれる幼児体育の指導者となるための力を養う。

多様化、複雑化する現場の 課題に対応する力を養う

様々な学びを通して培われた「見方・考え方」は、保育者だけでなく、小学校教員、中学校・高等学校教員、特別支援学校教員としての「見方・考え方」の基礎になる。多様化、複雑化する教育現場の課題に柔軟に対応できる、教育者・保育者の「深い洞察力」を養う。

豊かな人間性と人権意識を養う

子どもたちの思いに共感できる豊かな人間性、一人ひとりの子どもと関わる力、クラスを運営する力を養う。また「児童の権利に関する条約」をはじめ、国際的な人権思想の歴史、その実現に向けた様々な活動を学び、教育者・保育者としての人権意識を養う。

保健体育教育に精通した 保育者を養成する

運動・スポーツに関する専門的知識を持ち、子どもの運動機能や体力低下の課題を解決できる力を習得。子どもの発達段階に応じて、系統性を持った運動カリキュラムを作成・指導できる教員・保育者を養成する。

特別支援教育を理解する 保育者の養成

様々な特性のある子どもについて理解し、子どもとともにその保護者とも相互に支え合い、協働する教育・保育に関する、特別支援教育の専門的な知識と技術を学ぶ。

乳幼児期の子どもの発達に関する 専門性を身につける

一人ひとりの幼児が発達に応じた体づくりや、生活面での自立と協調性が身につくように導く力を養う。とりわけ発達段階における乳幼児期の重要性を深く理解し、子どもの発達に関する専門性を身につける。

先生に聞きました!

保育士、幼稚園の先生を めざすために大切なことは?

先生と学生との距離が近く、普段から何でも気軽に相談できる環境がある大阪体育大学。今回は、幼児教育・保育の道を志す先輩が担当を受け持つ今堀先生に聞きました。



1年 | 村井 里 さん
(大阪府立花園高等学校出身)

教育学部 教育学科
教授 今堀 美樹
【専門分野】社会福祉援助技術 /
カウンセリング / 児童福祉
泉佐野市子ども子育て会議副委員長
計11年間、保育の実務を経験

1年 | 石上 心菜 さん
(和歌山県立星林高等学校出身)

1年 | 大藪 翔生 さん
(大阪府立泉大津高等学校出身)

先生 子どもは、一人ひとりみんな違うから、みんなには個別の理解がきちんとできる人、保育士や幼稚園の先生になってほしいと思っています。教育学部の学生なので、授業の内容を考えると学級の運営をどうしていくかや、指導法について学ぶことも大切ですが、まずは個別に子どもたちに対応して、子どもを置き去りにしない先生になってほしいと思います。
学生 授業で学んだアセスメント、情報の収集が大事なんですね。
先生 そうです。子どもはまだ幼いから、なかなか言葉にしてこちらに伝えてくれることができないのですが、お母さんや、自分以外の視点を持った保育士など、いろんな人と会話をし、子どもの情報を収集して一人の子どもをみんなで一緒に考えていくことが大切です。
学生 一人で何もかもを抱え込まないように?
先生 保育の場では、チームアプローチと言われますが保育所内はもちろん、児童相談所など外部の専門機関とも連携して子どもと向き合うことも必要とされています。

それでも絶対に上手くいくとは限りませんが、一人の子どもも置き去りにしないためにできることをしっかりと行います。
学生 保育士をやって良かったという経験はありますか?
先生 とにかくかわいって思えるところかな。いろんなことに注意や気を使って、まずは子どもの安全を第一に考えないといけない大変な仕事なんだけど、子どもと向き合うことで愛情が芽生えます。自分の気持ちに正直に子どもたちとふれあって、伝えて、表現していくと、言い過ぎだけど命がけで守りたいって思える瞬間があります。こういう気持ちに出会えたことは、すごく素敵な体験として今でも忘れられません。
学生 ありがとうございます。大阪体育大学に来て、たくさん教員をめざす人に出会えました。スポーツに特化している教員、特別支援の教育を専門にする教員など……。自分もこれから強みを見つけて、自分がなりたい教員像に近づけるように頑張ります。本日はありがとうございました。



REAL EXPERIENCES

障がいのある人たちと関わりながら、学んだ知識を
実践に活かすための試行錯誤を実感。

—— 曾根 裕二ゼミ

専門領域は「アダプテッド・スポーツ科学」と「特別支援教育」です。スポーツや体育などの身体活動をするうえで、何らかのニーズがある人を対象として、身体活動へのアクセスの方法を考える応用的な分野になります。ゼミでは、知識を身につけることはもちろんのこと、障がいのある人たちと関わりながら、学んだ知識を実践に活かすための試行錯誤、実践で学んだことや感じた疑問を理論的に考えることを心掛けています。



PICK UP 授業

4年次 特別支援教育特講(自立活動)



障がいのある児童・生徒に対する「自立活動」の指導に関して、その歴史や教育的意義を理解し、実際の教材作成などを通して、実態把握、指導目標、指導計画、指導内容、指導方法、指導の評価など、それぞれの概要についての理解を深めます。

4年次 障害児アセスメント



発達障がい児の指導や支援には知能検査などの客観的手法を用いたアセスメントが必要となります。発達障がい児におけるアセスメントについて学び、活用できるようになることを目的とします。

身につく学び

BE A REAL PROFESSIONAL

多面的で総合的な子ども理解

子どもたちの自己実現を図るため、一人ひとりについて広い視野からの共感的理解を深め、信頼関係を築くことのできる教員を養成する。

誰もが楽しくスポーツに 取り組むための知識や技術

アダプテッド・スポーツ等の概念を理解し、障がい特性に応じた環境の整備や指導により、生涯を通してスポーツを実践するために必要な科学的な知見や方法論を学ぶ。

豊かな人間性と人権意識を養う

障がいのあるなしにとどまらず、教育的ニーズのある子どもたちを理解し、一人ひとりの違いを尊重して多様性を認め合える教員を養成する。

誰もが学びやすく、 分かりやすい授業づくり

障がいの特性等に関する理解や特別支援教育に関する基礎的な知識、一人ひとりのニーズに応じた分かりやすい指導内容や指導方法の工夫について学ぶ。

障がいのある子どもたちと ともにある学級づくり

学級の中で子どもたちにとっての必要な支援の判断や効果的な支援の選択などを通して、全ての子どもの居場所となる学級づくりについて学ぶ。

さまざまな障がいに対応できる 幅広い専門性

発達障がい、知的障がい、肢体不自由、病弱等、障がい種ごとの教育論、指導法、心理・生理・病理等について学ぶ。

選択制 特別支援教育コース

※小学校教育、保健体育教育、
幼児教育のいずれかのコース
を履修したうえで選択可能



インクルーシブ教育の深い知識と実践力を備え
子どもと共感し、生きる力を育む教員をめざす。

共生社会の実現に向け、幼児期から高等学校の段階まで、障がいをはじめさまざまな教育的ニーズのある子ども一人ひとりに応じた適切な教育を行う力を養成。多面的で総合的な子ども理解をはじめ、誰もが学びやすく、分かりやすい授業づくり、さまざまな障がいに対応できる幅広い専門性を身につけます。

学びの特徴

1

特別支援教育の高い専門性を
身につける

特別支援教育に関する幅広い知識・技能を修得し、子どもたちの良さや可能性を引き出す指導・支援を実践する教員を育てる。

2

障がいのある子どもたちの
豊かなスポーツライフを実現する

障がいのある子どもたちの心身ともに健康で安全な生活と生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現をめざす教員を育てる。

3

多様な学びの場で活躍する教員を
養成する

通常の学級、特別支援学級、特別支援学校等に在籍する障がいのある子どもたちに対して、心身の状態に即応したかわりができる教員を育てる。

VOICE —先輩からのメッセージ



3年 | 戸上 佳映 さん
(和歌山県立向陽高等学校出身)

大体大でしかできない経験や、いろんなご縁が今の私をつくっています。

保健体育科の教員をめざしていたのですが、学校インターンシップで特別支援学校に行った経験から今は特別支援学校の先生になりたいと思うようになりました。障がいのある子どもたちが取り組んでいる授業の内容や、今後の暮らしを見据えた職業関連の授業があることを知り、指導していただいた先生方みなさんの笑顔があふれる現場で、実際に生徒との関わり方を経験させていただいたことが貴重な経験になりました。今は幼小体育研究部と、アダプテッド・スポーツ部に所属し、そこから様々なご縁があって日本ボッチャ協会の学生委員会にも所属。自分の新たな世界を開いてくれるたくさんの道に出会えました。

■…卒業必修科目
※科目名、カリキュラムは2024年度入学生用として予定しているものであり、変更される場合があります。

	1年次	2年次	3年次	4年次
基礎科目	総合教育科目 ■言語活動 ○基礎数学 ○基礎理科 ○法学 ○経済学 ○家庭と社会 ○生命の尊厳と倫理 ■情報処理I ■情報処理II	○現代社会と教育		
	コミュニケーション科目 ■英語Ia ■英語Ib	■英語IIa ■英語IIb ○英語IIIa ○英語IIIb ○中国語a ○中国語b ○手話a ○手話b ○海外語学研修		
	教職基礎科目 ■教職論 ■教育原論 ■学校教育心理学 ■日本国憲法 ■特別ニーズ教育論			
	体育基礎科目 ■基礎体育I ■基礎体育II ○体育実技(陸上競技I) ○体育実技(水泳I) ○体育実技(器械運動I) ○体育実技(柔道I) ○体育実技(剣道I) ○野外活動実習I(夏季) ○野外活動実習II(冬季)	○体育実技(ダンスI) ○球技(バレーボール) ○球技(バスケットボール) ○アダプテッド・スポーツ実技		
保健基礎科目 ○体力測定評価	○機能解剖学			
共通基礎科目 ■基礎演習				
専門科目	教職専門科目 ■道徳教育の指導法	■教育課程論 ○発達障害教育総論	■教育方法・技術論(情報通信技術の活用を含む) ■教育相談 ○教育実習(幼稚園) ○教育実習(初等) ○教育実習(中等) ○人権教育 ○教育法規 ○介護等体験(事前事後指導を含む)	○教育実習(特別支援) ○教職実践演習(幼稚園・初等・中等) ○教職特講(学習評価論) ○教職特講(学級経営) ○教職特講(教育課題研究) ○教職特講(ICT活用教材研究) ○教職特講(小学校英語) ○情緒障害教育総論
	小学校保健体育 ■幼児理解	■特別活動・総合的な学習の時間の指導法	■生徒指導論・進路指導論	
	共通専門科目 ○器楽演習		■専門演習I	■専門演習II(卒業論文を含む)
コース専門科目	小学校教育コース ○器楽演習	■国語科概論(書写実習を含む) ■社会科概論 ■算数科概論 ■理科概論 ■生活科概論 ■音楽科概論 ■図画工作科概論 ■家庭科概論 ■体育科概論 ■英語科概論 ■教科教育法(国語) ■教科教育法(社会) ■教科教育法(算数) ■教科教育法(理科) ■教科教育法(体育) ○書写実技	■教科教育法(生活) ■教科教育法(音楽) ■教科教育法(図画工作) ■教科教育法(家庭) ■教科教育法(英語) ○音楽実技	○教科教育法(生活) ○教科教育法(音楽) ○教科教育法(図画工作) ○教科教育法(家庭) ○教科教育法(英語) ○音楽実技
	保健体育教育コース ○応用実技(陸上競技II) ○応用実技(水泳II) ○応用実技(器械運動II) ○体育原理 ■生理学(運動生理学を含む) ○アダプテッド・スポーツ論 ○レクリエーション教育論	○応用実技(柔道II) ○応用実技(剣道II) ○応用実技(ダンスII) ○体育心理学 ■運動学・運動方法学 ■衛生学・公衆衛生学 ■学校保健(小児保健・学校安全を含む) ■運動療法(救急処置を含む) ■保健体育科教育法I ■保健体育科教育法II ■保健体育科教育法III ○レクリエーション教育実技	○球技(サッカー) ○球技(ソフトボール) ○球技(ハンドボール) ○球技(テニス) ○球技(野球) ○体育経営論 ○体育社会学 ○体育史 ■保健体育科教育法IV ○バイオメカニクス論 ○アダプテッド・スポーツ実習 ○アダプテッド・スポーツ指導法 ○体力づくり論 ○リトミック	○球技(サッカー) ○球技(ソフトボール) ○球技(ハンドボール) ○球技(テニス) ○球技(野球) ○体育経営論 ○体育社会学 ○体育史 ■保健体育科教育法IV ○バイオメカニクス論 ○アダプテッド・スポーツ実習 ○アダプテッド・スポーツ指導法 ○体力づくり論 ○リトミック
	幼児教育コース ■幼児と健康 ■幼児と環境 ○保育原理 ○子ども家庭福祉 ○現代社会と福祉 ■保育内容総論	■幼児と言葉 ■幼児と音楽表現 ■図画工作実技(幼児と造形表現) ■幼児と人間関係 ■健康領域指導法 ○子ども家庭支援論 ○乳児保育I ○子どもの健康と安全 ○保育計画論 ○保育実習I(施設) ○保育実習指導I(施設)	■人間関係領域指導法 ■環境領域指導法 ■言葉領域指導法 ■表現(造形)領域指導法 ■表現(音楽)領域指導法 ○社会的養護 ○子どもの家庭支援の心理学 ○乳児保育II ○保育実習I(保育所) ○保育実習指導I(保育所) ○保育実習II ○保育実習指導II	○社会的養護 ○子どもの家庭支援の心理学 ○乳児保育II ○保育実習I(保育所) ○保育実習指導I(保育所) ○保育実習II ○保育実習指導II
	特別支援教育コース ○特別支援教育論 ○知的障害者の心理・生理・病理	○肢体不自由者の心理・生理・病理 ○病弱者の心理・生理・病理 ○知的障害者の発達と心理 ○障害児の教育課程	○知的障害教育指導法 ○肢体不自由教育指導法 ○病弱教育指導法 ○重複障害教育総論 ○言語障害教育総論 ○感覚障害教育総論	○障害児アセスメント ○特別支援教育特講(自立活動)
キャリア科目 ■学校インターンシップ	○学校インターンシップ(初等) ○学校インターンシップ(中等) ○学校インターンシップ(特別支援) ○キャリアデザインI ○教職キャリア基礎I	○キャリアデザインII ○教職キャリア基礎II ○教職キャリア研究I	○教職キャリア研究II	

教員一覧

【教授】	
石塚 真子	音楽教育学 民俗音楽
泉谷 章仁	教育学(教育行政 学習評価 小中一貫)教科教育学(社会 英語)
今堀 美樹	社会福祉援助技術 カウンセリング 児童福祉
植木 章三	公衆衛生学 応用健康科学 アダプテッド・スポーツ科学
蛸谷 みさ	国語科教育学 学級経営論 学校経営論
岡崎 均	社会科教育学 情報教育 歴史教育
片山 繁一	教師としての指導力を高めることに関する研究 学校力の向上に関する研究
加藤 良徳	日本語表現法 日本語学(書記史)
金子 勝司	レクリエーション 健康社会学
高宮 正貴	教育哲学 教育思想史 道徳教育学
竹内 亮	理学療法学 アダプテッド・スポーツ 運動処方
中川 一彦	算数教育学 数学教育学
藤井 茂樹	特別支援教育 発達障害学
藤原 彰子	特別支援教育
八木 秀文	教育方法学(授業研究、授業論、生活指導論、学習集団論、カリキュラム論など)

【准教授】	
神山 真一	教育学 理科教育 科学教育
曾根 裕二	アダプテッド・スポーツ 特別支援教育(主に肢体不自由)における保健体育
土田 幸男	教育心理学 生理心理学 特別支援教育 ワーキングメモリの個人差に関する研究 心理アセスメント
浜上 洋平	体育科教育学 スポーツ教育学
松本 直子	幼児教育 発達心理学
【講師】	
栗田 昇平	体育教育学
横井 光治	高齢者福祉 介護福祉
吉田 雅子	英語教育学 第2言語習得論 道徳教育



スポーツ科学部

教育学部

めざせる教員像は

P21 を参照

MEET THE TEACHERS

〈教育学部 / 教育学科〉教員紹介

INTERVIEW

教員紹介.01

身体を動かすことが
苦手な子どもたちにスポーツや
運動・身体活動の楽しさを伝えたい。

准教授 曾根 裕二

【専門分野】アダプテッド・スポーツ、特別支援教育における保健体育

大学での学びを通して、スポーツや運動の場面で
誰も取りこぼさないことを当たり前にして欲しい。

大学時代、スポーツや体育の実施、指導などについて幅広く学んだつもりでしたが、知り合いの車いすユーザーのことを考えた時に、どうすれば良いかわからないという不安や無力さを感じました。そして障がいのある人のスポーツ活動を専門的に学べる専門学校への進学を決意。そこで様々な障がいのある人と接したり、専門的な知識や多様な価値観、経験を得るうちに、この分野の奥深さに触れ、自分の専門として学び続けるようになりました。障がいのある人といっても、一人ひとりの症状や程度が全く異なるので、例えばAさんに上手くいった方法でも、同じ障がいのあるBさんには当てはまらないということがよくあります。だから大勢に対して一斉に指導するというよりも個別に一人ひとりと向き合うことが大切だと実感しています。現在「インクルーシブ教育(すべての子どもたちが共に学ぶ)」の推進が叫ばれている中、体育の授業では障がいを理由に様々な制限があるのが現状。学生には、自分たちが取り組んでいる実践活動を通して、より良い方法を模索し、誰も取りこぼさないような考え方が当たり前になるレベルまで高めて欲しいと思っています。

自分の苦手なことを隠さない人に。

何でも自分でできて、子どもたちのことは全部自分が把握して、何でも自分が手を差し伸べる、ということが出来る人がいい先生かというところじゃないと思います。自分以外の人が支援に入った方がいいケースもあれば、ちょっと距離を置こうなケースがあってもいい。そのためには自分の弱さを隠さずに接すること、その上で弱い部分を補い合えるような関係性がつくれると良いと思います。自分の目標に向けて急ぎすぎることなく、様々なことを経験しながら多様性にふれる機会を意図的に作ってください。

PICK UP

一人ひとりの発達状況や身体の状態に
適応(adapt)させたスポーツ「アダ
プテッド・スポーツ部」の監督としても
活躍!



Profile

2014年からボッチャの強化に関わり日本代表コーチなどを務める。2016年の秋から地域の障がいのある中高生以上を対象にした運動教室「わくわくアダプテッド・スポーツクラブ」を開催。令和3年度「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰を受賞。バラスポーツ体験を通じた障がい理解教育のための出前授業、インクルーシブ体育に関する教員研修、JSPOのコーチデベロッパーを取得し、コーチ自身の学びをサポートする活動も行う予定。

教員のあくなき探究心があるからこそ、
科学や技術の進化に沿ったリアルな講義が受けられる。

INTERVIEW

教員紹介.02

日本中の子どもたちを
笑顔にできるよう
たくさんのいい教員を育てたい。

准教授 浜上 洋平

【専門分野】体育科教育学、スポーツ教育学

知識や理論を講義だけでなく、
それを活かす実践を大切にする。

授業を行う上で大切にしているのは、理論と実践の繰り返し。テキストを読むだけの講義ではそこで得られた知識が現場で通用しないものになってしまいます。講義で学んだ理論を模擬授業(実践)で試し、うまくいかなかったところは理論に立ち返って学び直すという繰り返しによって教員に必要なスキルや知識を高めていくことが大切。実践を取り入れることで子どもたちの具体的な様子がイメージできるようになり、さらに多くの気づきにもつながり、テキストで学ぶ知識が現場で使えるものに育まれていくと思っています。また、実際の子どもたちと触れ合うことができる学校インターンシップや教育実習で得られた経験を理論と掛け合わせることで、指導力がさらに大きく向上するのではないかと考えています。

日本全国の体育の授業をより良く。

水泳の競技経験で得られた専門性と体育科教育学という学問の専門性を掛け合わせ、水泳授業の研究を行っています。スイミングスクール等ですでに高い泳技を有した子どもと、はじめてプールに入る子どもが一緒に受ける水泳の授業において、どちらの子どもも学習成果が得られる授業の在り方について検討を重ねています。上手に泳げればよいという話ではなく、そのために自分で考えたり、仲間と協力して課題を解決していくことも体育の目標。広い視野で体育の授業を考えることが必要だと感じています。

「全員が入部して良かった!」と思えるチームにしたい。

水上競技部(水泳部)の指導者として、チームに一人速い選手がいれば有名になったり、高い評価を得られたりするのですが、私は決してそうじゃないと思っています。現在約30人の部員がいる中で、全員が満足感を得られるチームにしなければなりません。高校時代に速かった、遅かった、日本のトップレベルにいける、いけないに関わらず、みんながこの水上競技部に入って良かったと満足し、成長していけるような指導をめざしています。

PICK UP

監督を務める「水上競技部(女子)」は、
関西女子学生選手権水泳競技大会で
2023年に総合3位!



Profile

主な業績や指導実績として、体育教師志望学生の教材内容についての知識が相互作用行動に及ぼす影響—3名の教育実習生を対象とした事例的検討—(筑波大学修士論文)や、泳ぎの習熟度からみる背泳ぎとクロールの学習指導の順序性に関する検討(若手大学教育学部附属教育実践総合センター研究紀要(14))、背泳ぎの学習による背泳ぎの姿勢改善の効果(大阪体育大学教育学研究(5))。著書には、「初等体育授業づくり入門」(共著・大修館書店・2018年)、「初等体育科教育」(共著・ミネルヴァ書房・2018年)。水上競技部女子の監督も務める。





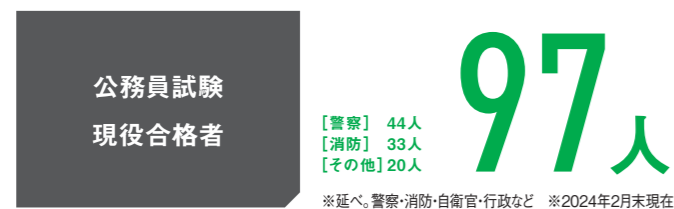
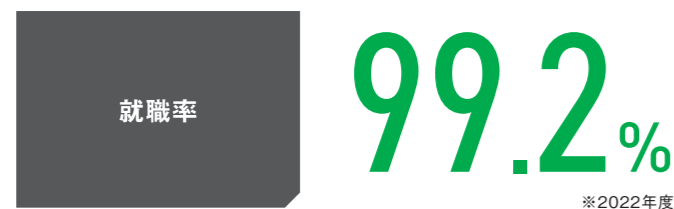
一人ひとりに寄り添い
就職活動を全面的に
バックアップ。

夢をかなえる キャリアサポート

CAREER SUPPORT

本学のキャリア支援は、公務員・民間企業などへの道をサポートする「キャリア支援センター」と、教員採用試験合格に向けて経験豊富なスタッフが徹底指導する「教職支援センター」が、車の両輪となって高い実績を残してきました。2021年度から両センターを統括する組織として「キャリア支援部」を創設し、連携をさらに強固にして、学生にとってより効果的なサポートを実施。あなたの卒業後の夢をかなえます。

数字でわかる大阪体育大学の明るい未来実績!



就職DATA

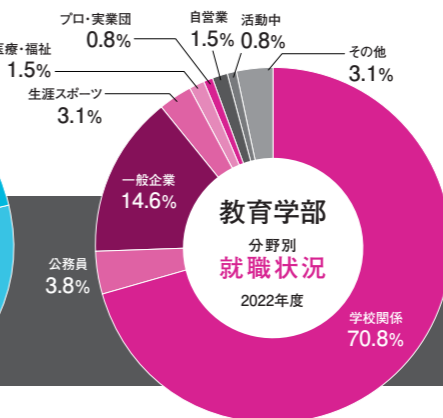
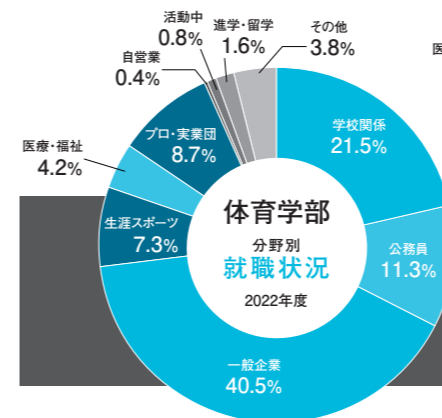
キーエンス、ミズノなど大手企業をはじめ、銀行や新聞社など、豊富な就職実績があります。

就職企業一覧 (順不同一部抜粋)

LIST OF EMPLOYERS

公務員試験、教員採用試験に多数が現役合格。一般企業では、スポーツメーカー、金融、鉄道、マスメディアなど多彩な業種への実績があり、企業の人事担当からも高評価をいただいています。

スポーツ業界	教員	公務員	製造・住宅業界など
ミズノ/アシックス/デサント/ゼット/エスエスケイ/久保田運動具店/アルペン/セビオホールディングス/コナミスポーツ/セントラルスポーツ/ルネサンス/幼児活動研究会(コスモスポーツクラブ) など ＜球団事務所＞阪神タイガース/オリックスバファローズ/福岡ソフトバンクホークス/セレッソ大阪 など	公立小学校/公立中学校/公立高等学校/特別支援学校 など	警視庁/大阪府警/兵庫県警/大阪市消防局/東京消防庁/刑務官/法務教官/大阪府庁/皇宮警察/海上保安庁 など	＜製造など＞キーエンス/三菱電機/DMG森精機/YKKAP/良品計画/アイリスオーヤマ/鶴見製作所/バラマウントベッド/リコージャパン/丸紅エネルギー/アース製薬/エレコム など ＜住宅など＞大和ハウス工業/積水ハウス/住友林業 など
金融・医療業界など	情報・通信・メディア業界	プロ・実業団(選手)	その他
＜金融など＞京都銀行/静岡銀行/三菱UFJモルガン・スタンレー証券/明治安田生命保険 など ＜医療など＞ジョンソン・エンド・ジョンソン/日本新薬/参天製薬/ニプロ など	リクルートホールディングス/ソニーミュージックエンタテインメント/NTTドコモ/マイナビ/毎日新聞社/スポーツニッポン新聞社/日刊スポーツ新聞社/西日本 など	鹿島アントラーズ/北海道コンサドーレ札幌/サガン鳥栖/ガンバ大阪/ヴィッセル神戸/サンフレッチェ広島/東北楽天ゴールデンイーグルス/豊田合成/パナソニック/ヴィクトリーナ姫路/大阪ガス/北國銀行/クボタ など	西日本旅客鉄道(JR西日本)/阪急電鉄/日本通運/日清オイリオグループ/UHA味覚糖/ブルボン/Sky/総合警備保障(ALSOK)/リゾートトラスト/ミリアルリゾートホテルズ など



就職実績について
詳しくは、こちらを
ご覧ください。



e-Learningを活用した資格取得が可能

ライフスタイルに合わせてeラーニングを有効に利用し、授業、部活などと両立できる学びを進めることができます。

語学系	TOEIC®LISTENING&READING TEST (400点コース/500点コース/650点コース/800点コース)	統計系	統計検定/ビジネス統計スペシャリスト
マナー系	秘書技能検定/サービス接客検定/ビジネス実務マナー検定	会計系	日商簿記検定/ビジネス会計検定試験®
PCスキル	Microsoft Office Specialist2016/2019 (Word/Excel®/PowerPoint®)	色彩系	色彩検定®
不動産業界	宅地建物取引士/リテールマーケティング(販売士)検定	就職試験	筆記試験(玉手箱)対策講座
金融業界	ファイナンシャル・プランニング技能検定		
旅行業界	国内旅行業務取扱管理者/海外旅行業務取扱管理者		
情報・通信	ITパスポート試験		
その他	医科医療事務検定/ビジネス実務法務検定®		

※TOEICはエデュケーション・テスト・サービス(ETS)の登録商標です。 ※本冊子はETSの検討を受け、またその承認を得たものではありません。
※Microsoft Softwareは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

キャリア支援センター

一人ひとりに向き合い、
きめ細かくバックアップ。



学生一人ひとりが志望する進路の実現に向けて学生の潜在能力の開発・向上に努め、学生が自らキャリアデザインを考え、将来設計ができるようにサポートしています。キャリア支援プログラムでは、第一線で働く社会人の生の声を聞く機会を数多く提供。実際に仕事で成果を上げた時の喜びや大変なことなどを語っていただき、学生の「職業観」を養っています。

全学年共通プログラム

キャリアカウンセリング	学内セミナー (企業、公務員等)	公務員模試	全国公開模擬試験・ 解答解説	各種対策講座 (公務員、SPI等)
-------------	---------------------	-------	-------------------	----------------------

4年間のキャリア支援スケジュール

<h3>1年次</h3> <p>キャリア支援センターの利用方法を説明し、積極的な活用や学生生活の過ごし方を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新入生オリエンテーション ●キャリアフェスタ(講演会) <p>新入生オリエンテーション これから始まる学生生活がより充実したものになるように、大阪体育大学だからこそ身につく力や考え方についてアドバイス。また、キャリア支援センターでどのようなサポートが受けられるかを説明します。</p>	<h3>2年次</h3> <p>将来の知見を広げられるよう、キャリアデザインを考えるさまざまな機会を設けます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●キャリアデザインI(授業) (キャリアプラン、社会人基礎力、マナー、時事問題など) ●グループ面談 ●キャリアフェスタ(内定者から学ぶ) <p>キャリアフェスタ(内定者から学ぶ) 多様な業界・業種の社会人の先輩から、自身の就職活動や実際の業務内容、仕事のやりがいなどについて講演いただきます。社会で活躍する先輩の声を聞いて、将来の夢や目標を見つけるきっかけになります。</p>
<h3>3年次</h3> <p>個別面談を通して学生一人ひとりの目標を明確にし、進路に応じたサポートを実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●キャリアデザインII(授業) ●個別面談 ●キャリアフェスタ(さまざまな業界を知る) ●企業就活支援講座 ●公務員試験対策講座 ●キャリアアロッサム(大体大就活交流会) ●就活集中特訓講座 ●面接指導 ●応募書類添削 ●未来の相談窓口 ●キャリアだヨ!全員集合 ●企業・団体見学ツアー ●クラブ別キャリアガイダンス <p>キャリアアロッサム(大体大就活交流会) 企業の人事担当者と交流できる機会です。実際に企業にはどういった人材が求められているのか、どこに注目されているかなどを知ることができ、就職活動を行う中で助けになります。</p>	<h3>4年次</h3> <p>目標への挑戦を徹底的にフォロー。卒業後も在学中と同じようにキャリア支援を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●応募書類添削 ●面接指導 ●就職未決定者個人指導 ●最終キャリアガイダンス ●進路調査 <p>面接指導 自分の思いや経験を、採用面接でわかりやすく伝えるための練習ができます。企業で採用活動を行っていたキャリアスタッフが丁寧に指導するので、本番では落ち着いて自分の言葉で話せるようになります。</p>

担当者の声
一人ひとりの学生に寄り添う日本一のキャリア支援をめざしています。
キャリア支援センター長 藤平 祐司

企業の人事担当者から、大体大生は「元気さ」や「粘り強さ」、「リーダーシップ」が高いという評価をよくお聞きし、実際に大手企業をはじめ高い就職実績があります。大体大生がクラブ活動や本学独自の実習、インターンシップなど学外の学び、ゼミ、キャリア教育を通して人間力を磨いた成果だといえます。キャリア支援センターでは金融、スポーツメーカー、人事採用など多彩な企業・職種を経験した専従スタッフが学生一人ひとりに寄り添う充実した体制を整えています。スタッフは学生と二人三脚で面接練習などに取り組み、気軽

に何でも相談に来てもらえるよう家族的な人間関係づくりに配慮。各スタッフが学生と交流や情報交換をし、一度センターに相談に来た学生全員の顔と名前はもちろん覚えて、卒業後も交流は続き、職場での人間関係などに悩む卒業生とじっくり語りあうこともあります。就職活動(内定や合格による進路決定)はあくまで通過点。学生それぞれが社会に出て幸せの実現を叶えられるように、一人ひとりの学生に寄り添う日本一のキャリア支援センターをめざしています。

教職支援センター

学生の意識を高める
指導・サポート体制を。



教職に関する履修の相談や教員採用試験に向けたさまざまなプログラムを実施し、教員免許の取得および教職への就業を支援しています。採用試験説明会では各自治体から教員採用人事担当者を招いて概要や変更点を詳しく説明するため、早くから試験を意識した対策が可能です。

「教員をめざす学生」支援プログラム

筆記試験対策講座	教職教養、教的処理・判断推理、 一般教養、専門教養(小学校・保健体育)	実技対策講座	面接、模擬授業、小論文、 保健体育実技、小学校ピアノ
----------	--	--------	-------------------------------

説明会・講座等 年間スケジュール

<h3>4月-5月</h3> <ul style="list-style-type: none"> ●自治体別教員採用試験説明会 ●教員採用試験面接練習事前説明会 ●ボランティア、スクールサポーター等説明会・登録会 ●教員養成セミナー等説明会 ●教員採用試験対策模試(自治体別) 	<h3>6月-8月</h3> <ul style="list-style-type: none"> ●教員採用試験対策(面接・模擬授業・実技) ●SPI対策講座 	<h3>10月</h3> <ul style="list-style-type: none"> ●講師登録希望者説明会 ●自治体別教員採用試験説明会 ●教員採用試験対策模試(スタート)
<h3>11月-12月</h3> <ul style="list-style-type: none"> ●自治体別教員採用試験説明会 ●教員採用試験対策模試(全国) 	<h3>1月</h3> <ul style="list-style-type: none"> ●自治体別教員採用試験説明会 	<h3>3月</h3> <ul style="list-style-type: none"> ●教員採用試験大学推薦制度説明会 ●教員採用試験対策模試(全国)

教員採用試験対策の面接指導は年間通して随時実施しています

<h3>教員採用試験説明会</h3> <p>各教育委員会の担当者が学内で実施する教員採用試験説明会です。教員を志望する学生は誰でも参加できます。</p>	<h3>教員養成セミナー説明会</h3> <p>大阪市や堺市などでは、教員を志望する3年生へ、教員採用試験に向けた教員養成セミナーが実施されています。受講希望者を対象に、概要をお伝えします。</p>	<h3>教員採用試験対策模試</h3> <p>教員を志望する学生を対象に、年4回の模試(有料)を実施しています。自身の実力確認や苦手分野を把握することで、今後の対策や目標設定に役立ちます。</p>
--	---	--

担当者の声
教員になる夢をかなえる場であり続けたい。
教職支援センター長 木谷 法子

教職支援センターでは、幼稚園、小学校、中学校・高等学校(保健体育)、特別支援学校の教員免許の取得を希望する学生の履修指導や教育実習等の手続き、教員へのキャリア実現に向けて様々なサポートをしています。教員採用試験については、実施時期が早まり、自治体によっては3年生での受験が可能になるといった大きな変化が起こっています。センターでは、そうした最新の情報を迅速に提供しています。校長経験者を中心に行っている模擬面接は、一人ひとりにあった対策で、時には厳しく徹底した練習を年間を通して予約制で実施しています。

また、教員をめざす学生の様々な相談には、自分たちの経験やノウハウを伝えながら学生にモチベーションをキープしてもらうために、どんな時でも学生の話聞くことを最優先としています。センターには、教職・一般教養、小学校、保健体育、特別支援学校、論作文・面接などの各自治体の過去問の貸出しもっており、学生自主学習にも役立っています。また、教職関連の出版物も自由に閲覧できるようになっています。教職支援センターは、学生一人ひとりに寄り添った「教員になる夢をかなえる場」でありたいと考えています。

01 REAL 内定先 ミズノ株式会社

18年間プレイヤーとして励み、
自分を成長させてくれた
サッカーに恩返しをしたい。

体育学部 健康・スポーツマネジメント学科
スポーツマネジメントコース

川崎 寛太 さん (滋賀県立草津東高等学校出身)

先輩からのアドバイスで就職活動をするなら早めに動いた方が
良いとかがい、3年生の春から合同企業説明会に参加するなど
就職活動をスタート。全部で50社以上の企業を受けました。1社
1社エントリーシートをつくる際に、自分の思いを言語化することが
一番大変でしたが、それをクリアすると面接の練習などすべてに
全力で挑みました。そんな中、最後に受けたのが「ミズノ」だったの
ですが、これまでの人生でサッカーに打ち込んできたことやスポーツが
好きなこと、いろいろな企業を受けたことなどの経験値がすごく
活きたと思います。JFA(日本サッカー協会)は、2050年までに
FIFAワールドカップを日本で開催し、「日本代表チームがその大会
で優勝チームになる」と約束を掲げています。ミズノの一員として、
そこに貢献できるように努めることが今の目標です。



03 REAL 内定先 兵庫県警察

生まれ育った街に貢献したい。
地域の方々に寄り添う、
頼られる警察官へ。

体育学部 スポーツ教育学科
スポーツ心理・カウンセリングコース

池島 大生 さん (岡山理科大学附属高等学校出身)

警察官を続けている父の姿に影響を受け、高校時代から警察官を
めざしていました。大体大のオープンキャンパスに参加して、警察、
消防、公務員の就職率が高いことを知り、小学生から続けてきた
テニスを継続できる環境が整っていたこともあって大体大を志望
しました。2年生のときに、キャリア支援センターへ相談に行ったのが
就職活動のスタートです。勉強の進め方や始める時期はもちろん、
何から手をつければ良いか不安も多かったのでキャリア支援センター
と、先輩方にもたくさん相談。8~9割を勉強、残りを面接、小論文
の勉強に当てるなど苦手を克服できるように取り組みました。
最終的には、6つほど内定をいただき、その中から地元である
「兵庫県警察」を選択。地域の方々に寄り添って、頼られる警察官
になれるよう努めます。



02 REAL 内定先 熊本バスケットボール株式会社 (B.LEAGUE)

子どもたちがプロ選手に
目を輝かせる姿に感動。
自分もプロ選手を支える
プロになれるように。

体育学部 健康・スポーツマネジメント学科
スポーツマネジメントコース

篠崎 琴菜 さん (兵庫県立西宮北高等学校出身)

将来は「B.LEAGUE」に関わる仕事がしたいと、3年生のときに
「熊本ヴォルターズ」で、3週間インターンシップをさせていただきました。
マーケティング、営業など幅広く仕事を体験し、見るもの、
やること、どれも新鮮で楽しいことばかりでした。トップチームの練習
では、プロ意識の高さを感じ、スクールでは、子どもたちが目をキラ
キラさせているのを目の当たりにし、どのシーンを切り取っても夢を
与えるいい仕事だと感動しました。

「B.LEAGUE」への就職は、新卒の募集がなく、社会人経験が
ないと面接にもたどり着けないハードルがあり、就職をあきらめ
かけていましたが、インターンシップがきっかけで内定を得ました。
せっかくだらしたチャンス。プロ選手のために自分ができることを
精一杯やりたいと思います。



04 REAL 内定先 堺市立小学校教員

1年間、クラスの子とも
密に関わることができる小学校。
小さな変化や悩みに
気づいてあげられる教員へ。

教育学部 教育学科
小学校教育コース

小林 千夏 さん (大阪府立登美丘高等学校出身)

中学生のときのバスケットボール部の顧問の先生に憧れて、
自分もバスケットボールの指導ができる教員になりたいと思った
のが教職をめざすきっかけでした。自分のコミュニケーション力に
不安があったので、大学ではいろんな所へ行き、たくさんの人に
会うことや、様々な体験をしようと目標を立てて行動。体育実技
研究部に所属し、スポーツや地域イベントの企画・運営を行ったり、
震災ボランティアにも参加しました。この気持ちを忘れずに生涯
学び続ける教員でいたいと思っています。小学校教員の魅力は、
自分の学級の子もたちと1年間ずっと密に関わることができる
こと。授業中も、休み時間も、近くで見つめ、小さな変化や、悩みに
気づいてそれを拾って、一人でも多くの子もたちを笑顔にしたい
です。



01

プロサッカー選手
アビスパ福岡・ゴールキーパー

体育学部 健康・スポーツマネジメント学科 卒業
村上 昌謙 さん（滋賀県立草津東高等学校出身）

入学当時は、トップチームに入れず悔しい思いを。大阪体育大学のサッカー部に入学した最初の印象は「レベルが高い！」でした。先輩方はもちろんですが同級生の仲間たちも実力者がそろっており、入学当時はトップチームに入れませんでした。僕が1年生のときに、総理大臣杯全日本大学サッカー選手権大会でチームが優勝し、メガホンを持って試合会場で応援してすごく喜びましたが、同時に「ここのトップチームに入るのはすごく大変だぞ」という思いがありました。そこでトップチームに入るために、身体や精神面の差を埋めるところからはじめようと、まずは筋トレからスタートしました。大体大に入学できて良かったと思うのは、そうしたときに栄養学や身体の使い方などの授業で学んだことをすぐに実践できることでした。技術よりもまず、身体づくりを意識して練習に取り組めたことが今の自分につながっていると感じます。その頃に得た知識はアップデートしながら今でも役立っています。

大学3年生でようやくトップチームへ。インカレでの優勝が自分の自信につながりました。大学の3年生になり、ようやくトップチームでプレーができるようになりました。その年、全日本大学サッカー選手権大会（インカレ）で優勝したことがプロへの大きなきっかけ。大学1、2年の頃にはプロの選手になれるとは思っていませんでしたが、優勝後に全日本の選抜に呼んでいただき、そこでプロに行くような選手たちと一緒にプレーをして、自分が通用する部分があることに気がつけて。もちろん全然通用しない部分も多くあったのですがチャレンジできるという思いも生まれて、プロを意識するようになりました。その経験からさらに合同練習、自主練習の意識が変化していきました。

まず、プロチームの練習に参加して所属するチームを決定。オファーはもっと早く、いくつかいただいていたのですが、4年生になってからプロチームの練習に参加させてもらい、チームの雰囲気や、練習内容など自分の目で見て「レノファ山口FC」に決めました。当時は新しいチームとしての勢いがあり、明確なビジョンを掲げていたことに感銘を受け、僕もその中でチームを盛り上げていく一人になりたいと感じました。大体大のひとつ上の先輩もいて、いろいろとお話を聞かせていただいたことも大きかったと思います。新しい環境での不安もあったので先輩がいたことはすごく助けになりました。

アビスパ福岡を全国の人に知ってもらえるように。そして、ゴールキーパーを1番なりたいポジションに。2023年、アビスパ福岡はルヴァンカップで初優勝しました。これから2連覇、3連覇と続けていけるよう取り組み、アビスパ福岡を全国の人に知ってもらいたい。僕はゴールキーパーですので、たくさんの子もたちが「ゴールキーパーをやりたい！」って思う人気のポジションになれるように普及していきたいと思っています。キーパーはチームを救うことができるポジション。点は取れないけれど、チームを負けさせないようにもできるポジション。この魅力を、存分に発揮して、今後もアビスパ福岡に貢献していきます。



大阪体育大学での学びで

心と体が成長し、

今につながっています。

© avispa fukuoka

02

兵庫県兵庫警察署
地域第一課／直轄警ら隊

夢に向かって一步一步。
白バイ隊員をめざして、
大体大から警察官へ。

体育学部 健康・スポーツマネジメント学科 卒業
岸田 直倫 さん（京都成章高等学校出身）

子どもの頃から白バイ隊員に憧れを持ち、その夢をかなえるために大阪体育大学への入学を決意。公務員の勉強はもちろんですが、体を鍛えるためにも大阪体育大学の設備や環境が良いだろうと当時から計画的に考えていました。1年生から公務員の勉強を開始し、兵庫県警のインターンシップをはじめ、業務説明会などにも積極的に参加。就職の際は、大阪府警と京都府警、兵庫県警、皇宮警察を受けて、いろいろと悩みましたが、地元である兵庫県警に決めました。幼い頃から見ていた年頭視閲（ねんとうしえつ）式のパレードやこの街が好きだったことが決め手でした。拜命後は、まず半年間、警察学校で学び、その後、兵庫警察署へと配置が決まりました。地域課員として、交通の取り締まりや巡回パトロール、刑事のサポートを行っています。令和6年元日に起きた「能登半島地震」の被災地にも派遣されました。訓練の通りにいかない過酷な状況でしたが、一人でも多くの人を助けたいと1秒も無駄にできないと必死でした。ここで得た経験を、今後、多くの方の助けになるように活かしていきたいです。



03

泉州南消防組合
泉州南広域消防本部

男性だから女性だからと考えず、
私だからできることを
現場で精いっぱい、発揮できるように。

体育学部 健康・スポーツマネジメント学科 卒業
中野 千菜津 さん（関西大学北陽高等学校出身）

中学校への通学路に消防署があって、毎朝、毎晩、訓練などの様子を見ていたことが憧れのはじまりでした。その頃にちょうど、住んでいたマンションで炎上火災が発生。その現場を目撃して憧れが目標に変わりました。大学進学の際、大阪体育大学を選んだのは、消防の就職率が高かったことが大きな理由です。体を動かすことが好きで、中学から続けてきた陸上を大学でも続けました。陸上競技部では、個人で練習メニューを考えることが必要だったので、授業で習った体の構造のことや、ストレッチのこと、テーピングの実習などはすごく役立ち、今でも活用しています。女性の消防隊員は、まだとても少なく、心配されることも多いのですが、救急・火災の現場で女性だからできることもたくさんあります。だから性別は気にせず、ひとりの人間として成長し「この人がいるからここは任せられる」「この人がいるから大丈夫だ」という信頼を築いていくことを大切にしていきたいと思っています。今はまだ1年目。知識も技術もまだまだこれからですが、一つひとつの仕事をしっかりとやり切りながら経験を積み、救急でも、火災の現場でも頼られる人間になれるように日々、取り組んでいきます。



04 REAL 三重県立昴学園高等学校 保健体育科教員

TVドラマ「下剋上球児」
主役の熱血監督のモデル
高校野球が注目されて良かった。

体育学部 体育学科 卒業

東 拓司 さん（三重県立久居高等学校出身）

2013年、白山高校へ赴任することが決まった日にグラウンドを見に行くと、内野の全面に膝くらいまで雑草が生い茂って、野球部に限らず他のクラブもやっておらず……。それから4月の最初にグラウンドに行くと3、4人の野球部員がいました。そこが下剋上へのスタート地点。その後の3年間は頑張っても何も変えられず、4年目ようやく15人ほどの新生が入部。入学式の翌日から練習試合や公式戦を繰り返し、彼らが3年生になった2018年の夏に、甲子園出場を果たしました。大阪体育大学の先輩やその知り合いの方々に電話を掛けまくり、年に150、160もの練習試合の相手をしてもらい、ボールをいただいたりと卒業生のつながりに感謝しています。大体大のつながりがなければ甲子園の出場、そして「下剋上球児」というドラマ化の実現はなかったと思います。2023年4月からは三重県の山あいの大台町にある全寮制の昴学園高校に赴任し、保健体育科教員、野球部の監督として新たな環境でチャレンジをはじめました。ここではまず1回戦の突破からスタート。甲子園に一歩ずつ近づいていくつもりです。



06 REAL オリックス・バファローズ コンディショニンググループ トレーニング担当

卒業後は単身アメリカへ。
その後、大学院でさらに自分の研究を深め
トレーナーの道へ。

体育学部 スポーツ教育学科 卒業
大学院 スポーツ科学研究科 修了

鈴川 勝也 さん（大阪体育大学浪商高等学校出身）

大阪体育大学へは教員をめざして入学したのですが、ゼミでスポーツ科学について研究を深めるなかでより多くのことを学びたいと思うようになり、卒業後は単身アメリカへ。周囲と比べると珍しい進路選択でしたがキャリア支援センターの方が親身になってサポートしてくださったこともあり、不安を感じずに留学することができました。留学後は、大阪体育大学の大学院へ進み、自分の研究をさらに深めました。現在はプロ野球チームのオリックス・バファローズで2軍のトレーニング担当として多くの選手をサポートしています。選手一人ひとりの話を聞き、選手に寄り添ったトレーニングやリハビリ指導を心がけています。2023年シーズンには、チームとしてリーグ3連覇を達成することができました。今後も選手が活躍できるための、より良いリハビリ・トレーニングを追求し続けていきたいと考えています。



05 REAL 資生堂ジャパン株式会社

ありのままの姿で挑んだ動画審査。
等身大の自分らしさを受け入れて
もらうことができました。

教育学部 教育学科 卒業

内藤 愛 さん（兵庫県立舞子高等学校出身）

小学校から続けてきたサッカーを、大学4年間みっちり打ち込みました。練習はハードでしたが、そのぶん何度も全国大会を経験することができ、良い思い出がいっぱいです。あるとき、大学の先生に「人生における自分の強みが二つあると良い」とお話を聞かせていただき、自分を振り返ったときに「私にはサッカーしかない」と、気がつきました。その時に、もう一つの強みを社会人として作っていかうと決意。サッカーとは両極端のことを身につけようと考えて「化粧品」ってどうだろうと、資生堂ジャパンのインターンシップに応募しました。就職エントリーの際、動画審査があったのですが、きれいに着飾った自分で挑むことに違和感を感じ、人工芝のサッカーコートでリフティングしてから思いを語る動画にしました。その頃はまだバリバリにサッカーをやっていたので、日焼けして真っ黒で、メイクもせずに、すっぴんで。その後、採用が決まったときは、今の自分の内面を評価してもらったことに喜びを感じ、今でも自分らしく、たくさんの方々に笑顔にできるよう、化粧品を通してきれいのお手伝いに励んでいます。



07 REAL 株式会社スポーツニッポン新聞社 編集局 報道部 部次長

選手から主務の道へ。
たくさん悩んで選択した道は、
間違いではなかったです。

体育学部 生涯スポーツ学科 卒業

山本 浩之 さん（報徳学園高等学校出身）

高校時代に甲子園に出場し、その魅力や素晴らしさに感動。指導者としてもう一度、甲子園に出ることを目標に大体大へ進学しました。硬式野球部で野球を続けながら教員になる勉強を進めていたのですが、2年生のときに当時の監督から「選手を引退してマネジメントをやってみないか」とお話をいただきました。指導者をめざしていたので将来の役に立つとは思いましたが、寂しい思いもあり葛藤。悩んだ末に、主務の道に進むことを決断しました。200人近い部員をまとめる主な仕事以外に、名刺を持って他大学との交渉や社会人の企業チームへの練習参加をお願いに回るなど、たくさんのご経験を。教員免許は取得しましたが、様々な仕事の方にお会いしたことで、野球に関わるたくさんの仕事があることを知り、将来の視野が大きく広がり最終的に新聞社を選択。野球の経験や主務のときに培った幅広い人脈のおかげで記者として配属させてもらうことができました。約19年、現場記者として、阪神タイガース、オリックス・バファローズを担当し、現在はデスクを務めています。虎番時代から名選手の方々に寄り添い多くの思いを伝えてこられたことは私の誇りです。

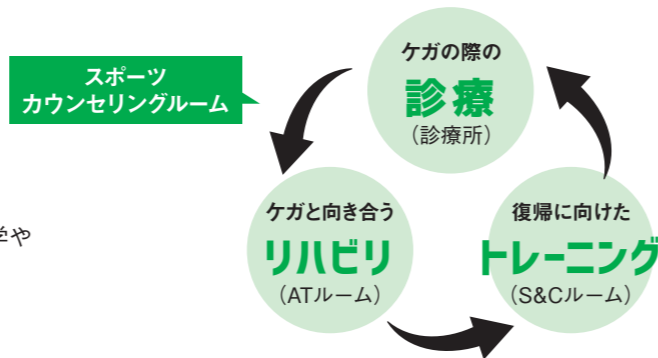


SUPPORT for SPORTS ACTIVITIES

スポーツ活動のサポート体制

学生のカラダと心を最大限に
サポートする体制が整っています。

全国でもトップクラスと言える充実の環境で、学生アスリートをスポーツ科学やトレーニング、医療など様々な角度から手厚くサポートします。ケガの際も、診療からリハビリ、その後のトレーニングやメンタルケアまで各分野が連携し、一人ひとりの選手を支えています。



診療所 全国でほぼ唯一! 医師が常駐



スポーツに打ち込む学生へのサポート体制の充実を図るため、2007年に保険診療を開始し、現在の運営になりました。整形外科と内科のスポーツドクター(教授)が診察、診断、投薬を行います。併設のリハビリテーション室にはアスレティックトレーナーの資格を持つ理学療法士がおり、整形外科医の診断に基づいたリハビリを受けることもできます。ケガの最初の段階から関わり、学内のみで競技復帰を一貫してサポートする体制が整っています。

担当医師からのメッセージ

学生がスポーツに専念できるよう様々なサポートを。

大阪体育大学診療所では、スポーツに打ち込む学生の整形外科的、内科的サポートを行なっています。ケガをした時の競技復帰までのサポートはもちろんのこと、公式戦出場前のメディカルチェック、貧血の治療、健康診断後の二次検診などの他に、不整脈や月経異常についての相談も受け付けています。また、麻疹などの抗体検査、インフルエンザワクチンの接種など、全ての学生が健康的な生活を送り、スポーツに専念できるよう、さまざまなサポートを行なっています。「自分の健康は自分で守る」という意識を持って、診療所を大いに活用してください。

内科部長 前島 悦子 教授



スポーツ局

OUHS ATHLETIC DEPARTMENT

全国に先駆けたクラブ統括部局

スポーツ局はクラブの統括組織として2018年に全国に先駆けて設置された部局で、学生アスリートや指導者に対し科学的知見を活用した競技向上支援や学生アスリートとして身につけるべき学修支援、ケガや事故を防ぐための環境整備など、総合的なサポートを担っています。また、教職員や学生アスリート、施設など大学のスポーツ資源の効果的な運用や機能統合を図り、体育・スポーツの総合大学としてのブランドの構築を推進します。

スポーツ局サイト



ホームゲームを学内で実施する「フレンドリーマッチ」

大学トップクラスのパフォーマンスを学生・教職員・地域の方々が見守ることができるイベント「フレンドリーマッチ」。企画や運営はスポーツマネジメントコースの学生が中心となり、スポーツ局が運営全体を取りまとめています。

令和5年度は、スポーツ庁及び大学スポーツ協会(UNIVAS)の委託事業である「大学スポーツ資源を活用した地域振興モデル創出支援事業」に採択され、ハンドボール部男子を選定し、関西大学ハンドボール部との親善試合をプロデュースしました。



ATルーム 専門スタッフとともにケガと向き合う



アスレティックトレーナーの専門資格を持つスタッフのもと、アスリートがケガからの競技復帰をめざしてトレーニングに取り組む施設。テーピングテーブルやトリートメントベッドのほか、ワールプール(渦流浴装置)で血流を増進させるホットバス、エクササイズ後の炎症を抑えるアイスバスなども利用できます。平日は毎日開室しています。学生ATチームも活動し、トレーナーをめざす学生の学びの場でもあります。

S&Cルーム 元プロ球団トレーニングコーチら専門スタッフが常駐



2016年にリニューアルし、約1200㎡のエリアにベンチプレスラック、スクワットラック、プラットフォームが13セットずつ整備され、機能的なトレーニングが可能な施設となっています。安田昌玄統括ディレクター(元オリンピックトレーニングコーチ)を筆頭に有資格者が複数名常駐しており、多くの学生アスリートをサポートしています。また、本施設はクラブに所属していない学生も利用可能な施設でもあります。

学生相談室・スポーツカウンセリングルーム 日本を代表するスポーツ心理専門家がケア



日本スポーツ協会等の委員を務め、日本代表やプロチームのメンタルサポートにあたる日本トップクラスのスポーツ心理専門家が、学生アスリートのメンタル面をサポート。メンタルトレーニング指導やカウンセリングを通して世界大会での好成績につながった選手もいます。カウンセラーは、スポーツメンタルトレーニング指導士などの専門資格の他、カウンセリングの国家資格である公認心理師資格も持っているため、スポーツに限らず学業・対人関係等の相談にも応じ、年間500件前後の面談を実施しています。

スポーツ科学センター

SPORTS SCIENCE CENTER

最先端の科学で学生アスリートをサポート

スポーツ科学センターは学生アスリートを最先端のスポーツ科学でサポートするために設置されているセンターです。アスレティックトレーニング(AT)、ストレングス&コンディショニング(S&C)、心理、栄養、測定評価の5部門に分かれ、分野を超えて連携しながら、学生に助言や指導を行っています。最近では、直線でのスプリント走を行う際に一歩ずつのステップ長や接地時間、速度などのデータを解析することでスプリント能力の改善に活かす「Opto Jump Next」を多数の球技関連のクラブの選手が活用。また、硬式野球部男女は投球や打球の球質を測定できる「Rapsodo」を練習に活かしています。多数のクラブが5分野もの幅広い科学サポートを受ける本学の体制の充実度は全国でもトップクラスといえます。

パフォーマンスの最適化をめざし、各分野が連携。
的確なアドバイスや指導を実践しています。

スポーツ
科学センター
サイト



1 AT部門



2 S&C部門



3 心理部門



4 栄養部門



5 測定評価部門



TAIDAI PICK UP!

大体大が誇る！学内や学外での多様な経験、体験ができる環境

学外での学び

PICK UP!

プロチームやスポーツ施設などでのインターンシップ実習、海外研修、地域住民の方との健康プログラムなど、学外での学びの場は多彩。マリンスポーツキャンプなど野外活動実習は非日常的な環境で課題解決にチャレンジし、リーダーシップ、コミュニケーション能力などを養う場として重要です。



アドベンチャーキャンプ実習



スノースポーツ実習



教育実習



マリンスポーツ
キャンプ実習



フィールドワーク

学習支援室(ラーニングコモンズ)

PICK UP!



ラウンジ風スペースで学生が自由に利用

学習支援室は普通の授業に関する学習支援や、各種公務員試験・SPI・教員採用試験対策など就職活動に関するサポート、その他個別の学習支援が主な業務。1対1の指導など手厚いサポートで、公務員試験などでの高い合格率の大きな力になっています。ラーニングコモンズは中央棟3階にある約140㎡のラウンジ風スペース。開放的な雰囲気、アレンジが自由なテーブル十数台が置かれ、自動販売機や冷蔵庫、電子レンジ、ポットに流し台もあります。学習のサポートを担当するチューター、現役学生・大学院生のピアチューターが常駐。学生は、ラーニングコモンズでお弁当を食べてから勉強したり、友達と連れ立って訪れて教え合ったりするなど自由に利用しています。

デジタルスポーツへの取り組み

PICK UP!



スポーツの世界で進展するDXの全体像を学習

スポーツ科学部では新たな授業として「デジタルスポーツ論」がスタートします。この授業は、スポーツの世界で進展するDX(デジタルトランスフォーメーション)の現状の理解と基礎的知識の習得から、実践的で体験的な学びを理解することを目的として開講されます。いくつかあるテーマのひとつである「メタバースとスポーツの未来」では、通信ネットワーク上に構築された「メタバース」の「スポーツ」への活用可能性について考えます。

運動部活動改革プロジェクト

PICK UP!

社会課題の解決にソフトバンク等と提携し挑戦。文科省・スポーツ庁、メディアも注目

本学は様々なプロジェクトを通して、社会課題の解決をめざしていますが、その大きな柱が運動部活動改革プロジェクト。中学校で運動部活動を指導する教員が足りないため、部活動指導に必要な知見を学んだ学生数十人が地域の中学校などで指導。ソフトバンク株式会社と提携してICTを活用した部活動指導を進めるほか、地域のスポーツ指導を担う人材を養成する社会人向け講座を開講。本学の活動は全国紙やNHK、民放で継続的に大きく報道され、文部科学副大臣やスポーツ庁の担当者が本学を視察するなど、社会から大きな期待を集めています。

グッドコーチ養成セミナー



中学・高校などで部活動指導員・外部指導者などとして運動部活動の指導にあたる学生の育成を目的に開講。

ソフトバンクと連携協定



大阪体育大学と、ソフトバンク株式会社は「スポーツ指導におけるICT活用」に関する連携協定を締結。

運動部活動指導認定プログラム



運動部活動指導に携わる人材を養成する講座を社会人向け(現教員を含む)に開講。

社会貢献センター

SOCIAL CONTRIBUTION CENTER



地域社会とのつながりが 教育・研究フィールドを広げる

社会貢献センターは教職員や学生、さらに大学施設を、学外の行政や組織、企業などと積極的に結びつけることで、スポーツ推進や学校教育・支援教育、地域づくりに貢献。地域社会とのつながりが学びの実践の場となり、教育・研究フィールドの広がりにつながっています。地域の住民を対象としたスポーツ・健康づくり教室や公開講座の実施、近隣の市町村や教育委員会等との連携によるスポーツ振興政策の立案、子どもたちの体力づくり教室を実践。クラブの運営や指導には学生が主体的に関わり、地域スポーツクラブのマネジメント、子どもたちへの指導の両面から学びを深めています。

事業紹介

- 1 | OUHSスポーツキャンプ
- 2 | 福島復興支援「サンライズキャンプ」
- 3 | 学外団体からの受託事業
- 4 | 子どもの体力向上推進プロジェクト など

その他の 主な活動内容

- 子ども運動教室
- 子どもスポーツクラブ「キッズボーシャーズ」
- 特別支援教育 教育講演会
- 特別支援教育 トワイライト研修会
- 学生ボランティア認定講習会
- OUHSサマーキャンプ
- OUHSスノーキャンプ
- 生涯スポーツカンファレンス
- くまとりロードレース

国際交流センター

INTERNATIONAL EXCHANGE CENTER



海外の大学・教育機関との交流による グローバル人材育成の支援

国際交流センターは大阪体育大学と海外の大学・教育機関との学術・学生・スポーツ交流の推進を目的として、2021年に設立されました。海外留学相談の総合窓口になります。海外の大学との交流を通して、大学の国際化の推進・グローバル人材の育成をめざします。

主な活動 内容

- 本学学生の海外留学・海外研修
- 本学に在学する外国人留学生の受け入れ・生活支援
- 海外の大学との教育・研究・学生交流の推進

海外 交流先

- 西安体育学院(中国)
- ウェスタン大学(カナダ)
- 台湾国立体育大学(台湾)
- 南洋理工学院(シンガポール)

GRADUATE SCHOOL [大学院]スポーツ科学研究科

博士前期課程(2年) / 博士後期課程(3年)

2022年度より「昼夜開講制」を導入し、夜間の講義は全国の体育・スポーツ系大学院でも数少ないオンラインで実施。全国どこからでも履修できるようになりました。

より科学的に。より実践的に。より高度に。よりプロフェッショナルに。

大阪体育大学大学院スポーツ科学研究科は1992年、体育系大学としては関西で初めて開設されました。スポーツ科学のさらなる発展と真のスペシャリストの養成をめざし、11学問分野(保健・体育科教育学、スポーツ史・哲学、スポーツ社会学、スポーツマネジメント、スポーツ心理学、アダプテッド・スポーツ、バイオメカニクス、教授学〈指導方法学〉、スポーツ生理学、スポーツ医学、スポーツ栄養学)では、指導教員の専門性に応じて5つの研究領域を対象とした学術的な研究と教育に取り組むことができます。また、スポーツ科学実践プログラムを導入するなど、時代の要請にあった実践的スペシャリストの養成にも力を注いでいます。

教育の目標

- 前期課程** スポーツ科学の研究を通して、体育教育や運動、スポーツによる健康づくり、生きがいつくり、スポーツマネジメント、スポーツ競技力の向上などについて、高度で専門的な知識・技能を有する高度専門職業人と研究者を養成。修士の学位を取得。
- 後期課程** 前期の学び・研究をさらに深め、高度化する体育・スポーツ科学の発展に貢献できる研究者を養成。博士の学位を取得。

修了要件の概要

課程	学位	修業年限(在学年限)	修了要件(単位数)	論文等
博士前期課程	修士 (スポーツ科学)	2年 (4年)	30単位	修士論文、または特定の課題についての研究成果
博士後期課程	博士 (スポーツ科学)	3年 (6年)	10単位	博士論文

※特定の課題についての研究成果とは、事例報告、フィールドワークによる実態調査、授業実践報告などを指します。スポーツ科学実践プログラムの受講者のみ2年次進級時に修士論文が特定の課題についての研究の成果を選択できます。

進路先 ● 大学・高校・中学教員 ● 研究機関(国立スポーツ科学センター等) ● 一般企業 など。

リカレント教育推進プログラム(博士前期課程)

大学卒業後に一旦、プロや実業団等のスポーツ選手としてプレーした後や、社会人(教員、会社員等)として働きながら大学院へ入学する人が年々増加。博士前期課程においては、入試制度でも社会人選抜やスポーツ選抜等(論述、面接)を採用。リカレント教育の推進に力を入れ、いつでも学べる環境を整えています。現職教員や社会人は、長期履修制度と組み合わせることによって、仕事を続けながら、修士(スポーツ科学)の学位を取ることができます。

リカレント教育とは?

「リカレント(recurrent)」とは、「繰り返す」、「循環する」という意味。学校教育からいったん離れて社会に出た後も、それぞれの人の必要なタイミングで再び教育を受け、仕事と教育を繰り返すことを言います。社会人になってから自分の仕事に関する専門的な知識やスキルを学ぶため「社会人の学び直し」とも呼ばれます。

スポーツ科学実践プログラム

高度専門職業人の養成を主たる目的として、保健・体育科教育学分野、スポーツマネジメント分野およびスポーツコーチング分野を開設。高度で専門的な知識・技能を身につけてから社会で活躍したいという学部生、既に社会で活躍しているが、さらにスキルアップを図りたい社会人に向けたプログラムです。

長期履修制度

職業を有している等の事由により、本来の標準修業年限(2年)では履修が困難だと認められる者について、本来の修業年数(2年)において支払う授業料で、3年または4年かけてじっくりと計画的に履修する事が可能。

※単位の取得状況や学位論文の審査過程により修了が延期となる(いわゆる留年)者を救済する制度ではありません。
※在学期間中に起こった療養、海外留学等、一定期間履修することができない場合も対象ではありません。

昼夜開講制

昼間開講科目は対面授業、夜間開講科目は遠隔授業(オンライン)で実施しています。社会人や関西圏以外に居住されている方は、職場や自宅で受講することが可能。通学や仕事との両立など、受講環境の問題で大学院進学をあきらめていた方々に寄り添ったシステムです。

MESSAGE 研究科長

多様な研究ニーズに応える研究環境を活かして、 体育・スポーツ科学の発展に寄与できる人材へ。

大学院博士前期課程では、高度なスポーツ科学の知識をもち実践的な指導を行える専門家を、博士後期課程では、高度な専門知識に裏打ちされた斬新な研究を行える研究者の育成をめざしています。体育・スポーツを多角的に捉え、社会のニーズに対応出来る質の高い人材を育成する為に、多様な教授陣を配しています。スポーツの持つ可能性を「広い視野」、「豊かな感性」、「発想力」を持って探求し、創造性に富んだ研究に挑戦できる受験生を待っています。

大学院スポーツ科学研究科長
博士(人間・環境学)
浜田 拓 教授



京都大学大学院人間・環境学研究科博士課程修了、米国・ミシガン大学キネシオロジー学部筋生物学実験室ポスドク研究員、国立病院機構京都医療センター臨床研究センター予防医学研究部研究員を経て、2008年より現職。運動・トレーニングが身体機能に与える適応効果とその分子機序に関する研究に従事している。

研究施設



総合実験室

気温、温度や風速が設定できる環境制御室をもつ実験室。「暑・寒環境での運動における留意点」など、さまざまな実験が行われます。



バイオメカニクス実験室

ビデオ画像をパソコンに取り込み、人の動作やスポーツ技術・戦術などを解析します。同時に地面反力やEMG、超音波画像なども測定します。



スポーツ心理学実験室

実験室・データ処理室・パッケージルーム・カウンセリングルームの4ブロックで構成。スポーツ選手の「こころと身体」の相互作用を測定・分析します。



コーチ学実験室

PC画面や動画を映写したボード上で書き込みやパソコン操作が可能。戦術ミーティングでも使用される「ビッグパッド」をはじめ、インターネットや動画、画像分析の環境も完備。



スポーツ医・科学実験室

三次元磁気自動動作解析システム、地面反力計、筋電計、等速性筋力測定器、体幹筋力測定器などが完備され、スポーツ医学の実験や測定が可能。

その他の研究施設

スポーツ生理学実験室

生理・生化学実験室

社会調査室

試料分析室

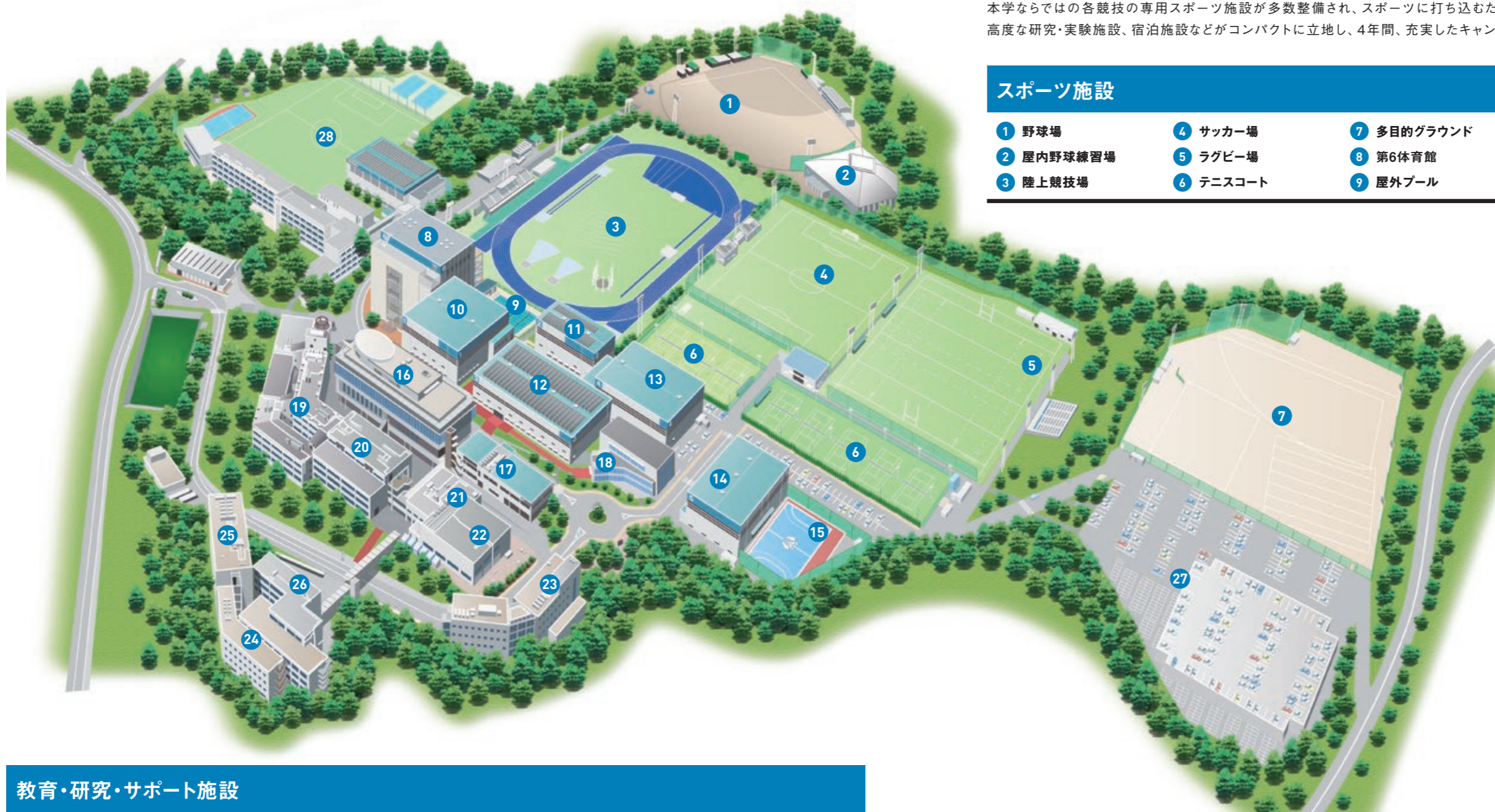
スポーツ栄養学実験室

大学院自習室

学びにスポーツに最高の環境

甲子園球場7つ分のキャンパスに学び、研究、スポーツの全施設が集中しています。

豊かな緑に包まれた丘陵地に広がるキャンパスは総面積約27万2000㎡で甲子園球場7つ分の広さ。日本を代表する体育大学の一つである本学ならではの各競技の専用スポーツ施設が多数整備され、スポーツに打ち込むためには最適な環境です。教室棟、バイオメカニクスなどの高度な研究・実験施設、宿泊施設などがコンパクトに立地し、4年間、充実したキャンパスライフを過ごせます。



スポーツ施設

- | | | | | |
|-----------|----------|------------|----------|--------------|
| 1 野球場 | 4 サッカー場 | 7 多目的グラウンド | 10 第1体育館 | 13 第4体育館 |
| 2 屋内野球練習場 | 5 ラグビー場 | 8 第6体育館 | 11 第2体育館 | 14 第5体育館 |
| 3 陸上競技場 | 6 テニスコート | 9 屋外プール | 12 第3体育館 | 15 ハンドボールコート |



18 開学50周年記念館(L号館)

2階は約500席の大教室(L201)。人数の多い講義や、著名人の講演会などで使用。3階のL301(約300席)とモニターなどが連動し同時利用も可能。1階は最新鋭のマシンが並ぶS&Cルーム、ロビーでは、本学出身プロ選手らのユニホームやトロフィーなどを展示。

19 スポーツ科学部研究棟(B・R号館)

- 総合実験室(B号館)
- スポーツ心理学実験室(B号館)
- バイオメカニクス実験室(R号館)
- コーチ学実験室(戦術分析)(B号館)
- 生理・生化学実験室(B号館)
- 試料分析室(B号館)
- スポーツ栄養学実験室(B号館)
- 社会調査室(B号館)

教育・研究・サポート施設



16 中央棟(図書館/ラーニングcommonsなど)

図書館は、蔵書20万5000冊、雑誌3300種、新聞15紙。明るく開放感あふれるフロアには体育・スポーツ関係、教育関係の専門書や一般書があります。学習支援室(ラーニングcommons)は、普段の授業に関する学習支援や、各種公務員試験などの就活支援を実施。学生は自由に利用可能です。



17 食堂・エナジーカフェなど

300席以上あるレストラン。多彩なメニューが提供され、エナジーカフェでは軽食やドリンクをテイクアウトできます。C号館にも学生食堂(レストラン)があり、お昼は中央棟前広場でお弁当を販売。コンビニ、給品部も利用できます。



23 OUHSセミナーハウス

約160人が宿泊可能です。学内のクラブ合宿をはじめ、全国や海外からの団体合宿も利用。1階は学生ホールやテラスがあり、学生の憩いの場。コンビニも併設されています。

- 20 教室棟(C号館)
- 21 22 アスレティックトレーニングルーム/診療所など(D号館)
- 24 教育学部研究棟(Q号館)
- 25 教室棟(P号館)
- 学生相談室・スポーツカウンセリングルームなど
- 26 家庭科室/理科室/音楽室/模擬教室/図画工作室(O号館)
- 27 教職員・学生・来客用駐車場
- 28 大阪体育大学浪商中学校・高等学校

教育学部各実習室

実習や模擬授業は学校現場さながらの環境で行います。理科室には理科授業に必要な実験器具が揃い、音楽室には多種多様な楽器が並びます。家庭科室ではコンロや調理器具を実際に使用して授業を行います。





第6体育館 1階は25m×10コースの公認屋内プールで、水深は飛び込み側が国際規格の2.00m、ターン側が国内規格の1.35m。2階はレクチャールーム。3階は多目的アリーナで障がい者や子どもの運動教室などでも利用。壁面にボルダリングウォールも設置。体育館は6棟すべて、冷暖房完備です。



第1体育館

1階は柔道と剣道、なぎなたの道場。柔道場は、クッション性が高く安全性に優れた国際規格に対応した畳を使用。剣道場は、床に檜材を使用し素足での踏み込み動作に適した床構造。試合場を3面とれる広さで、実戦を見据えた練習が可能です。2階はバスケットボール専用フロアで、コートは2面とれます。



第2体育館

1階はダンスや空手などで使用。片側一面が鏡で、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンも手掛けた舞台照明会社による舞台照明環境が整えられています。2階はバドミントンや新体操のほか、トランポリンで使用できるよう、天井が高い設計です。



第3体育館

1階は最新のトレーニングマシンが多数そろったS&C（ストレングス・アンド・コンディショニング）ルーム。ロッカールーム、シャワー室を完備。2階は国際基準の設備を備えた体操競技専用フロアで、ほぼ全種目を1フロアで行えます。



第4体育館

バレーボール専用の体育館です。コートは2面とることができ、天井が高く広々とした構造になっています。床面は、跳躍を繰り返しても身体に負担が少ない特殊構造です。



第5体育館

ハンドボール専用の体育館。体育館に隣接して屋外ハンドボールコートもあり、いつでも練習や競技を行うことのできる環境が整っています。



テニスコート

東コート5面は耐水性・耐摩耗性に優れたアクリル系ハードコートで全米オープン会場と同じサーフェス。西コート3面はウェット・ドライどちらでも適切なすべりと弾力性を保つ、砂入り人工芝です。各種の公式戦が可能で、国際テニス連盟公認の国際大会も開かれました。



陸上競技場 (2022年に全面改修)

全天候型8レーン400mトラックの第三種公認競技場。4か所にフォースプレートを埋設できる設備があり、科学的研究や効果的な練習が可能。レクチャールームなども併設。2007年大阪世界陸上でタイソン・ゲイ、アリソン・フェリックスら米国代表が事前合宿しました。



ラグビー場

世界で初めて国際ラグビーボード(現ワールドラグビー)から公式認定された、人工芝ラグビー場。より高いクッション性をもち、ミスト散水装置も備えた、体に優しいグラウンド。隣接して専用トレーニングルームがあり、時間を選ばずにトレーニングができます。



サッカー場

西日本の大学初の全面人工芝グラウンドです。ナイター設備を完備しており、夜間でも練習や試合が可能。フィールド内にはミスト散水装置を備え、年間を通して最高の状態でプレーできます。レクチャールーム、ロッカールームもあります。



多目的グラウンド

本学施設群の中で一番高い場所にあり、見晴らしが最高です。水はけにも優れています。アメリカンフットボール、ラクロス、ソフトボール、フィールドホッケー、アルティメット、軟式野球など、さまざまな競技で使用しています。



野球場

両翼90m、センター120mの正規グラウンド。建設当時から内野の黒土の範囲と産地は阪神甲子園球場に合わせています。ナイター設備、8人が同時に使用できるブルペンや雨天練習場のほか、大型スコアボードも完備しています。



屋内野球練習場

屋根はドーム型で大学野球屈指の広さを誇ります。人工芝や土は神宮球場と同じものを使用。様々な球筋を設定できる最新型のピッチングマシン6台や、従来のドラム式に加え、一人での練習も可能なアーム式マシンを設置しています。

大体大生の1日に密着

REAL University LIFE

daily schedule

- 06:45 起床
- 07:30 自宅発
- 08:30 大学着
- 09:00 授業
- 12:10 昼食
- 13:00 トレーニング
- 14:40 授業
- 17:10 クラブ活動
- 21:00 帰宅

女子プロ野球や侍ジャパン
女子代表のメンバーを経験。
これからも夢に向けて
挑戦し続けたい。



daily schedule

- 08:00 起床
- 08:30 自宅発
- 08:40 大学着
- 09:00 キャリア支援センター
- 10:40 授業
- 12:10 昼食
- 13:00 授業
- 16:30 クラブ活動
- 21:30 帰宅

体を動かすことが好き。
アダプテッド・スポーツ部に
惹かれたこともきっかけでした。



01

体育学部 健康・スポーツマネジメント学科 3年
健康スポーツコース

白石 美優 さん

profile

福知山成美高等学校 出身
硬式野球部（女子）所属
侍ジャパン女子代表

高校を卒業後、女子プロ野球選手として3年間を過ごしました。女子プロ野球リーグが活動休止となったことで高校時代から志望していた強豪女子野球部のある大阪体育大学への進学を決意。中学時代にチームメイトだった友人との「大学でまた一緒にやろう」という約束がようやくかない、同じチームで日本一をめざすことができました。2021年開催の第11回全日本大学女子硬式野球選手権大会で初優勝できたことは、これまでの大学生活の中で一番の思い出です。

02

教育学部 教育学科 3年
保健体育教育コース

河田 紘孝 さん

profile

山口県立華陵高等学校 出身
アダプテッド・スポーツ部 所属
わくわくアダプテッド・スポーツクラブでも活動

体育や運動が好きだったこともあり、高校時代は漠然とですが体を動かすことを職業にしたいと考えていました。教育学部があり、高校の体育科の先生が卒業生だったことも大体大を受験した理由です。パンフレットに掲載されていた『アダプテッド・スポーツ部』に惹かれたことも大きかったです。高校で野球部を引退して、また何かに打ち込みたいと思っていたときに「やってみよう」と、わくわくしました。クラブの楽しさは想像以上！ 毎日が充実しています。

class 9:00 / 授業

教員免許の取得をめざして勉強中。
1限目からの授業の際は、
6時台に起床して大学へ。



lunch 12:10 / 昼食

部活の仲間や友人たちとランチ。

training 13:00 / トレーニング

チームの全員が行うトレーニングメニューの一つひとつクリア。運動パフォーマンスの向上はもちろんケガをしないカラダづくりを心がけています。



club activities

2021年に入学し、その年の全日本インカレ初優勝に貢献。



commuting 8:40 / 登校



ひとり暮らしの部屋から学校まではバイクで通学。10分くらいで着けるので余裕を持って登校しています。

career support center 9:00 / キャリア支援センターへ

就職活動が本格化していく中、自分の目標などを再認識するための「個別面談」へ。運動だけでなく部活で培ってきたコミュニケーション能力を活かしたい。



lunch 12:10 / 昼食



club activities 16:30 / クラブ活動

毎週水曜日は、16時半からアダプテッド・スポーツ部の練習。チーム力を高めるために、たくさんコミュニケーションをとりながら意見交換して練習を進めます。



“カバンの中身” 教えてください！

財布

女子プロ野球選手になったときに、頑張ったご褒美として自分にプレゼント。5年程度、使い続けているお気に入り。



FOCUS

侍ジャパン女子代表として活躍

「第3回BFA女子野球アジアカップ」で3連覇！「第9回WBSC女子野球ワールドカップ」では7連覇をめざす。



“カバンの中身” 教えてください！

アームスリーブ

車椅子ハンドボールの練習などの部活で使用。長時間練習することもあり筋肉疲労の対策としていつも使用しています。



FOCUS

日本車椅子ハンドボール競技大会で優勝

アダプテッド・スポーツ部で参加した「第20回日本車椅子ハンドボール競技大会」で優勝！



REAL CAMPUS EVENTS

大阪体育大学の1年 ここにしかない出会いや感動を、自分のチカラへ。

大学祭や野外活動実習など、1年を通してイベントが充実。
大阪体育大学でしかできない様々な経験は、きっと自分を大きく成長させるはずです。
たくさん挑戦し、より多くの発見や感動に出会い、価値ある学生生活を過ごしませんか。

大学祭「雨山祭」

(10月に2日間開催)

お笑い芸人を招いたライブや、各種イベント、スポーツ大会、キッチンカーのグルメや、バザーなどを実施。1年生が実行委員会の中心になってイベントを企画することが伝統になっています。



キッチンカー

人気のスイーツやグルメが楽しめる様々なお店のキッチンカーが毎週出店!

エナジーカフェ

サンドイッチやおにぎりなどの軽食や、スムージーなどのドリンクなどをテイクアウト可能。
学生に人気のスポットです。



食堂

2024年4月にリニューアル。必要な栄養素やカロリーを自分好みにカスタマイズできる「アスリートバイキング」が新たに登場。バランスの取れたデイリーセットのほか、カレーライス、パスタ、スペシャルヌードルなどメニューは多彩で、野菜サラダ、唐揚げなどの単品も充実。電子マネーの利用も可能になりました。

FASHION SNAP



大体大生のファッション事情!?

大体大の学生たちの普段着って、どんな感じなんだろう?
大学のキャンパス内で、個性あふれる学生たちに直撃インタビューを実施しました。

1. 体育学部/スポーツ教育学科
弓埜 祥太郎さん
3年/履正社高等学校 出身

野球部で体が大きいこともあり、ゆったりとした体型が目立たない服を着ることが多いです。服を購入するときは、着たときのサイズ感にこだわるのでネットで買うことはなく、アウトレットモールや難波、心斎橋にショッピングへ出かけます。

3. 体育学部/健康・スポーツマネジメント学科
板谷 成さん
3年/大阪体育大学浪商高等学校 出身

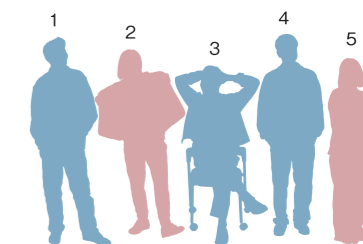
今日のポイントは、デニムのジャケット。古着が好きなのでフリマアプリで購入したり、難波や、和歌山まで買いに行くこともあります。普段は、授業で実習があったりするので、もっとラフで動きやすい格好で学校に行くことが多いです。

2. 体育学部/健康・スポーツマネジメント学科
橋本 智子さん
3年/香ヶ丘リベルテ高等学校 出身

母親とすごく仲良しで、よく2人で買い物に出かけます。私の好みをわかってきて「これ似合うよ」とか選んでくれたり、突然、買ってきてくれたりします。普段は、その中から気候に合わせて着ていく服をチョイスしています。

4. 体育学部/健康・スポーツマネジメント学科
井上 拓己さん
3年/滋賀県立彦根翔西館高等学校 出身

古着がけっこう好きなので今日は全部、古着でコーディネートしました。授業の内容によって、脱いだり、着たりしやすいジップタイプの服をよく着ています。形や色など、個性的なアイテムが好き、そういうのを見つけたら手にとってしまいます。



5. 体育学部/スポーツ教育学科
津田 百翔さん
3年/大阪体育大学浪商高等学校 出身

双子の妹と服を買いに行くことが多くて、好みがあったら割り勘で一緒に買うことも。着たい日がカブったらジャンケンで決めたりします。陸上部なので、学校へはジャージで来ますが、プライベートはシックなきれいめファッションがお気に入りです。

ACADEMIC CALENDAR	4月 APRIL	5月 MAY	6月 JUNE	7月 JULY	8月 AUGUST	9月 SEPTEMBER	10月 OCTOBER	11月 NOVEMBER	12月 DECEMBER	1月 JANUARY	2月 FEBRUARY	3月 MARCH
	<ul style="list-style-type: none"> 入学式 新生オリエンテーション 履修登録 前期通常授業開始 健康診断 	<ul style="list-style-type: none"> マナーアップキャンペーン 	<ul style="list-style-type: none"> 開学記念日 教育実習(4年生) 	<ul style="list-style-type: none"> 前期通常授業終了 前期定期試験 	<ul style="list-style-type: none"> 夏季休業 前期追試験 キャリアフェスタ(3年生) アドベンチャー キャンプ実習(予定) 野外活動実習I(教育学部) 	<ul style="list-style-type: none"> 集中講義 前期終了 後期通常授業開始 教育学部: 教育実習(3年生) マリンスポーツ実習(予定) 	<ul style="list-style-type: none"> 大学祭(雨山祭) 	<ul style="list-style-type: none"> 学園創立記念日 	<ul style="list-style-type: none"> 冬季休業 	<ul style="list-style-type: none"> 後期通常授業終了 後期定期試験 	<ul style="list-style-type: none"> 後期追試験 キャリアフェスタ(1・2年生) スノースポーツ実習(予定) 野外活動実習II(教育学部) 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業式 春季休業 後期終了 ゴルフ実習(予定)



CLUBS

強化クラブ

ークラブ紹介／実績・一覧



全国大会、世界大会をめざすクラブを強化クラブと認定しています。
2018年に発足した「スポーツ局」と各クラブが連携し、円滑に競技力の強化体制を図っています。

※本学が定める学業成績基準を満たさない学生は、クラブ活動が制限されます。
※部長、監督名などは変更になる場合があります。部員数は原則として2023年11月現在。

クラブサイトは
こちら



硬式野球部 (男子)

[部長] 中山 健 [監督] 松平 一彦 [部員数] 178名
[2023年度の主な戦績]
阪神大学リーグ1部 春季4位、秋季5位
[これまでの主な戦績]
2006年度全日本大学選手権 優勝



硬式野球部 (女子)

[部長] 中山 健 [監督] 横井 光治 [部員数] 33名
[2023年度の主な戦績]
全日本大学選手権 ベスト4
全日本選手権 ベスト4
[これまでの主な戦績]
2021年度全日本大学選手権 優勝



サッカー部 (男子)

[部長] 吉沢 一也 [監督] 松尾 元太 [部員数] 230名
[2023年度の主な戦績]
関西学生リーグ1部 5位
[これまでの主な戦績]
2020年度関西学生リーグ1部
優勝(3連覇)
2013年度全日本大学選手権 優勝



サッカー部 (女子)

[部長] 吉沢 一也 [監督] 石居 宣子 [部員数] 45名
[2023年度の主な戦績]
関西学生女子春季・秋季リーグ1部
各2位
[これまでの主な戦績]
1994、1999、2006年度
全日本大学女子選手権 優勝
2017、2019年度全日本大学女子選手権 3位



体操競技部 (男子)

[部長] 田原 宏晃 [監督] 藤原 敏行 [部員数] 43名
[2023年度の主な戦績]
全日本学生選手権1部 団体総合9位
個人総合・種目別 入賞
[これまでの主な戦績]
2022年度全日本学生選手権1部
団体総合5位・種目別ゆか1位
2022年FIG国際チャレンジカップ
ソナバトヘイ大会 つり輪3位・平行棒5位



体操競技部 (女子)

[部長] 田原 宏晃 [監督] 田原 宏晃 [部員数] 19名
[2023年度の主な戦績]
全日本学生選手権1部 団体総合7位
西日本学生選手権 団体準優勝、個人準優勝
関西学生選手権 団体準優勝、個人優勝
[これまでの主な戦績]
2021年全日本団体選手権 15位



ハンドボール部 (男子)

[部長] 小林 博隆 [監督] 下川 真良 [部員数] 56名
[2023年度の主な戦績]
全日本学生選手権 ベスト4
日本選手権 ベスト8
[これまでの主な戦績]
2018年度全日本学生選手権
優勝(10回目)



ハンドボール部 (女子)

[部長] 小林 博隆 [監督] 楠本 繁生 [部員数] 43名
[2023年度の主な戦績]
全日本学生選手権 優勝(11回目、10連覇)
日本選手権 ベスト4
[これまでの主な戦績]
2020、2021年度日本選手権 準優勝



ラグビー部

[部長] 中井 俊行 [監督] 長崎 正巳
[部員数] (男子) 86名 (女子) 1名
[2023年度の主な戦績]
関西大学Bリーグ 優勝
[これまでの主な戦績]
2006年度全国大学選手権
ベスト4





剣道部 (男子)

[部長]工藤 俊郎 [監督]村上 雷多 [部員数]60名
[2023年度の主な戦績]
関西学生優勝大会 ベスト4
[これまでの主な戦績]
2016年度全日本学生優勝大会 優勝



剣道部 (女子)

[部長]工藤 俊郎 [監督]古川 智司 [部員数]23名
[2023年度の主な戦績]
関西女子学生優勝大会 準優勝
[これまでの主な戦績]
2014年度全日本女子学生優勝大会 3位



バスケットボール部 (男子)

[部長]三島 隆章 [監督]比嘉 靖 [部員数]64名
[2023年度の主な戦績]
関西学生リーグ1部 5位
[これまでの主な戦績]
全日本大学選手権 出場



ダンス部

[部長]白井 麻子 [監督]白井 麻子
[部員数] (男子)2名 (女子)13名
[2023年度の主な戦績]
アーティストックムーブメント・イントヤマ 富山県知事賞
座・高円寺ダンスアワードⅡ 受賞
[これまでの主な戦績]
2021年度全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸) 神戸市長賞



テニス部 (男子)

[部長]橋本 祐介 [監督]宮地 弘太郎 [部員数]45名
[2023年度の主な戦績]
関西大学対抗リーグ2部 優勝 1部復帰
[これまでの主な戦績]
関西学生リーグ1部 優勝
大学王座ベスト4



テニス部 (女子)

[部長]橋本 祐介 [監督]岡村 修平 [部員数]24名
[2023年度の主な戦績]
関西大学対抗リーグ2部 3位
[これまでの主な戦績]
第25回全日本学生選手権 シングルスベスト4



バスケットボール部 (女子)

[部長]三島 隆章 [監督]村上 なおみ [部員数]43名
[2023年度の主な戦績]
第1回全日本大学新人戦 優勝
全関西女子学生選手権 優勝
[これまでの主な戦績]
2007、2012年度全日本大学選手権 優勝



陸上競技部

[部長]高本 恵美
[監督]貴嶋孝大(短距離)、友金明彦(中長距離)、高本恵美(跳躍)、中西 喙真(投擲)
[部員数] (男子)141名 (女子)45名
[2023年度の主な戦績]
関西学生対校選手権 5種目優勝、フィールドの部男子2位・女子1位
西日本学生対校選手権 3種目優勝
日本学生対校選手権 7種目入賞
[これまでの主な戦績]
2021年度日本学生対校選手権 女子やり投げ 武本 紗栄優勝
2020年度日本学生対校選手権 男子やり投げ 坂本 達哉優勝



柔道部 (男子)

[部長]前島 悦子 [監督]生田 秀和 [部員数]26名
[2023年度の主な戦績]
全日本学生体重別団体優勝大会 出場
[これまでの主な戦績]
2019年講道館杯(全日本体重別選手権)
60*。級出場
2019年全日本学生体重別選手権
66*。級ベスト16



バレーボール部 (男子)

[部長]長江 晃生 [監督]沼田 薫樹 [部員数]40名
[2023年度の主な戦績]
関西大学リーグ1部春季・秋季 各6位
全日本大学選手権 出場
[これまでの主な戦績]
2021年全日本大学選手権 ベスト16



柔道部 (女子)

[部長]前島 悦子 [監督]松田 基子 [部員数]15名
[2023年度の主な戦績]
全日本学生体重別団体優勝大会 出場
全日本学生体重別団体優勝大会 出場
[これまでの主な戦績]
2015年全日本学生体重別選手権 優勝(78kg超級)
2016年全日本学生優勝大会(女子5人制)ベスト8



水上競技部 (男子)

[部長]川島 康弘 [監督]尾関 一将 [部員数]33名
[2023年度の主な戦績]
国際大会代表選考会4名6種目出場
日本学生選手権 総合3位
関西学生選手権 総合3位
[これまでの主な戦績]
2011年度関西学生選手権 総合優勝
2012年度日本選手権 200m平泳ぎ5位



水上競技部 (女子)

[部長]川島 康弘 [監督]浜上 洋平 [部員数]19名
[2023年度の主な戦績]
日本学生選手権 総合21位
関西学生選手権 総合3位
[これまでの主な戦績]
2002年度日本学生選手権 総合9位
2003年度関西学生選手権 総合優勝



バレーボール部 (女子)

[部長]長江 晃生 [監督]長江 晃生 [部員数]30名
[2023年度の主な戦績]
関西大学秋季リーグ2部 優勝 1部昇格
[これまでの主な戦績]
2016年全日本選手権天皇家杯・皇后杯 ベスト16



大阪体育大学
[公式]
HP・SNS

必見!
広報室からの新鮮な情報が満載!



クラブの成績をはじめ、大阪体育大学のイベント情報やニュースなど、広報室から様々な情報を発信しています。現役学生の活躍からOBの現在まで、幅広いコンテンツが充実。出身校の先輩方も登場するかも知れません。リアルタイムの大体大情報をぜひ、HP・SNSでお楽しみください。



HP・NEWS



Facebook



YouTube



X



Instagram

大阪体育大学の
最新情報をチェックしよう!



マスコットキャラクター
「BOUHOUSEAR(ボーシャー)」



アスレティックトレーナーチーム

[部長] 有吉 晃平
[監督] 崎濱 星耶
[部員数]
〈男子〉10名 / 〈女子〉13名



アダプテッド・スポーツ部

[部長] 植木 章三
[監督] 曾根 裕二
[部員数]
〈男子〉20名 / 〈女子〉11名



アメリカンフットボール部

[部長] 藤本 淳也
[監督] 鳥居 寿祐
[部員数]
57名



クラブ・同好会

—クラブ・同好会 案内

めざせ日本一！ 未経験でもチャレンジOK！ 大体大には多彩なクラブ・同好会があります



大阪体育大学のクラブ・同好会は活動内容が多彩。インカレ優勝を重ねるクラブもあれば、経験がなくても新しい種目にチャレンジできるクラブ・同好会もあります。スポーツ競技だけでなく、野外活動や子ども運動教室に取り組む部も。仲間との切磋琢磨は社会で役立つ人間力を養います。

※部長、監督名などは変更になる場合があります。部員数は原則として2023年11月現在。



アルティメット部

[部長] 藤本 淳也
[部員数]
〈男子〉35名 / 〈女子〉10名



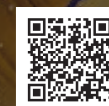
空手道部

[部長] 中房 敏朗
[監督] 高橋 伸一
[部員数]
〈男子〉3名 / 〈女子〉4名



新体操部

[部長] 長尾 佳代子
[監督] 川添 正勝
[部員数]
〈女子〉6名



ソフトテニス部 (男子)

[部長] 宮地 弘太郎
[監督] 菅 孝文
[部員数]
29名



ソフトテニス部 (女子)

[部長] 宮地 弘太郎
[監督] 川原 忠典
[部員数]
14名



ソフトボール部 (男子)

[部長] 竹内 亮
[監督] 熊崎 敏真
[部員数]
24名





ソフトボール部 (女子)

[部長] 竹内 亮
[監督] 森 智
[部員数]
25名



体育実技研究部

[部長] 富山 浩三
[監督] 小林 博隆、平川 武仁
[部員数]
(男子) 10名 / (女子) 3名



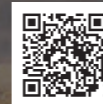
ダブルダッチ部

[部長] 高宮 正貴
[部員数]
(男子) 18名 / (女子) 18名



フィールドホッケー部 (男子)

[部長] 堤 裕之
[部員数]
2名



フィールドホッケー部 (女子)

[部長] 堤 裕之
[部員数]
4名



ボクシング部

[部員数]
(男子) 5名 / (女子) 1名



トライアスロン部

[部長] 足立 哲司
[監督] 足立 哲司
[部員数]
(男子) 12名 / (女子) 3名



なぎなた部

[部長] 土屋 裕睦
[監督] 天川 彰子
[部員数]
(男子) 1名 / (女子) 7名



軟式野球部 (男子)

[部長] 中村 健
[部員数]
48名



野外活動部

[部長] 池島 明子
[監督] 伊原 久美子
[部員数]
(男子) 8名 / (女子) 4名



幼小体育研究部

[部長] 栗田 昇平
[監督] 金子 勝司
[部員数]
(男子) 30名 / (女子) 27名



ライフセービング部

[部長] 中山 健
[部員数]
(男子) 19名 / (女子) 2名



軟式野球部 (女子)

[部長] 中村 健
[監督] 喜多 叶
[部員数]
23名



日本拳法部

[部長] ウェイン ジュリアン
[監督] (男子) 榎並 伸弥、(女子) 大谷 陽子
(男子) 1名



バドミントン部

[部長] 浜田 拓
[監督] 有吉 晃平
[部員数]
(男子) 19名 / (女子) 13名



ラクロス部

[部長] 橋本 祐介
[部員数]
22名



レスリング部

[部長] 壁谷 一広
[監督] 姫路 文博
[部員数]
(男子) 11名 / (女子) 2名



ローイング同好会

[部長] 中尾 豊喜
[部員数]
1名



世界で活躍する指導者たち

世界を舞台に活躍する指導者から、学べる環境。

国際大会で代表チームの監督やコーチ、審判員を務めた指導者が多数教員として大阪体育大学に在籍。国際舞台で得た経験の蓄積は、クラブ活動ではもちろんのこと、普段の授業でも学生たちに伝えられています。世界を舞台に活躍した教員と接し、講義を受けることで、きっとたくさんの学びがあるはずです。

※所属・役職は2024年3月末現在



ハンドボール女子 日本代表監督

楠本 繁生 教授

スポーツ科学部 スポーツ科学科
体育科教育コース

[担当授業]
ハンドボールI・II / スポーツ教育学演習II / 授業研究IB /
保健体育教職特講 / 教職実践演習(中・高) など

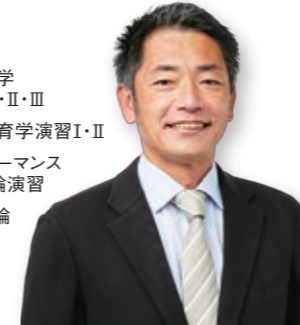
ハンドボール部女子監督として、2023年11月、全日本インカレで史上最長記録を更新する10大会連続11回目の優勝を達成した。2021年秋から女子日本代表「おりひめJAPAN」の監督を兼任し、2023年9～10月のアジア競技大会(中国・杭州)で男女通して初となる金メダルを獲得した。11～12月の世界選手権では代表選手20人中、14人が本学卒。現役の石川空選手(体育学部3年)も出場し、代表メンバーのほとんどが教え子だ。本学の学生時代にインカレ優勝。京都府立洛北高校の監督としても在任23年間で4連覇を含む7回のインターハイ優勝を果たし、2010年、本学の教員となった。

テニス男子 2023ユニバーシティゲームズ 日本代表監督

宮地 弘太郎 教授

スポーツ科学部 スポーツ科学科
スポーツ教育コース

[担当授業]
テニスI・II
スポーツ科学
特別演習I・II・III
スポーツ教育学演習I・II
球技パフォーマンス
分析論特論演習
コーチング論
など



テニス部男子監督。選手としてインカレ・シングルス優勝2回。1995～1999年まで日本代表(デビスカップ)としてプレー。ユニバーシティゲームズ(旧ユニバーシアード)は2005年(トルコ)から男子監督などを務め、2023年(成都)は、男子監督として団体、ダブルス、混合ダブルスで銅メダル。

剣道世界選手権 女子元監督

神崎 浩 教授

スポーツ科学部 スポーツ科学科
体育科教育コース

[担当授業]
スポーツ教育学演習I・II
武道学習論特論演習・
遠隔授業
スポーツ演習
武道の形
スポーツ科学
研究
など



剣道部男女総監督。選手として全日本学生優勝大会、全日本都道府県対抗優勝大会などで優勝。本学監督として全日本学生優勝大会で優勝2回、全日本学生選手権大会で優勝1回。2009年世界選手権は団体と個人を制した。

国際柔道連盟 インターナショナル審判員

松田 基子 教授

スポーツ科学部 スポーツ科学科
アスレティックトレーニングコース

[担当授業]
柔道IAB
スポーツコンディショニング
実習
健康・スポーツマネジメント学
演習I・II
インターンシップA
など



柔道部女子監督。選手として全日本女子選手権などに出場。同時に審判員も務め、2001年福岡国際女子柔道選手権で初めて国際大会の審判員を務める。以後、2005年に国際柔道連盟インターナショナル審判員資格を取得。世界柔道団体選手権、アジア選手権、ヨーロッパオープンなど多数の国際大会に参加。2017年は全日本柔道選手権で女性初の審判員を務め、同年、スポーツ庁長官奨励を受けた。

柔道女子 日本代表コーチ

生田 秀和 准教授

スポーツ科学部 スポーツ科学科
スポーツ教育コース

[担当授業]
柔道IB・II
スポーツ教育学
演習I・II
スポーツ技術・
戦術論
コーチング実習
授業研究IA
など



柔道部男子監督。筑波大学、ALSOKで選手、コーチを務め、2013年から全日本柔道連盟ジュニア強化コーチに。その後シニアも兼務し、アジア大会など国際大会で指導。男子を指導してきたが、2021年10月、柔道女子日本代表コーチに就任した。

バスケットボール男子 元U22日本代表 ヘッドコーチ

比嘉 靖 准教授

スポーツ科学部 スポーツ科学科
スポーツ教育コース

[担当授業]
バスケットボールI・II
スポーツ教育学演習I・II
コーチング実習
スポーツ技術・戦術論
体力トレーニング実習
など



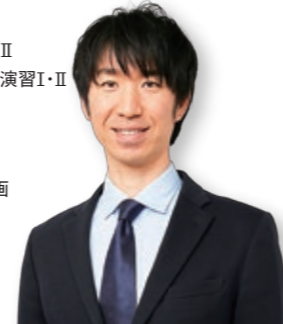
バスケットボール部男子監督。本学卒業後、松下電器(現パナソニック)のポイントガードとして日本リーグ新人王。大阪エヴェッサコーチとしてbjリーグ3連覇。ユニバーシアードは2大会出場。2018年から2年間、U22ヘッドコーチ。

バレーボール女子 2019ユニバーシティゲームズ 日本代表コーチ

長江 晃生 講師

スポーツ科学部 スポーツ科学科
スポーツ教育コース

[担当授業]
バレーボールI・II
スポーツ教育学演習I・II
コーチング実習
スポーツ技術・
戦術論
トレーニング計画
など



バレーボール部女子監督。本学卒業後はVリーグでプレー。2010年には日本代表としてアジア大会で優勝。2019年からはユニバーシティゲームズ(旧ユニバーシアード)女子チーム(イタリア大会3位)でコーチを務めた。

ボッチャ 日本代表コーチ

曾根 裕二 准教授

教育学部 教育学科

[担当授業]
アダプテッド・スポーツ実習
重複障害教育総論
障がい者スポーツ指導法
学校インターンシップ
(特別支援)
介護等体験
など



アダプテッド・スポーツ部監督。長年ボッチャの指導に取り組み、2014年のアジアパラ競技大会から日本代表コーチ。2022年12月、同部で指導する内田峻介選手(教育学部2年 ※現在3年)が世界選手権BC4クラスで初優勝。日本選手権は3連覇を果たした。

パラ水泳 日本代表コーチ

浜上 洋平 准教授

教育学部 教育学科

[担当授業]
体育実技(水泳I)
体育授業づくり特論
教職実践演習(中等)
保健体育科教育法I・II・III・IV
教育実習(中等)
など



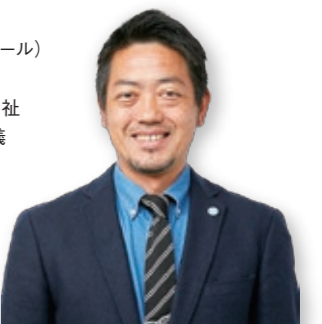
水上競技部女子監督。選手として筑波大学時代、日本短水路選手権200m個人メドレー8位。帝京大学で6年間監督を務め、2019年4月、本学に赴任し、ヘッドコーチ、監督。パラ水泳日本代表コーチを務める。同部で指導する宇津木美都選手(教育学部3年)は2023年アジアパラ競技大会で銀メダル4個獲得。

侍ジャパン (野球日本代表) 女子コーチ

横井 光治 講師

教育学部 教育学科

[担当授業]
球技(ソフトボール)
専門演習I
現代社会と福祉
介護技術講義
介護等体験
など



硬式野球部女子監督。2023年5～6月のBFAアジアカップ(香港)に同部で指導する白石美優選手(体育学部3年)とともに出場し団長兼コーチ、9月のWBSCワールドカップ・グループBでコーチを務め、2024年7～8月のファイナルステージ進出を決めた。2024年度から公認野球指導者資格の取得をめざす授業を担当する。

天王寺駅から 大学最寄り駅の熊取駅まで 約32分と便利なアクセスが魅力!

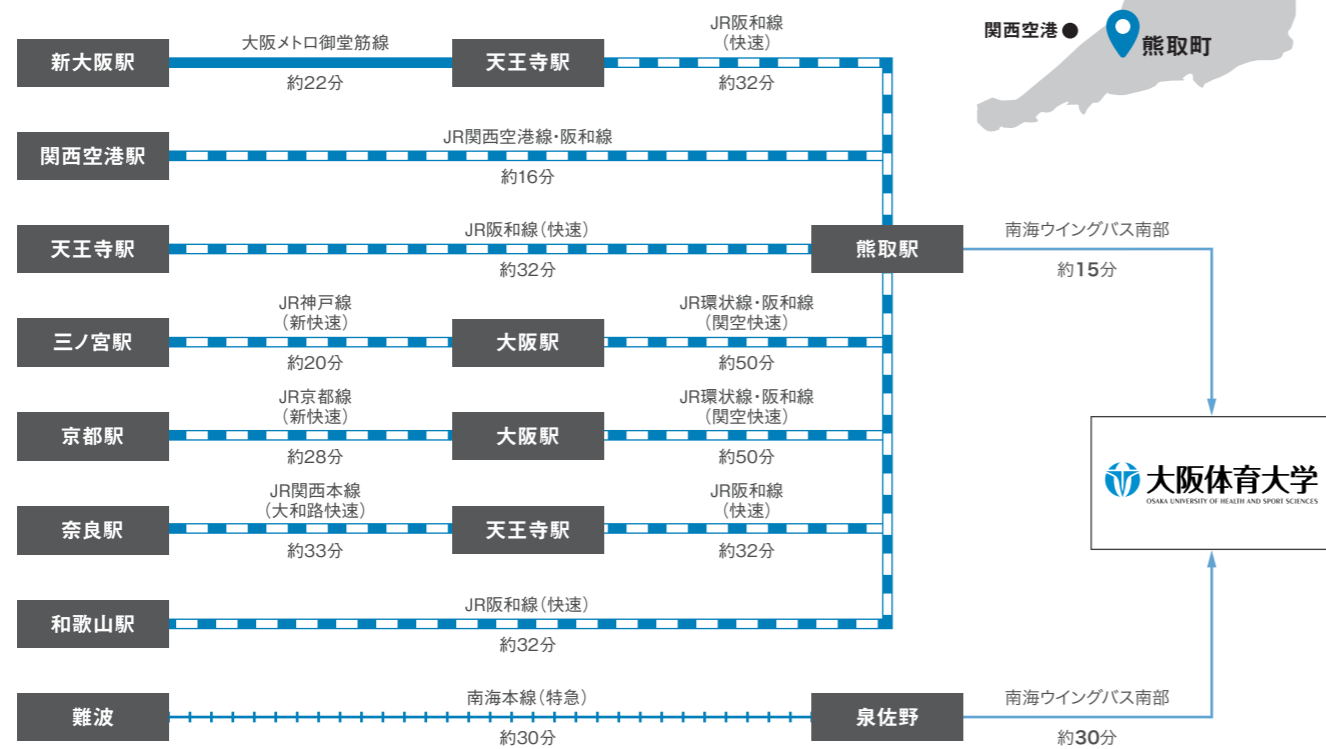
大阪都心部から1時間ほどの位置にある大阪体育大学は
とてもアクセスに便利な環境です。
キャンパスは自然豊かな丘陵地にあり、通学だけでなく、
休日も友人とショッピングに気軽に出かけることができる環境が整っています。

大阪府 泉南郡 熊取町は **ここ!**

熊取町は大阪都心部から約30km
の距離にあり、関西国際空港のある
泉佐野市の東隣に位置しています。
人口は4万3千人ほどの町で、自然
豊かな環境に囲まれています。



通学方法



※ 記載のルートとマップの所要時間は日中平常時の目安のため、時間帯により異なります。また、待ち時間や乗り換え時間は含まれておりません。

熊取町内には、一人暮らしに最適な 数多くのマンション・アパートがあります。



はじめての
一人暮らしも安心!

お気軽に
ご相談
ください

学生マンション

大阪体育大学がある熊取町や近隣には、学生向け、ひとり暮らし向けのマンション・アパートが数多くあります。徒歩もしくはバイクや自転車での通学も可能です。入学予定者には「お部屋探しガイドブック」データ版をご案内する予定です。

大学近郊のワンルームマンションや共同住宅の中からおすすめの物件をご紹介します。



クラブハウス

剣道部(男子)、剣道部(女子)、サッカー部(男子)、ラグビー部(男子)、バスケットボール部(女子)、体操競技部(男子)にはクラブハウスがあります。※家賃はクラブによって異なります。

MESSAGE

大阪体育大学の
あゆみは、
こちらをご覧ください。



「幸福な社会づくり」に貢献する大学でありたい

大阪体育大学は、1965年に西日本で最初に設立された体育大学で、「**不断の努力により智・徳・体を修め社会に奉仕する**」を建学の精神とします。1992年には、スポーツ科学研究を発展させるために、修士号が取得できる大学院(博士前期課程)を、そして2001年には、体育・スポーツ系大学では西日本初となる博士後期課程を開設し、大学の研究力は大きく向上しました。その後2015年には、開設50周年を契機に「教育学部」を新設しました。同学部は、様々な改革を行い、現在は保健体育教育、小学校教育、幼児教育、特別支援教育という4つのコースを提供しつつ、教員採用試験でも高い合格率を誇るようになりました。

2024年度には「体育学部」の名称を「スポーツ科学部」に変更しました。その理由の一つが「**スポーツの力**」(Power of Sport)の拡大です。スポーツのパワーは、教育の世界だけでなく、トップスポーツやプロスポーツへ、そしてまちづくりや地域の健康づくりまで、大きな広がりを見せるようになりました。新しい学部では、2年次後期からスポーツ教育コース、体育科教育

コース、スポーツ心理・カウンセリングコース、スポーツマネジメントコース、アスレティックトレーニングコース、そして健康科学コースの6つのコースにおいて、専門性を深める学びができるようになりました。

大阪体育大学は、これまで幅広い教養と高い専門性を身につけた人材の養成に力を注いできました。現在は、25,000名を超える卒業生が学校教育、公務員、企業、スポーツ関係など、多様な分野で活躍しています。アフターコロナの時代においては、健康や衛生を意識し、運動やスポーツに親しみ、多幸感に満たされた「ウェルビーイング」な社会づくりに対する関心が急速に高まっています。大阪体育大学は、「幸福な社会づくり」をめざす大学として、そして、そのような社会から求められる人材を育てる大学として、今後ますます存在感を高めていくと信じています。

大阪体育大学 学長 原田 宗彦

ご家族・
ご関係者の皆さまに
知っていただきたいこと



ここが安心、大体大のサポート

学生相談室・
スポーツカウンセリングルーム



学生相談室では、学業やクラブ活動、対人関係など、さまざまな相談に応じています。さらに、運動してスポーツカウンセリングルームも設置しています。臨床心理士やスポーツメンタルトレーニング指導士をはじめとするスポーツカウンセラー資格をもつスタッフが学生の大学生活や進路、個人的な悩みなどにも親身に回答しています。

P53

診療制度 ケガや事故に備えたサポート



学内に大阪体育大学診療所を設置し、整形外科、内科の医師である教員が常駐しています。応急処置はもちろんのこと、レントゲン設備も完備し、保険診療を行っています。治療後のリハビリテーションもアスレティックトレーニングルームで対応するので、現場復帰までのサポート体制が整っています。

P52

医療費補助制度など ケガや事故に備えたサポート

ケガや事故などに備えて、全学生を対象に、(公財)日本国際教育支援協会が運営する「学生教育研究災害傷害保険」と「学研災付帯賠償責任保険」に加入しています。診療所での保険診療の自己負担分は、大阪体育大学教育後援会「傷害治療援助」制度でカバーします。

大体大でめざせる将来像と資格

スポーツ科学部 **P07**

教育学部 **P27**

キャリア情報について
詳しくは、こちらをご覧ください。

P42



免許・資格について
詳しくは、こちらをご覧ください。



学費 入学時、2年次以降に必要となる費用です。

Academic fee

1年次/2年次以降に必要となる費用

スポーツ科学部・教育学部(2024年度のものであり、変更される場合があります)

	1年次			2年次以降
	年 額	前 期	後 期	
入 学 金	250,000	250,000	—	—
授 業 料	960,000	480,000	480,000	960,000
施 設 費	230,000	115,000	115,000	230,000
教 具 ・ 教 材 費	12,000	12,000	—	12,000
図 書 費	10,000	10,000	—	10,000
学 友 会 入 会 金	5,000	5,000	—	—
学 友 会 費	7,000	7,000	—	7,000
同 窓 会 入 会 金	20,000	20,000	—	—
教 育 後 援 会 費	12,000	12,000	—	12,000
計	1,506,000	911,000	595,000	1,231,000

上記の他に学外実習費が必要です。費用は学外実習時に別途徴収いたします。

※単位(円)

奨学金

Scholarship

学生が勉学やスポーツに打ち込み、充実した学生生活を送ることができるように、日本学生支援機構や本学独自のものなどさまざまな奨学金制度が整備されています。本学では例年、半数以上の学生が奨学金制度を利用しています。

大阪体育大学独自の奨学金制度

スポーツ奨学金制度

スポーツ特別総合型選抜入試合格者のうち、特に競技力に優れている者を対象とした奨学金制度です。授業料や施設費等の免除を受けることができます。

入学試験成績優秀者奨学金制度

スポーツ科学部・教育学部の一般選抜2教科型合格者のうち、入学試験成績上位の若干名が1年次の授業料全額免除を受けることができます。

学業成績優秀者奨学金制度

各年次の成績上位者を若干名選考します。選ばれた学業成績優秀者は次の年次の授業料全額免除を受けることができます。

浪商学園創立100周年記念奨学金(野田三郎奨学金)

2021年の学園創立100周年を契機に、浪商学園の発展に大きく尽力した野田三郎氏の功績をたたえ、建学の精神を尊び、人材の育成に資することを目的に設立した奨学金です。学業成績優秀者に対して学資金援助を行います。

日本学生支援機構奨学金制度

学力・人物・家計などの推薦基準により学内推薦を受け、日本学生支援機構による審査を経て採否が決定する奨学金制度です。募集はすべて学内メールで告知します。

貸与奨学金(返還必要)

貸与種別	年次	募集時期	出願資格	貸与月額
第一種奨学金 (無利子)	1年生	毎年 春秋	高校の最終2カ年の 評定平均が 3.5以上の者	自宅：54,000円 (または2・3・4万円)
	2年生 以上	毎年 春秋	大学の前年までの 成績が 上位1/3以内の者	自宅外：64,000円 (または2・3・4・5万円)
第二種奨学金 (有利子)	1年生 2年生 以上	毎年 春秋 毎年 春秋	優れた学生であって 経済的理由により 修学困難な者	2~12万円の中から 選択

※詳しくは、日本学生支援機構のホームページ(奨学金制度の種類と概要・貸与奨学金)をご覧ください。

給付奨学金(返還不要)

2020年4月から国の修学支援新制度として始まりました。世帯収入要件に合う学生を対象とした、授業料と入学金の免除または減額や、給付型奨学金(返還が不要)などがあります。

※詳しくは、日本学生支援機構のホームページ(奨学金制度の種類と概要・給付奨学金)をご覧ください。

民間団体などの奨学金制度

民間団体などによる奨学金制度で、入学試験の成績、高校時代の成績など厳しい条件がつきます。募集はすべて学内メールで告知しますが、地方自治体が定める奨学金は自治体のHPなどでご確認ください。

奨学団体	対象年次	主な出願資格	種別	月額
小野奨学会	1~3年生	大阪府内の大学に在学し、 成績基準・家計基準が 本会の定める基準を 満たしている者	給付	50,000円

他、和佐見丸和財団、G-7奨学財団 など